

九州経済国際化データ2020

【貿易編】

Kyushu economic internationalization data
【Trade data version】



2020年9月
経済産業省 九州経済産業局

目次

第1章 九州と世界の貿易	-----	1
1. 九州と世界の貿易動向	-----	1
2. 九州から世界への輸出動向	-----	6
3. 九州の世界からの輸入動向	-----	9
第2章 九州と各国・地域の貿易	-----	12
1. 九州と韓国の貿易	-----	12
2. 九州と中国の貿易	-----	16
3. 九州と台湾の貿易	-----	20
4. 九州と香港の貿易	-----	24
5. 九州とベトナムの貿易	-----	28
6. 九州とタイの貿易	-----	32
7. 九州とシンガポールの貿易	-----	36
8. 九州とマレーシアの貿易	-----	40
9. 九州とフィリピンの貿易	-----	44
10. 九州とインドネシアの貿易	-----	48
11. 九州とミャンマーの貿易	-----	52
12. 九州とインドの貿易	-----	56
13. 九州と米国の貿易	-----	60
14. 九州とオーストラリアの貿易	-----	64
15. 九州とASEANの貿易	-----	68
16. 九州とEUの貿易	-----	76
第3章 九州の産業別貿易動向	-----	84
1. 自動車・自動車の部分品	-----	84
2. 半導体等電子部品	-----	88
3. 鉄鋼	-----	90
4. 船舶類	-----	92
5. 食料品	-----	93
6. 農林水産物及び加工品	-----	96
7. 鉱物性燃料	-----	107
巻末資料		
1. 九州及び日本の貿易の推移	-----	110
2. 地理圏・経済圏の分類表	-----	111
3. 品目分類表	-----	113
別冊		
九州の品目別貿易額 各国・地域別データ		

注 意 点

- (1) 年次は特記しない限り、暦年(1月～12月)を示す。
- (2) 貿易の図表は特記しない限り、輸出入額に関しては財務省「貿易統計」(輸出はFOB、輸入はCIF)及び門司税関提供による統計資料、その他に関しては経済産業省資料に基づき九州経済産業局にて作成したもの。
- (3) 品目分類は財務省貿易統計の概況品コード(財務省貿易統計ホームページに掲載されている)に準拠する。詳細は巻末資料3の「品目分類表」を参照。
- (4) 統計数値は原則として四捨五入のため、合計と若干の差異が生じる場合がある。
- (5) 金額単位のドルは特記しない限り、USドル(米ドル)を示す。

用 語 の 解 説

- (1) 「国」は、地域を含む場合がある。
- (2) 「全国」は、「九州」の数値を含んでいる。
- (3) 貿易統計での「九州」とは、特記しない限り九州7県の各港(港湾及び空港)を合算したものを示す。
- (4) 「アジア」や「ASEAN」等の地理圏・経済圏は、巻末資料2の「地理圏・経済圏の分類表」を参照。
- (5) 「全国比」とは、日本全国の数値に占める九州の割合を示しており、単位は%。
- (6) 「寄与度」とは、貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。単位は%。

産業別分類(概況品コード)の考え方について

自動車： 輸出コード 7 0 5 0 3
 輸入コード 7 0 5 0 1

自動車の部分品： 輸出コード 7 0 5 0 5
 輸入コード 7 0 5 0 3

半導体等電子部品： 輸出コード 7 0 3 2 3
 輸入コード 7 0 3 1 1

鉄鋼： 輸出コード 6 1 1
 輸入コード 6 1 3

船舶類： 輸出コード 7 0 5 1 3

食料品： 輸出・入共通 0、1、4

 ※ただし、生きた動物 0 0 1
 飼料 0 1 7
 加工油脂（ろう） 4 0 5
 たばこ 1 0 3 を除く

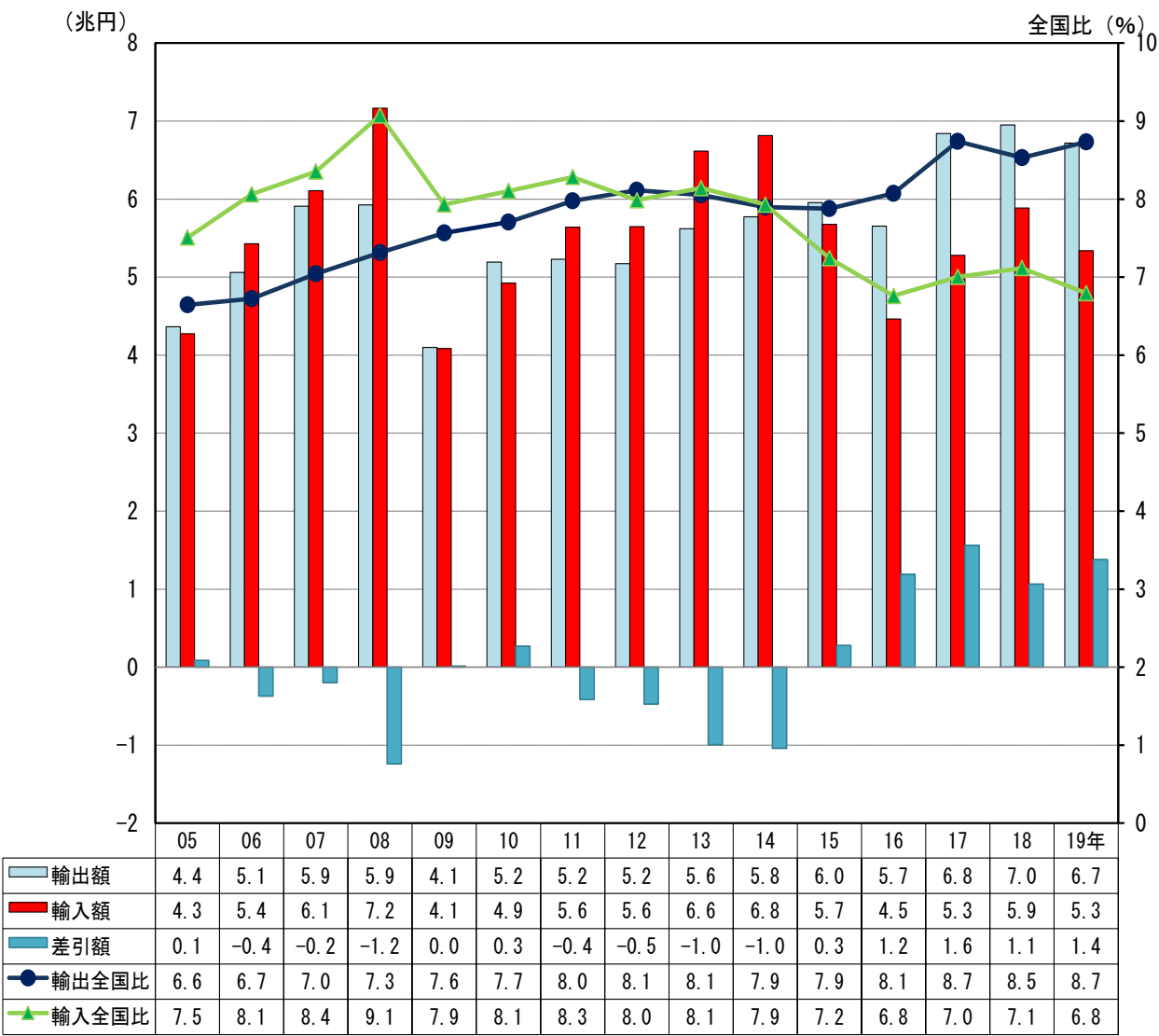
鉱物性燃料： 輸入コード 3

第1章 九州と世界の貿易

1. 九州と世界の貿易動向

- 2019年の九州の貿易額
輸出総額：6兆7,189億円（対前年▲3.3%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：5兆3,401億円（対前年▲9.3%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：1兆3,789億円（対前年+1.4%） → 5年連続の輸出超過
- 輸出相手国・地域（輸出額多い順）中国、米国、韓国、香港、台湾
〈寄与度↑〉香港（+1.4%）、パナマ（+0.5%）
〈寄与度↓〉韓国（▲1.5%）、アラブ首長国連邦（▲1.5%）
- 輸入相手国・地域（輸入額多い順）中国、オーストラリア、米国、アラブ首長国連邦
〈寄与度↑〉ロシア（+0.9%）、ブラジル（+0.8%）
〈寄与度↓〉サウジアラビア（▲3.1%）、オーストラリア（▲1.7%）

図表1-1-1 九州の対世界貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表1-1-2 九州の国・地域別輸出入動向（2019年）

（単位：億円、％）

国・地域	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
韓国	7,265	10.8%	▲12.7%	▲1.5%	14.4%	2,636	4.9%	▲9.2%	▲0.5%	8.2%
中国	15,344	22.8%	▲0.1%	▲0.02%	10.5%	10,064	18.8%	▲1.0%	▲0.2%	5.5%
台湾	3,409	5.1%	▲8.9%	▲0.5%	7.3%	2,779	5.2%	▲11.4%	▲0.6%	9.5%
香港	5,289	7.9%	22.1%	1.4%	14.4%	188	0.4%	3.4%	0.01%	8.3%
ベトナム	2,343	3.5%	12.8%	0.4%	13.0%	1,501	2.8%	3.7%	0.1%	6.1%
タイ	2,017	3.0%	▲13.0%	▲0.4%	6.1%	1,764	3.3%	▲1.1%	▲0.03%	6.4%
シンガポール	2,073	3.1%	5.4%	0.2%	9.4%	145	0.3%	▲5.8%	▲0.02%	1.7%
マレーシア	1,120	1.7%	▲14.1%	▲0.3%	7.7%	802	1.5%	▲19.7%	▲0.3%	4.2%
ブルネイ	5	0.01%	▲69.2%	▲0.02%	3.6%	1.1	0.002%	175.9%	0.0%	0.04%
フィリピン	833	1.2%	27.1%	0.3%	7.2%	1,121	2.1%	▲3.1%	▲0.1%	9.7%
インドネシア	874	1.3%	▲9.6%	▲0.1%	5.7%	1,958	3.7%	▲29.6%	▲1.4%	9.9%
カンボジア	38	0.1%	9.7%	0.0%	6.2%	40	0.1%	▲6.4%	▲0.0%	2.1%
ラオス	5	0.01%	▲18.6%	▲0.0%	4.3%	5	0.01%	▲2.1%	▲0.0%	2.8%
ミャンマー	51	0.1%	▲0.6%	▲0.0%	7.2%	38	0.1%	8.4%	0.01%	2.5%
インド	1,323	2.0%	20.2%	0.3%	11.1%	447	0.8%	21.3%	0.1%	7.6%
イラン	1	0.002%	▲97.1%	▲0.06%	1.8%	82	0.2%	▲73.2%	▲0.4%	6.5%
サウジアラビア	382	0.6%	18.5%	0.1%	6.9%	2,701	5.1%	▲40.3%	▲3.1%	9.0%
クウェート	136	0.2%	▲23.4%	▲0.1%	7.3%	1,216	2.3%	▲22.3%	▲0.6%	16.2%
カタール	147	0.2%	3.5%	0.01%	12.0%	674	1.3%	▲36.3%	▲0.7%	4.7%
オマーン	56	0.1%	6.6%	0.0%	2.4%	424	0.8%	▲7.2%	▲0.1%	14.2%
アラブ首長国連邦	1,280	1.9%	▲44.7%	▲1.5%	16.4%	3,765	7.1%	11.7%	0.7%	13.2%
ノルウェー	11	0.02%	▲14.4%	▲0.0%	1.0%	191	0.4%	42.9%	0.1%	9.3%
スウェーデン	127	0.2%	▲15.5%	▲0.03%	8.0%	32	0.1%	▲17.9%	▲0.01%	1.0%
英国	470	0.7%	▲13.7%	▲0.1%	3.1%	216	0.4%	64.1%	0.1%	2.4%
オランダ	1,044	1.6%	▲16.6%	▲0.3%	8.0%	86	0.2%	▲37.2%	▲0.1%	2.5%
ベルギー	416	0.6%	▲19.5%	▲0.1%	5.1%	116	0.2%	▲3.7%	▲0.01%	3.3%
フランス	339	0.5%	▲20.3%	▲0.1%	4.6%	392	0.7%	▲15.4%	▲0.1%	3.0%
ドイツ	927	1.4%	▲2.2%	▲0.03%	4.2%	348	0.7%	0.9%	0.01%	1.3%
スペイン	276	0.4%	▲14.2%	▲0.1%	7.5%	169	0.3%	▲9.0%	▲0.03%	4.5%
イタリア	290	0.4%	▲26.1%	▲0.1%	5.8%	108	0.2%	3.2%	0.01%	0.9%
ロシア	319	0.5%	▲21.2%	▲0.1%	4.1%	2,069	3.9%	36.2%	0.9%	13.3%
カナダ	725	1.1%	▲29.8%	▲0.4%	7.5%	1,137	2.1%	3.7%	0.1%	8.8%
米国	9,369	13.9%	▲0.4%	▲0.1%	6.1%	4,052	7.6%	▲9.5%	▲0.7%	4.7%
メキシコ	846	1.3%	▲14.7%	▲0.2%	7.3%	451	0.8%	▲50.6%	▲0.8%	7.0%
パナマ	1,508	2.2%	33.8%	0.5%	22.7%	1	0.001%	▲99.3%	▲0.2%	0.5%
コロンビア	185	0.3%	▲3.9%	▲0.01%	15.0%	31	0.1%	31.8%	0.01%	4.6%
チリ	301	0.4%	▲4.3%	▲0.02%	13.5%	940	1.8%	▲3.7%	▲0.1%	13.0%
ブラジル	268	0.4%	15.8%	0.05%	6.5%	1,650	3.1%	41.4%	0.8%	18.9%
南アフリカ共和国	181	0.3%	1.0%	0.0%	6.9%	343	0.6%	▲19.3%	▲0.1%	6.1%
オーストラリア	1,030	1.5%	▲5.0%	▲0.1%	6.5%	5,507	10.3%	▲15.3%	▲1.7%	11.1%
ニュージーランド	133	0.2%	24.7%	0.04%	5.2%	103	0.2%	▲11.3%	▲0.02%	3.5%
その他	4,431	6.6%	▲2.7%	▲0.2%	9.2%	3,110	5.8%	▲9.6%	▲0.6%	5.6%
総額	67,189	100.0%	▲3.3%	▲3.3%	8.7%	53,401	100.0%	▲9.3%	▲9.3%	6.8%

出所：財務省「貿易統計」「統計国名符号表」より九州経済産業局作成

図表1-1-3 10年前と比較した全国・九州の輸出相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2009年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	102,356	18.9%	米国	152,545	19.8%
米国	87,334	16.1%	中国	146,819	19.1%
韓国	44,097	8.1%	韓国	50,438	6.6%
台湾	33,987	6.3%	台湾	46,885	6.1%
香港	29,751	5.5%	香港	36,654	4.8%
その他	244,181	45.1%	その他	335,975	43.7%
総計	541,706	100.0%	総計	769,317	100.0%
九州			九州		
中国	8,938	21.8%	中国	15,344	22.8%
韓国	5,126	12.5%	米国	9,369	13.9%
米国	4,929	12.0%	韓国	7,265	10.8%
台湾	2,570	6.3%	香港	5,289	7.9%
パナマ	2,304	5.6%	台湾	3,409	5.1%
その他	17,117	41.8%	その他	26,514	39.5%
総計	40,984	100.0%	総計	67,189	100.0%

図表1-1-4 10年前と比較した全国・九州の輸入相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2009年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	114,360	22.2%	中国	184,537	23.5%
米国	55,123	10.7%	米国	86,402	11.0%
オーストラリア	32,423	6.3%	オーストラリア	49,576	6.3%
サウジアラビア	27,197	5.3%	韓国	32,271	4.1%
アラブ首長国連邦	21,146	4.1%	サウジアラビア	30,158	3.8%
その他	264,744	51.4%	その他	403,051	51.3%
総計	514,994	100.0%	総計	785,995	100.0%
九州			九州		
中国	6,027	14.8%	中国	10,064	18.8%
オーストラリア	4,138	10.1%	オーストラリア	5,507	10.3%
サウジアラビア	3,264	8.0%	米国	4,052	7.6%
インドネシア	2,681	6.6%	アラブ首長国連邦	3,765	7.1%
アラブ首長国連邦	2,396	5.9%	台湾	2,779	5.2%
その他	22,345	54.7%	その他	27,234	51.0%
総計	40,850	100.0%	総計	53,401	100.0%

図表1-1-3～4出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表1-1-5 10年前と比較した全国・九州の輸出品目（上位5品目）

（単位：億円、％）

2009年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
自動車	66,933	12.4%	自動車	119,712	15.6%
半導体等電子部品	34,193	6.3%	半導体等電子部品	40,060	5.2%
自動車の部分品	23,089	4.3%	自動車の部分品	36,017	4.7%
船舶類	20,700	3.8%	原動機	27,279	3.5%
原動機	18,393	3.4%	半導体等製造装置	24,670	3.2%
その他	378,398	69.9%	その他	521,579	67.8%
総計	541,706	100.0%	総計	769,317	100.0%
九州			九州		
船舶類	5,605	13.7%	自動車	16,541	24.6%
自動車	5,277	12.9%	半導体等電子部品	9,273	13.8%
半導体等電子部品	3,756	9.2%	船舶類	4,813	7.2%
鉄鋼のフラットロール製品	3,093	7.5%	鉄鋼のフラットロール製品	3,929	5.8%
ゴムタイヤ及びチューブ	2,072	5.1%	ゴムタイヤ及びチューブ	2,720	4.0%
その他	21,180	51.7%	その他	29,914	44.5%
総計	40,984	100.0%	総計	67,189	100.0%

図表1-1-6 10年前と比較した全国・九州の輸入品目（上位5品目）

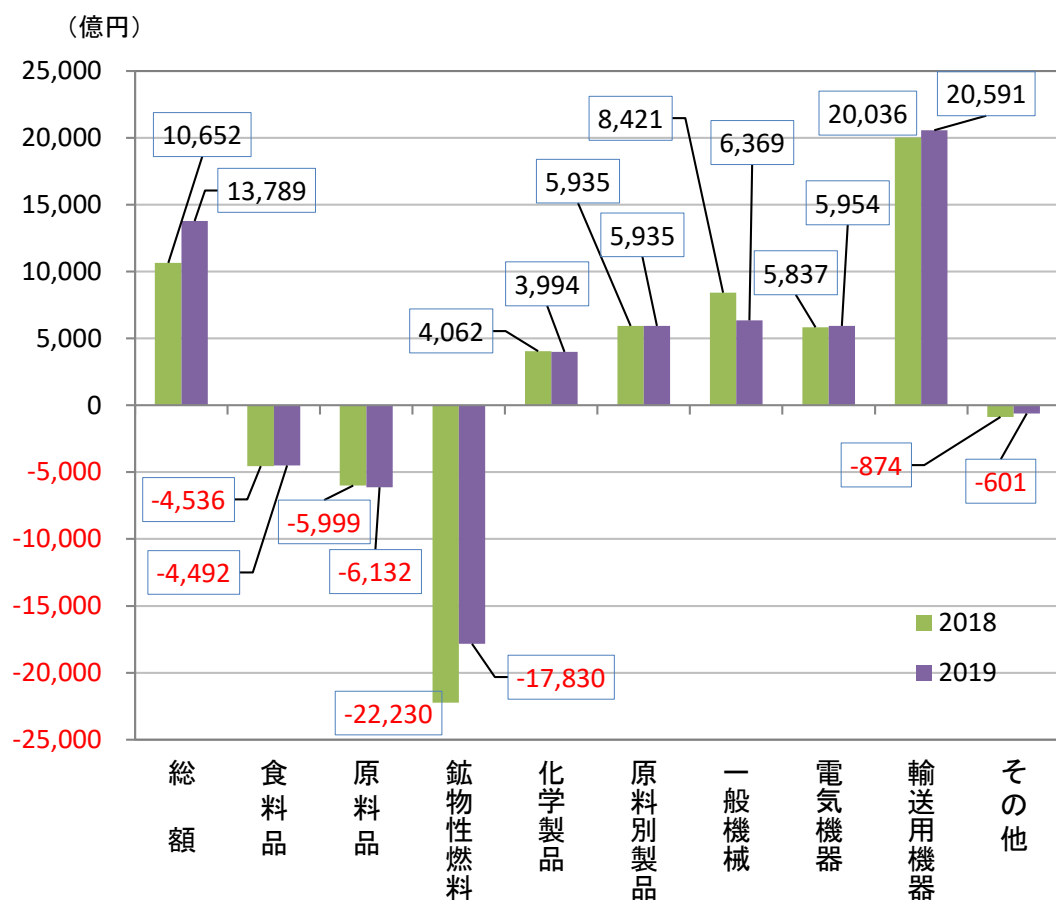
（単位：億円、％）

2009年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
原油及び粗油	75,638	14.7%	原油及び粗油	79,690	10.1%
石油ガス類	34,188	6.6%	石油ガス類	48,826	6.2%
石炭	20,569	4.0%	通信機	28,463	3.6%
事務用機器	18,692	3.6%	事務用機器	28,201	3.6%
半導体等電子部品	17,582	3.4%	半導体等電子部品	25,814	3.3%
その他	348,325	67.6%	その他	575,002	73.2%
総計	514,994	100.0%	総計	785,995	100.0%
九州			九州		
原油及び粗油	12,608	30.9%	原油及び粗油	10,693	20.0%
石炭	3,260	8.0%	石炭	4,131	7.7%
石油ガス類	2,505	6.1%	非鉄金属鉱	2,895	5.4%
非鉄金属鉱	2,154	5.3%	半導体等電子部品	2,744	5.1%
半導体等電子部品	1,533	3.8%	鉄鉱石	2,377	4.5%
その他	18,791	46.0%	その他	30,561	57.2%
総計	40,850	100.0%	総計	53,401	100.0%

図表1-1-5～6備考：輸出入品目は小分類ベース

図表1-1-5～6出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表1-1-7 九州の品目別貿易収支額（2018-2019年）



図表1-1-8 九州の主な相手国・地域別貿易収支額（2019年）

（単位：億円）

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	5,317	オーストラリア	▲4,478
中国	5,280	アラブ首長国連邦	▲2,485
香港	5,102	サウジアラビア	▲2,319
韓国	4,630	ロシア	▲1,750
シンガポール	1,928	ブラジル	▲1,381
九州の貿易収支額(2019年) 1兆3,789億円			

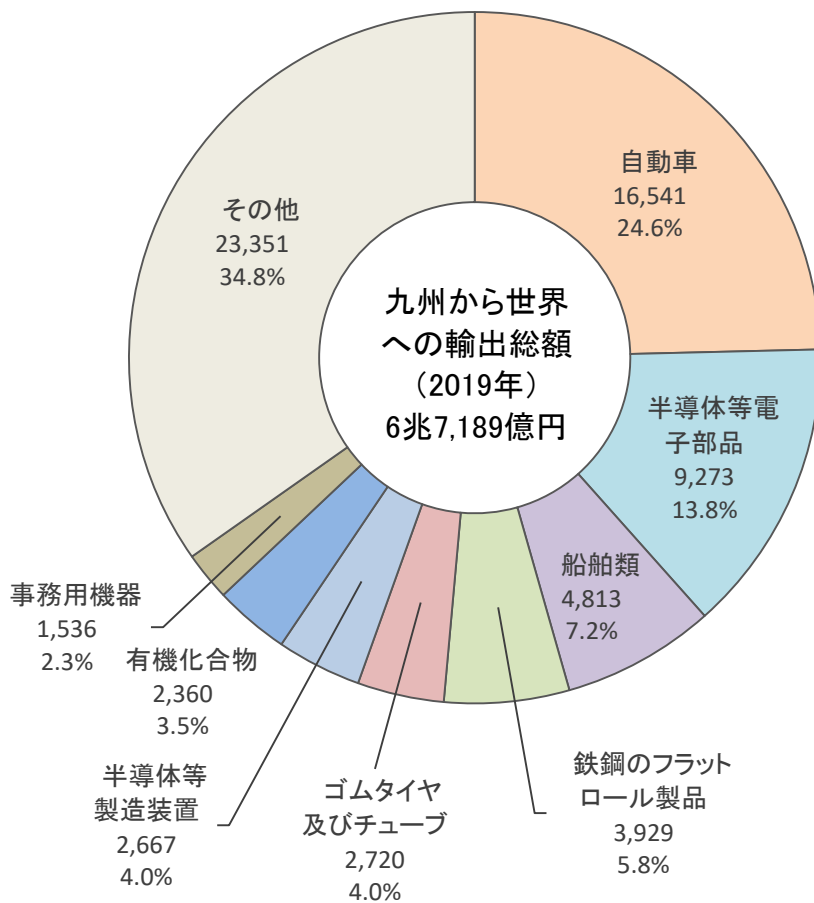
図表1-1-8備考：九州の貿易収支額上位5ヶ国と下位5ヶ国を記載
 図表1-1-7～8出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

2. 九州から世界への輸出動向

- 輸出品目（輸出額多い順） 自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ
 〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+1.4%）、船舶類（+1.2%）
 〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲2.2%）、映像機器（▲0.8%）
- 輸出相手国・地域（輸出額多い順） 中国、米国、韓国、香港、台湾
 → アジアの国・地域が占める割合は62.9%で過去最高。
 2000年と比べると中国を始めとするアジアの割合が増加し、北米の割合が減少。

図表1-2-1 九州から世界への輸出品目（2019年）

（単位：億円、%）

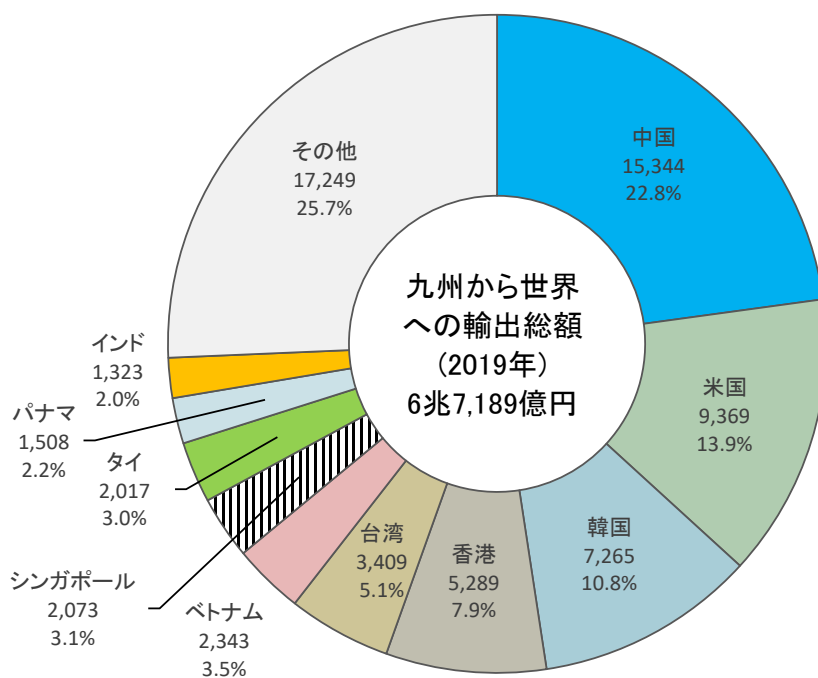


寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+1.4%）、船舶類（+1.2%）等
 寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲2.2%）、映像機器（▲0.8%）等
 （注）寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。（以下同じ）

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表1-2-2 九州の輸出相手国・地域（2019年）

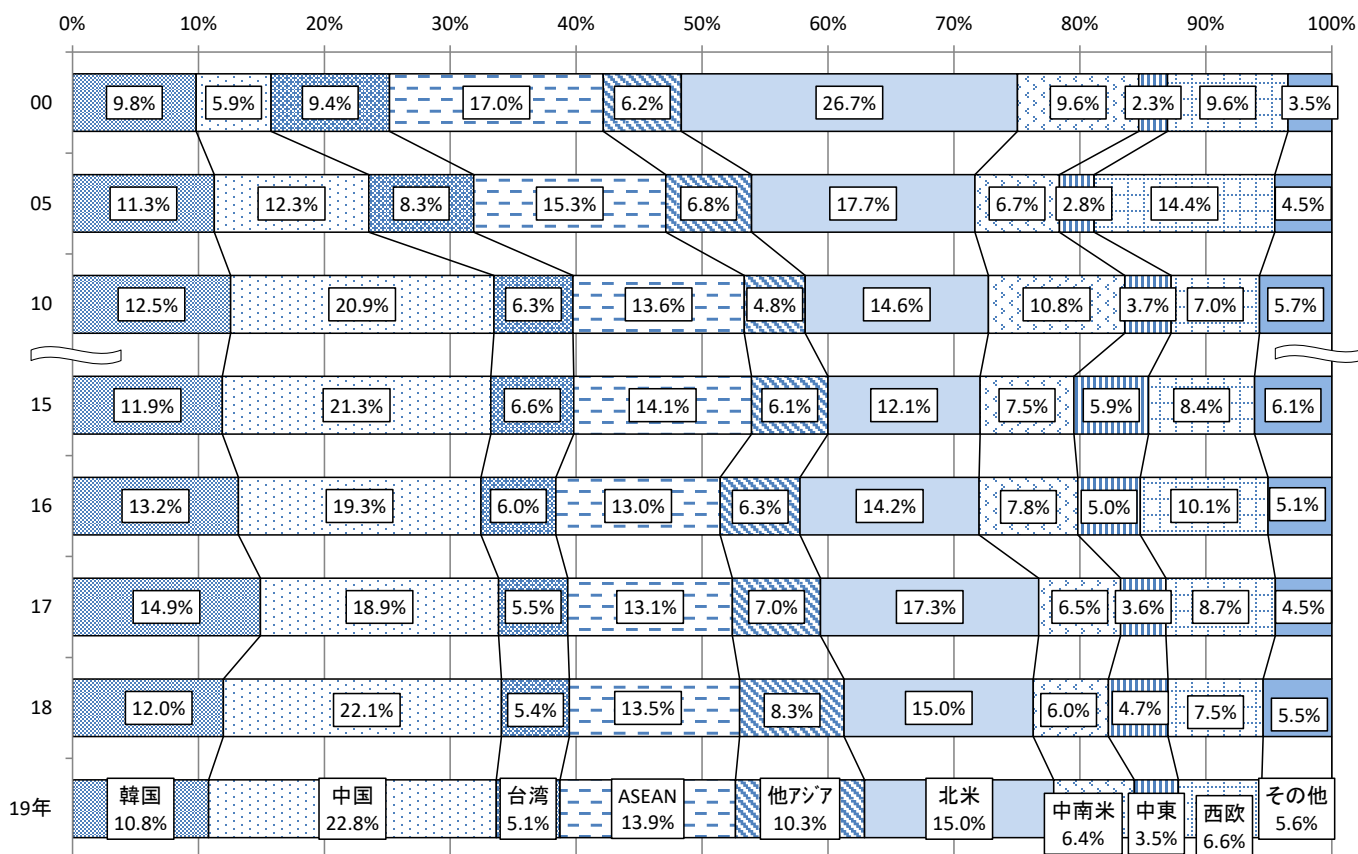
（単位：億円、％）



寄与度（増加分）：香港（+1.4%）、パナマ（+0.5%）等

寄与度（減少分）：韓国（▲1.5%）、アラブ首長国連邦（▲1.5%）等

図表1-2-3 九州の輸出相手国・地域の推移)



図表1-2-2～3出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表1-2-4 九州の全国比が高い輸出品目（2019年）

（単位：億円、％）

順位	輸出品目（小分類）	輸出額 （九州）	輸出額 （全国）	全国比
1	軌条及びその他の鉄道線路建設材	411	475	86.4%
2	木材	131	214	61.3%
3	ゴムタイヤ及びチューブ	2,720	5,763	47.2%
4	貯蔵用及び輸送用の金属製容器	77	165	46.6%
5	セメント	150	372	40.5%
6	船舶類	4,813	15,044	32.0%
7	メラミン樹脂	10	32	31.8%
8	（コークス）	107	447	23.8%
9	半導体等電子部品	9,273	40,060	23.1%
10	魚介類	361	1,675	21.6%
11	織物用糸	239	1,135	21.1%
12	鉄鋼のフラットロール製品	3,929	18,754	20.9%
13	映像機器	850	4,063	20.9%
14	二輪自動車類	667	3,324	20.1%
15	銅及び同合金	1,268	6,998	18.1%
16	チタン及び同合金	115	698	16.5%
17	（鉄鋼くず）	385	2,766	13.9%
18	自動車	16,541	119,712	13.8%
19	有機化合物	2,360	19,071	12.4%
20	事務用機器	1,536	13,674	11.2%
21	半導体等製造装置	2,667	24,670	10.8%
22	電気用炭素及び黒鉛製品	101	936	10.7%
23	有機合成染料及びレーキ顔料	49	490	10.0%

注) 掲載品目は2019年の九州の輸出額が10億円以上、全国比は10%以上のもの

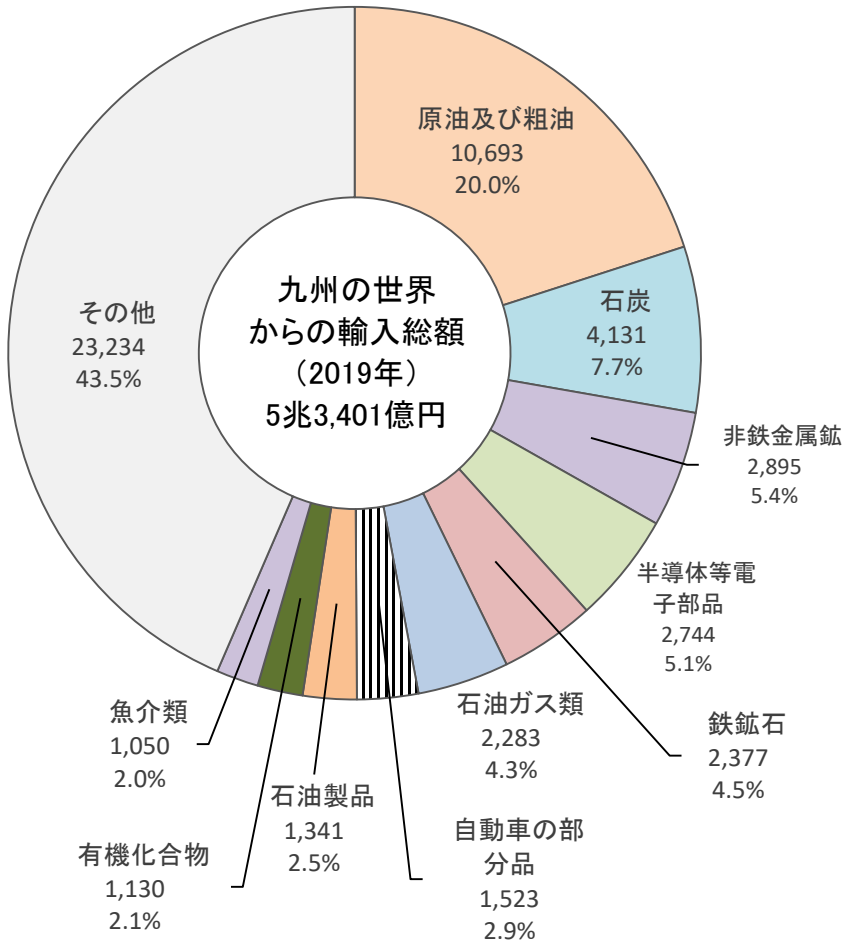
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

3. 九州の世界からの輸入動向

- 輸入品目（輸入額多い順）原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、半導体等電子部品
→ 鉱物性燃料と原材料が上位を占め、輸入額全体の4割超。
〈寄与度↑〉鉄鉱石（+0.4%）、家庭用電気機器（+0.1%）
〈寄与度↓〉原油及び粗油（▲3.6%）、石油ガス類（▲2.4%）
- 輸入相手国・地域（輸入額多い順）中国、オーストラリア、米国、アラブ首長国連邦
→ アジアの国・地域が占める割合は44.1%で前年より増加。
2000年と比べると中国や台湾の割合が増加し、中東や韓国の割合が減少。

図表1-3-1 九州の世界からの輸入品目（2019年）

（単位：億円、%）

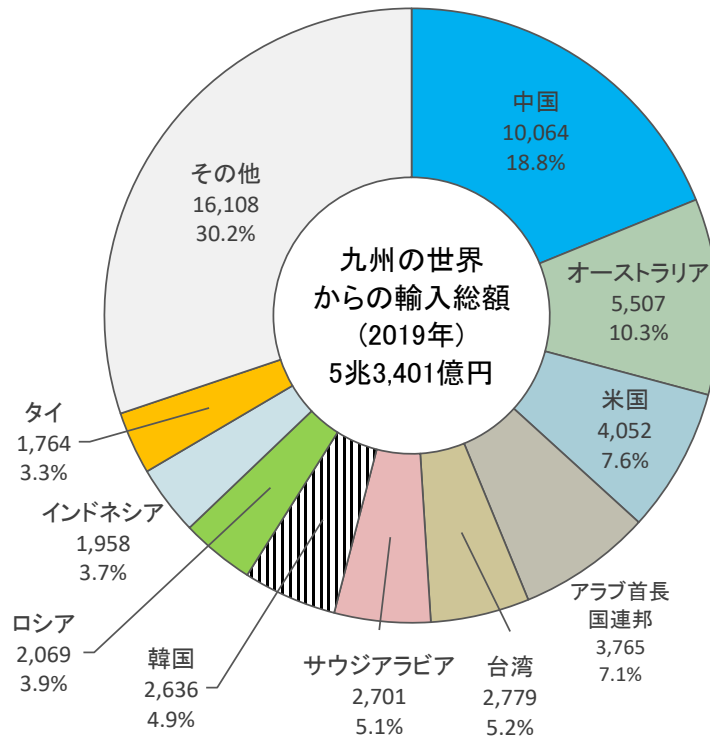


寄与度（増加分）：鉄鉱石（+0.4%）、家庭用電気機器（+0.1%）等
寄与度（減少分）：原油及び粗油（▲3.6%）、石油ガス類（▲2.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

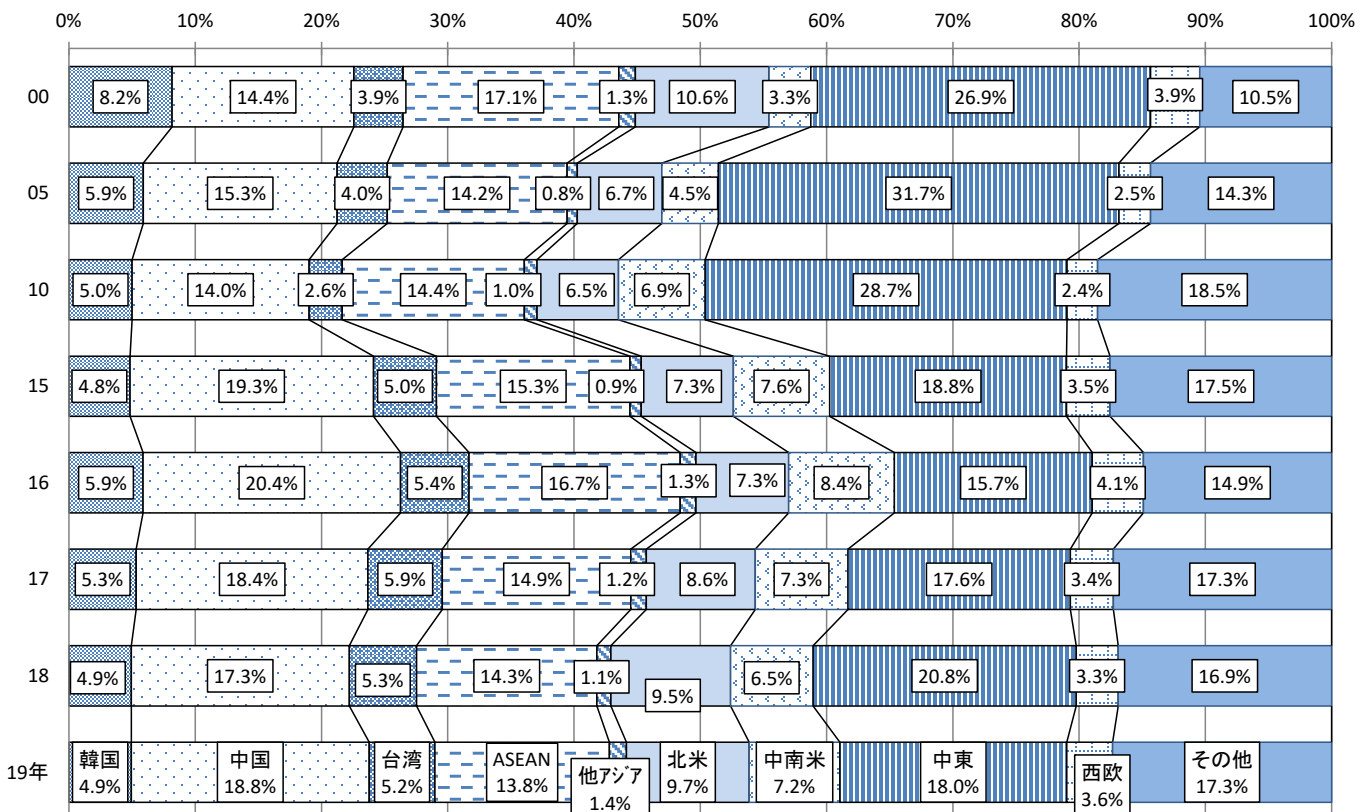
図表1-3-2 九州の輸入相手国・地域（2019年）

（単位：億円、％）



寄与度（増加分）：ロシア（＋0.9％）、ブラジル（＋0.8％）等
寄与度（減少分）：サウジアラビア（▲3.1％）、オーストラリア（▲1.7％）等

図表1-3-3 九州の輸入相手国・地域の推移)



図表1-3-2～3出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表1-3-4 九州の全国比が高い輸入品目

(単位：億円、%)

順位	輸入品目(小分類)	輸入額 (九州)	輸入額 (全国)	全国比
1	魚介類の粉、ミール及びペレット	220	333	66.1%
2	こうりゃん(飼料用)	37	75	48.7%
3	天然ゴム	496	1,216	40.8%
4	植物性油かす	378	961	39.3%
5	大麦及びはだか麦	130	352	36.9%
6	とうもろこし	904	3,841	23.5%
7	非鉄金属鉱	2,895	13,779	21.0%
8	鉄鉱石	2,377	11,883	20.0%
9	馬	34	181	19.0%
10	非鉄卑金属くず	327	1,746	18.7%
11	米	96	534	18.0%
12	合成ゴム	79	450	17.5%
13	自動車の部分品	1,523	8,906	17.1%
14	銅及び同合金	259	1,542	16.8%
15	合金鉄	451	2,694	16.8%
16	石炭	4,131	25,282	16.3%
17	綿花	24	154	15.6%
18	原油及び粗油	10,693	79,690	13.4%
19	絶縁電線及び絶縁ケーブル	1,034	8,245	12.5%
20	すず及び同合金	66	538	12.3%
21	無機化合物	854	7,310	11.7%
22	鉄鋼のフラットロール製品	415	3,824	10.9%
23	砂糖	50	465	10.7%
24	半導体等電子部品	2,744	25,814	10.6%
25	麦芽	33	306	10.6%
26	動物性原材料	82	780	10.6%
27	小麦及びメスリン	167	1,606	10.4%

注) 掲載品目は2019年の九州の輸入額が10億円以上、全国比は10%以上のもの

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

第2章 九州と各国・地域の貿易

1. 九州と韓国の貿易

1-1 韓国の経済概況

面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
民族	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-1-1 韓国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.8	2.9	3.2	2.7	2.0
名目GDP総額	10億ドル	1,465	1,500	1,623	1,721	1,642 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	28,724	29,287	31,605	33,346	31,754 *
輸出額	億ドル	5,268	4,954	5,737	6,049	5,422
	前年比(%)	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8	5.4	▲ 10.4
輸入額	億ドル	4,365	4,062	4,785	5,352	5,033
	前年比(%)	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8	11.9	▲ 6.0
貿易収支	億ドル	903	892	952	697	389
対日貿易収支	億ドル	▲ 203	▲ 231	▲ 283	▲ 241	▲ 192
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 0.3	2.2	2.5	1.5	0.0
失業率	(%)	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	0.7	1.0	1.9	1.5	0.4
直接投資受入額	億ドル	209	213	229	269	233 *
為替レート(1ドル)	ウォン	1,131.16	1,160.43	1,130.43	1,100.50	1,165.36
為替レート(1ウォン)	円	0.11	0.09	0.10	0.10	0.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

1-2 韓国との貿易動向

●2019年の九州の対韓国貿易額

輸出総額：7,265億円（対前年▲12.7%） → 2年連続のマイナス
 輸入総額：2,636億円（対前年▲9.2%） → 3年ぶりのマイナス
 差引額：4,630億円（対前年▲14.6%）

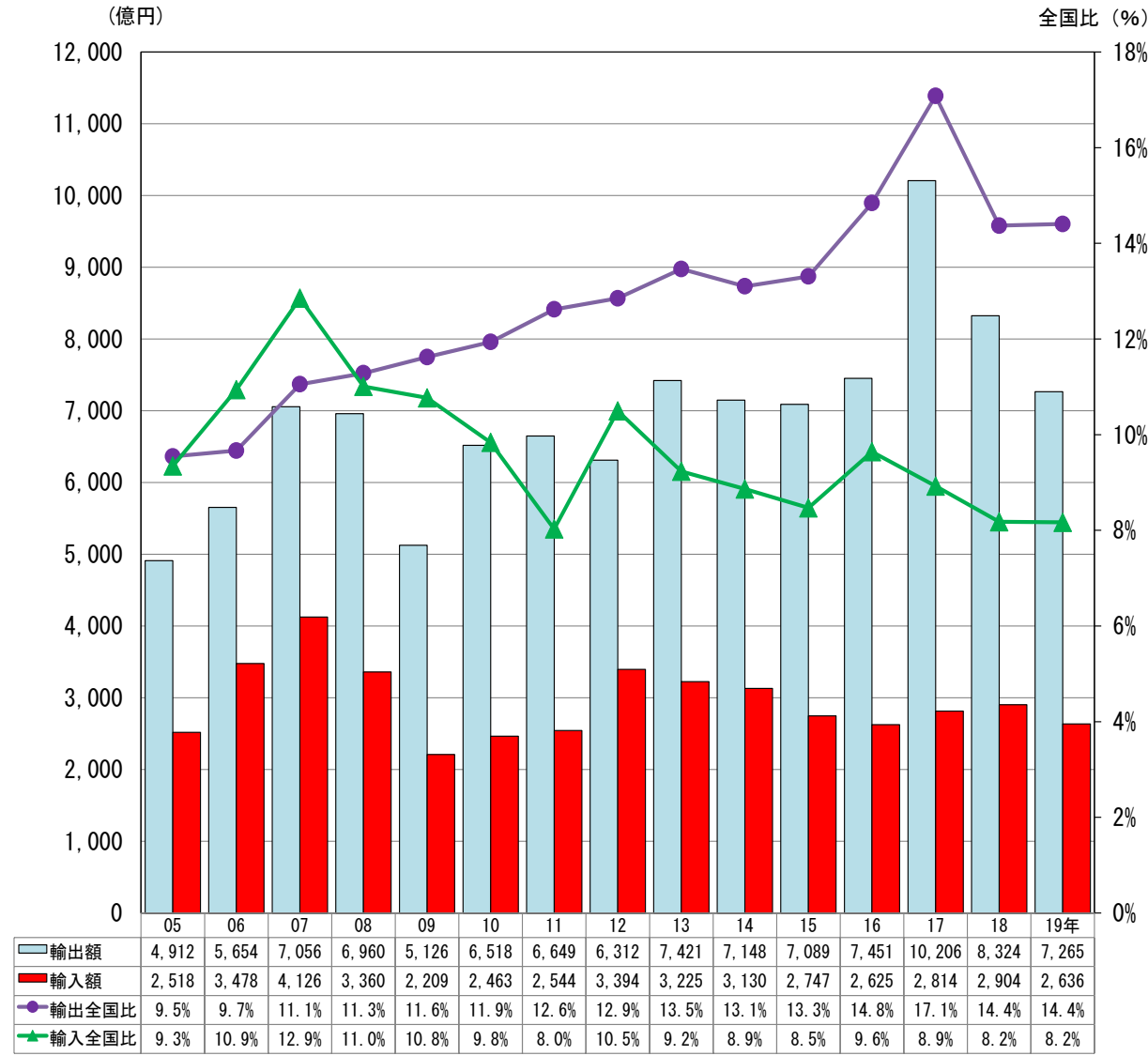
●輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.2%）、コンデンサー（+0.2%）
 〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲10.5%）、科学光学機器（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、自動車の部分品

〈寄与度↑〉電気回路等の機器（+0.9%）、鉄鋼のフラットロール製品（+0.7%）
 〈寄与度↓〉有機化合物（▲3.6%）、石油製品（▲3.3%）

図表2-1-2 九州の対韓国貿易額の推移

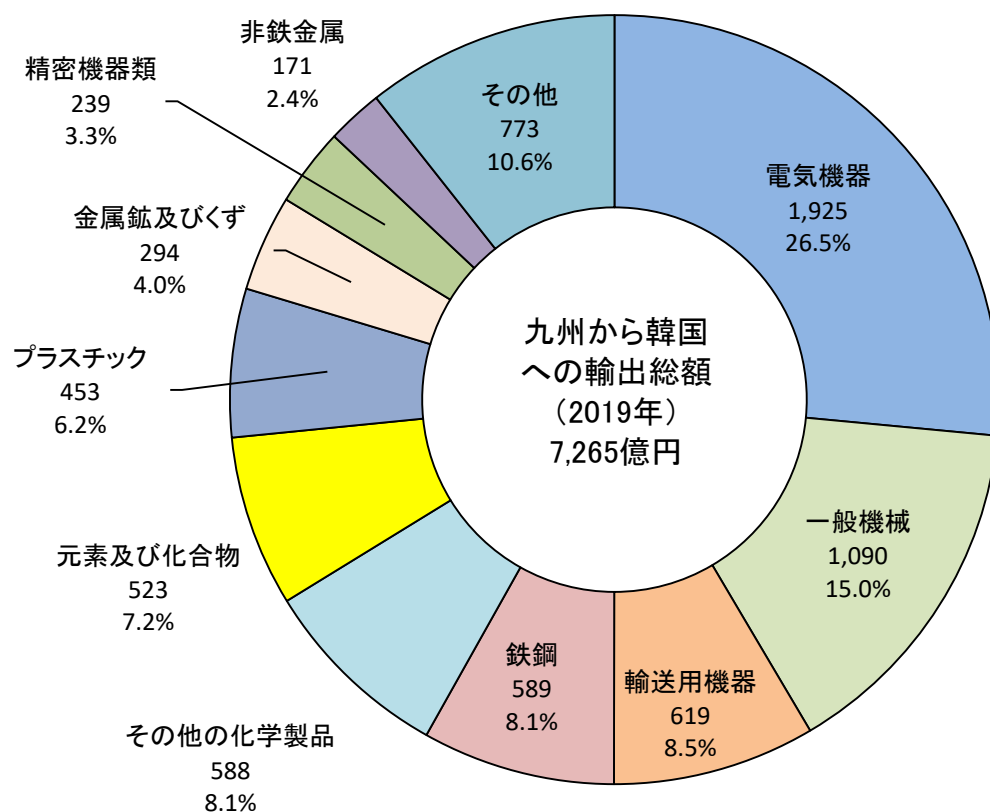


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-1-3 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,543	21.2%	▲0.0%	62.3%
半導体等製造装置	一般機械	741	10.2%	▲54.0%	23.4%
自動車	輸送用機器	587	8.1%	▲5.2%	84.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	524	7.2%	▲6.4%	20.9%
有機化合物	元素及び化合物	442	6.1%	28.9%	16.2%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	254	3.5%	▲9.6%	17.8%
科学光学機器	精密機器類	239	3.3%	▲17.5%	12.8%
電池	電気機器	103	1.4%	8.6%	51.4%
無機化合物	元素及び化合物	78	1.1%	▲15.4%	8.2%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	76	1.1%	26.9%	69.8%
その他		2,677	36.8%	—	—
総 額		7,265	100%	▲12.7%	14.4%

寄与度（増加分）：有機化合物（＋1.2%）、コンデンサー（＋0.2%）等

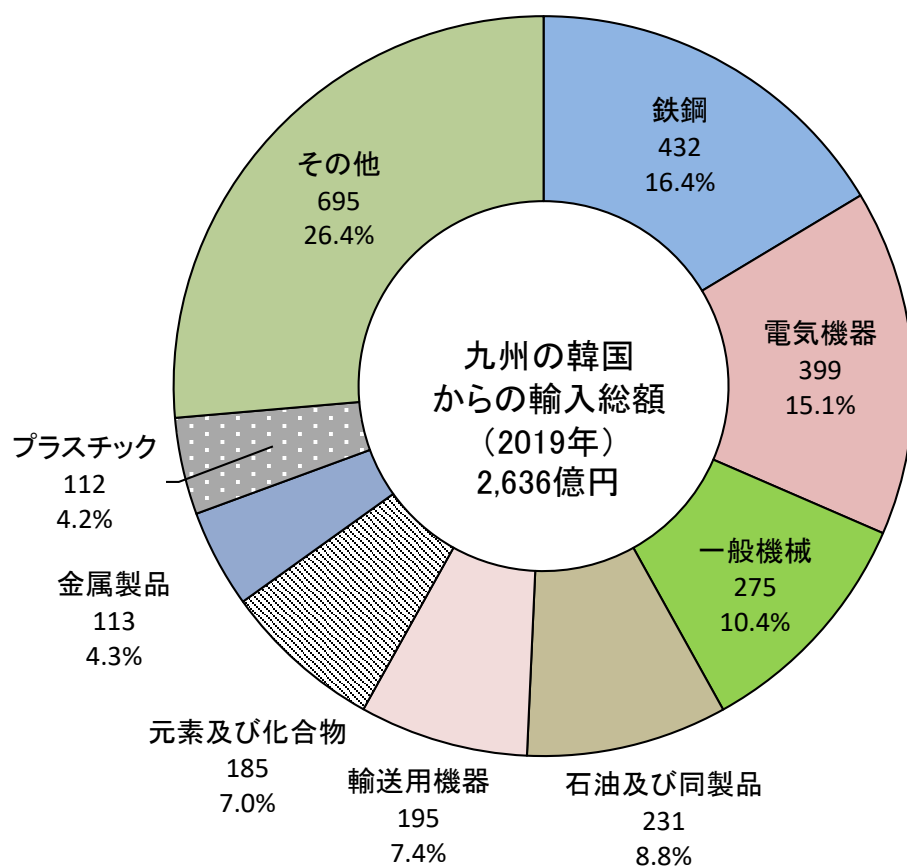
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲10.5%）、科学光学機器（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-1-4 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	365	13.9%	5.8%	15.2%
石油製品	石油及び同製品	231	8.8%	▲29.0%	5.5%
自動車の部分品	輸送用機器	187	7.1%	▲17.3%	27.4%
有機化合物	元素及び化合物	145	5.5%	▲42.0%	11.5%
電気回路等の機器	電気機器	83	3.2%	49.0%	34.9%
半導体等電子部品	電気機器	72	2.7%	▲22.8%	4.7%
野菜	果実及び野菜	61	2.3%	15.4%	19.7%
魚介類	電気機器	53	2.0%	16.2%	10.4%
半導体等製造装置	一般機械	48	1.8%	▲19.3%	11.9%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	48	1.8%	33.7%	9.8%
その他		1,341	50.9%	—	—
総 額		2,636	100%	▲9.2%	8.2%

寄与度（増加分）：電気回路等の機器（+0.9%）、鉄鋼のフラットロール製品（+0.7%）等

寄与度（減少分）：有機化合物（▲3.6%）、石油製品（▲3.3%）等

2. 九州と中国の貿易

2-1 中国の経済概況

面 積	約960万km ² (日本の約26倍)
人 口	約14億人
首 都	北京
民 族	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言 語	漢語(中国語)
宗 教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政 体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの7%)、第二次産業(同39%)、第三次産業(同54%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。2015年に第三次産業の比率は50%を超えた。

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.0	6.8	6.9	6.7	6.1
名目GDP総額	10億ドル	11,226	11,222	12,062	13,368	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	8,167	8,116	8,677	9,580	-
輸出額	億ドル	22,735	20,976	22,633	24,867	24,994
	前年比(%)	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9	9.9	0.5
輸入額	億ドル	16,796	15,879	18,438	21,357	20,777
	前年比(%)	▲ 14.3	▲ 5.5	16.1	15.8	▲ 2.7
貿易収支	億ドル	5,939	5,097	4,196	3,510	4,218
対日貿易収支	億ドル	▲ 72	▲ 159	▲ 283	▲ 329	▲ 283
鉱工業生産指数	前年比(%)	6.1	6.0	6.6	6.2	5.7
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.0	3.9	3.8	3.6
消費者物価指数	前年比(%)	1.4	2.0	1.6	2.1	2.9
直接投資受入額	億ドル	2,425	1,748	1,661	2,354	1,558
為替レート(1ドル)	人民元	6.23	6.65	6.76	6.62	6.91
為替レート(1人民元)	円	19.44	16.37	16.60	16.69	15.78

*

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

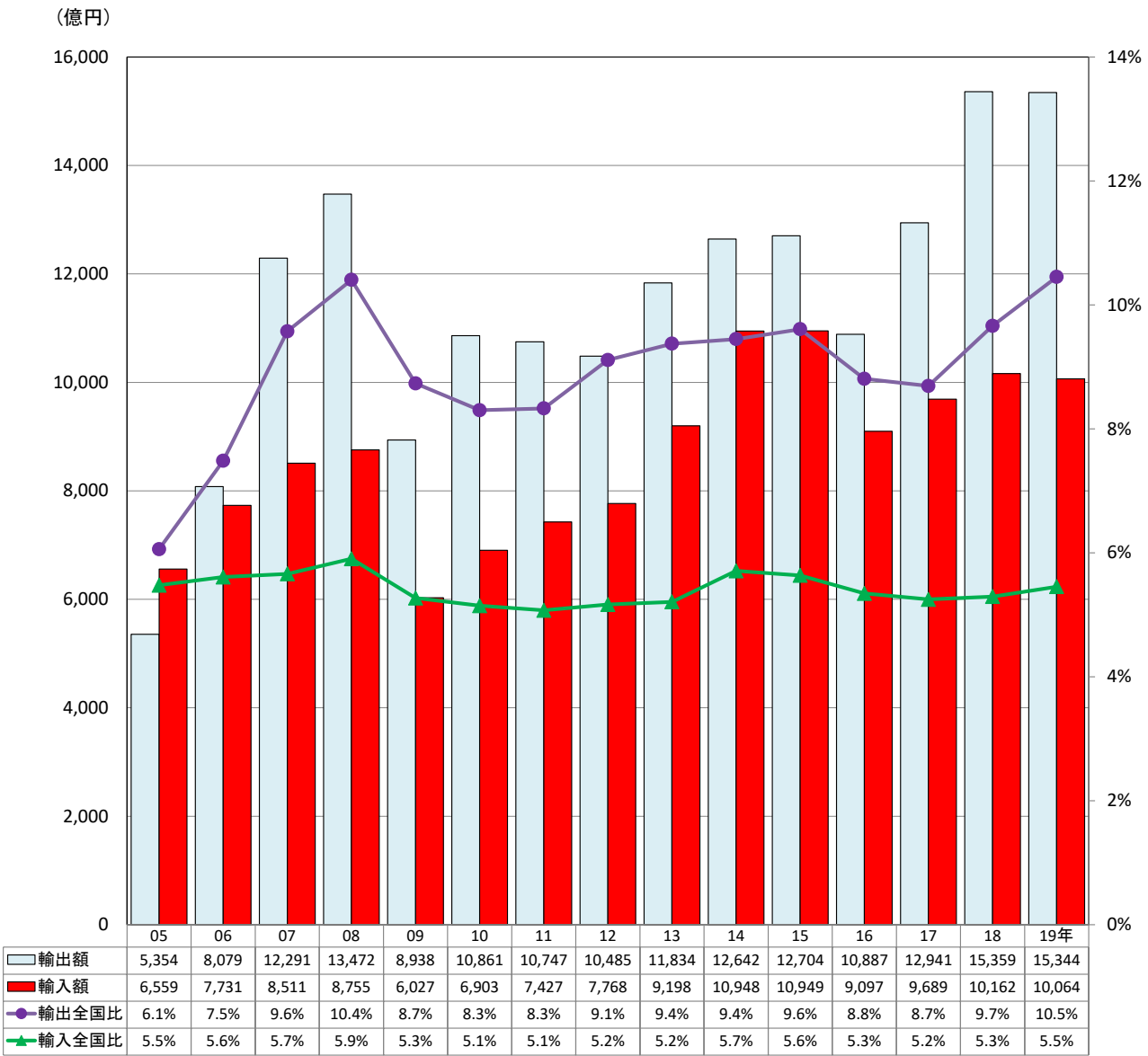
2-2 中国との貿易動向

●2019年の九州の対中国貿易額
輸出総額：1兆5,344億円（対前年▲0.1%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：1兆64億円（対前年▲1.0%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：5,280億円（対前年+1.6%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物
〈寄与度↑〉自動車（+8.7%）、有機化合物（+0.4%）
〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲4.9%）、半導体等電子部品（▲1.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、自動車の部分品、有機化合物
〈寄与度↑〉無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）
〈寄与度↓〉電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）

図表2-2-2 九州の対中国貿易額の推移

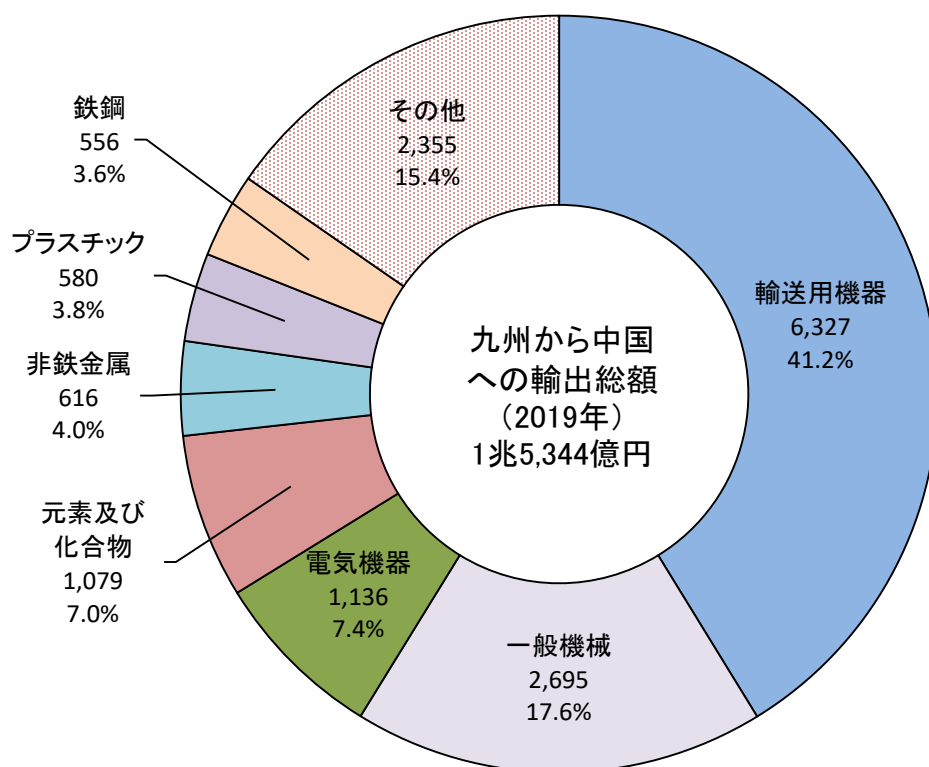


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-2-3 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	6,247	40.7%	27.3%	79.4%
半導体等製造装置	一般機械	1,514	9.9%	▲33.3%	16.8%
有機化合物	元素及び化合物	1,011	6.6%	5.9%	14.8%
半導体等電子部品	電気機器	525	3.4%	▲24.6%	5.4%
銅及び同合金	非鉄金属	517	3.4%	▲11.8%	25.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	464	3.0%	▲24.6%	13.7%
原動機	一般機械	428	2.8%	▲21.8%	9.3%
科学光学機器	精密機器類	157	1.0%	▲27.0%	2.1%
電気回路等の機器	電気機器	135	0.9%	▲20.5%	2.6%
事務用機器	一般機械	125	0.8%	4.9%	5.7%
その他		4,220	27.5%	—	—
総 額		15,344	100%	-0.1%	10.5%

寄与度（増加分）：自動車（+8.7%）、有機化合物（+0.4%）等

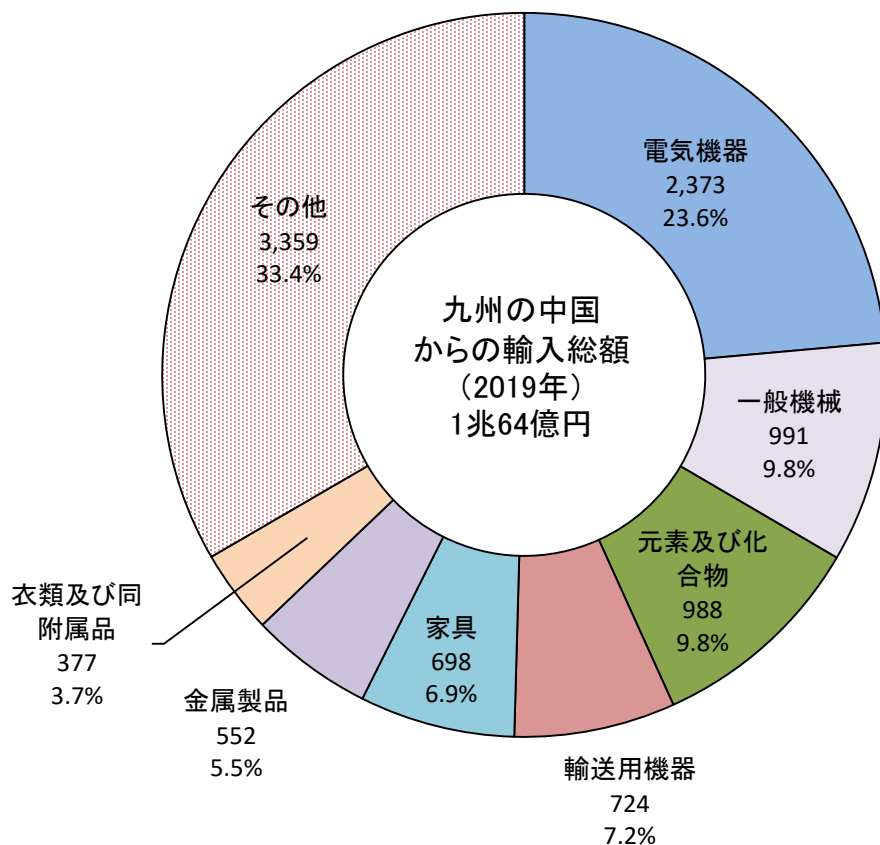
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲4.9%）、半導体等電子部品（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-2-4 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	781	7.8%	41.8%	16.0%
自動車の部分品	輸送用機器	588	5.8%	▲6.1%	17.9%
無機化合物	元素及び化合物	501	5.0%	15.1%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	473	4.7%	4.6%	13.2%
家庭用電気機器	電気機器	298	3.0%	21.3%	6.7%
電気回路等の機器	電気機器	251	2.5%	▲10.4%	10.0%
野菜	果実及び野菜	241	2.4%	▲4.8%	9.2%
重電機器	電気機器	234	2.3%	43.9%	6.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	224	2.2%	2.3%	7.9%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	222	2.2%	▲8.6%	2.5%
その他		6,250	62.1%	—	—
総 額		10,064	100%	-1.0%	5.5%

寄与度（増加分）：無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）等

寄与度（減少分）：電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

3. 九州と台湾の貿易

3-1 台湾の経済概況

面 積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人 口	約2,360万人(2020年2月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言 語	中国語、台湾語、客家語等
宗 教	仏教、道教、キリスト教
政 体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-3-1 台湾のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.5	2.2	3.3	2.7	2.7
名目GDP総額	10億ドル	534	543	591	608	611
一人当たりGDP(名目)	ドル	22,780	23,091	25,080	25,792	25,909
輸出額	億ドル	2,844	2,792	3,155	3,340	3,292
	前年比(%)	▲ 11.0	▲ 1.8	13.0	5.9	▲ 1.4
輸入額	億ドル	2,364	2,292	2,572	2,848	2,857
	前年比(%)	▲ 15.9	▲ 3.0	12.2	10.7	0.3
貿易収支	億ドル	481	500	583	492	435
対日貿易収支	億ドル	▲ 192	▲ 212	▲ 214	▲ 214	▲ 208
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 1.3	2.0	5.0	3.6	▲ 0.3
失業率	(%)	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	▲ 0.3	1.4	0.6	1.3	0.6
直接投資受入額	億ドル	24	93	33	70	- *
為替レート(1ドル)	台湾元	31.91	32.33	30.44	30.16	30.93
為替レート(1台湾元)	円	3.79	3.37	3.68	3.66	3.53

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

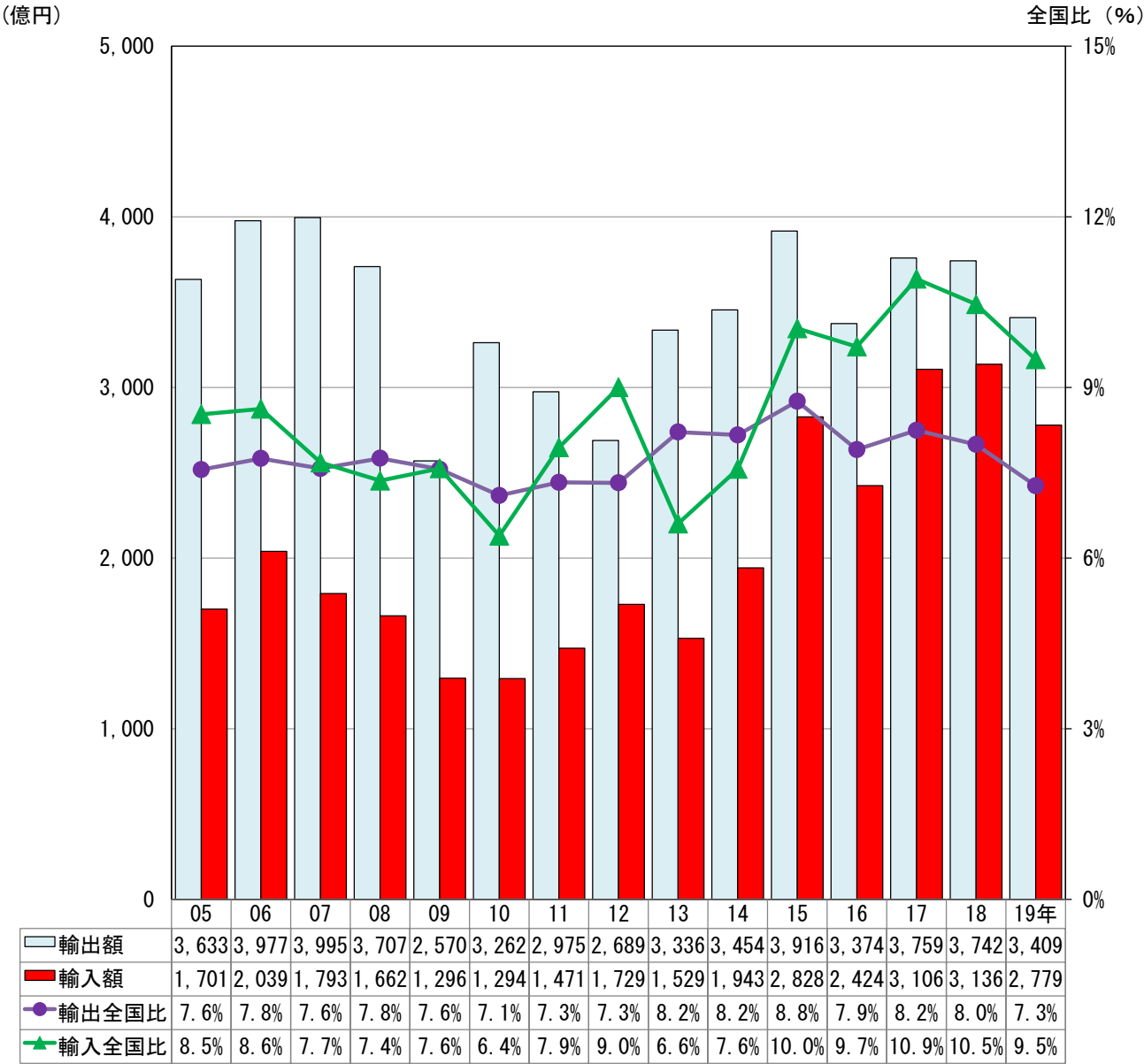
3-2 台湾との貿易動向

●2019年の九州の対台湾貿易額
輸出総額：3,409億円（対前年▲8.9%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：2,779億円（対前年▲11.4%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：630億円（対前年+3.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉半導体等製造装置（+3.5%）、自動車（+1.9%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲2.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.5%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物
〈寄与度↑〉石油製品（+0.7%）、事務用機器（+0.3%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲7.1%）、有機化合物（▲1.5%）

図表2-3-2 九州の対台湾貿易額の推移

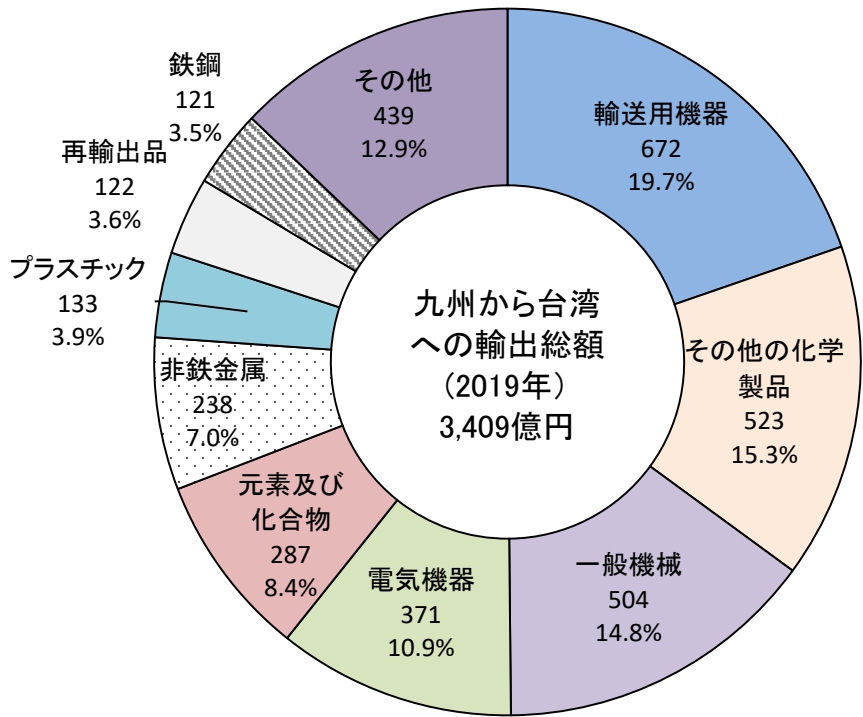


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-3-3 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	659	19.3%	11.9%	22.9%
半導体等製造装置	一般機械	324	9.5%	67.1%	5.6%
半導体等電子部品	電気機器	279	8.2%	▲22.2%	3.9%
有機化合物	元素及び化合物	216	6.3%	▲19.3%	10.0%
銅及び同合金	非鉄金属	207	6.1%	▲8.8%	18.3%
科学光学機器	精密機器類	98	2.9%	0.7%	6.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	81	2.4%	▲41.5%	14.6%
無機化合物	元素及び化合物	70	2.1%	▲26.2%	12.1%
(鉄鋼くず)	鉄鋼	34	1.0%	28.9%	13.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	32	0.9%	▲9.4%	6.8%
その他		1,407	41.3%	—	—
総 額		3,409	100.0%	▲8.9%	7.3%

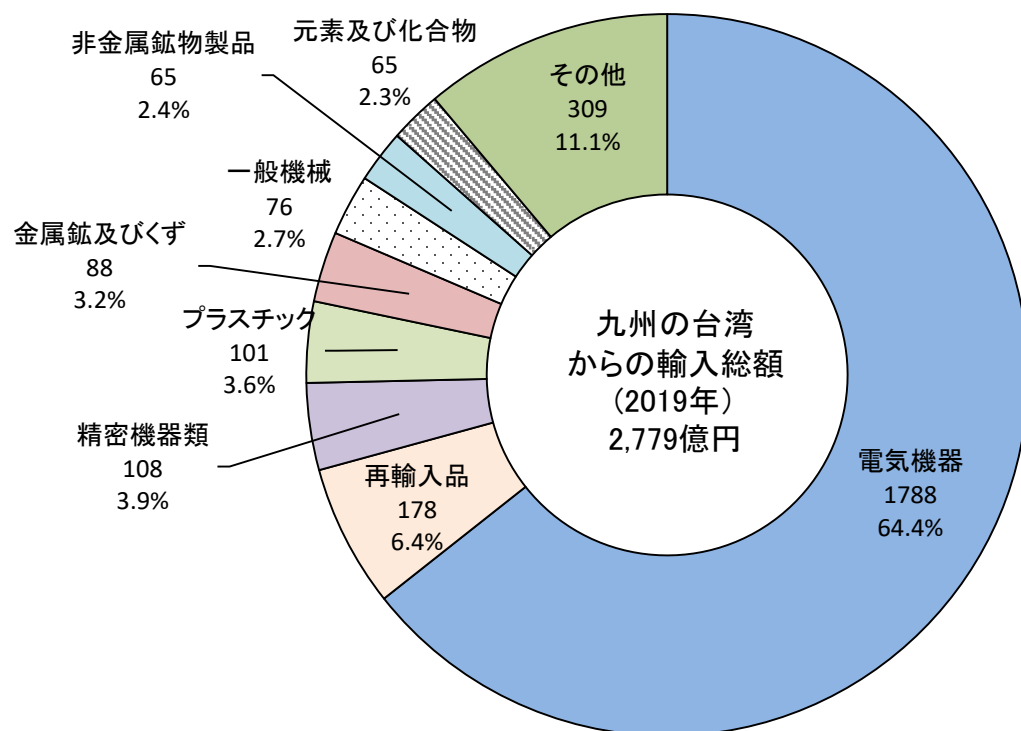
寄与度（増加分）：半導体等製造装置（+3.5%）、自動車（+1.9%）等
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲2.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-3-4 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,732	62.3%	-10.2%	15.7%
科学光学機器	精密機器類	108	3.9%	-24.9%	14.5%
有機化合物	元素及び化合物	51	1.8%	-45.0%	12.7%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	48	1.7%	-36.9%	33.1%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	26	0.9%	-	49.6%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.8%	0.3%	6.7%
石油製品	石油及び同製品	21	0.7%	8845.9%	14.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	17	0.6%	-23.1%	2.3%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	16	0.6%	17.1%	18.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	15	0.6%	24.2%	6.3%
その他		723	26%	-	-
総 額		2,779	100.0%	-11.4%	9.5%

寄与度（増加分）：石油製品（+0.7%）、事務用機器（+0.3%）等

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲7.1%）、有機化合物（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

4. 九州と香港の貿易

4-1 香港の経済概況

面 積	1,106km ² (東京都の約半分)
人 口	約734万人(2016年)
民 族	中国系(約91%)
言 語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗 教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政 体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region: SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-4-1 香港のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.4	2.2	3.8	2.9	▲ 1.2
名目GDP総額	10億ドル	309	321	342	363	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	42,322	43,499	46,080	48,517	—
輸出額	億ドル	4,655	4,626	4,976	5,312	5,096
	前年比(%)	▲ 1.8	▲ 0.6	7.6	6.7	▲ 4.1
輸入額	億ドル	5,226	5,170	5,595	6,029	5,638
	前年比(%)	▲ 4.1	▲ 1.1	8.2	7.8	▲ 6.5
貿易収支	億ドル	▲ 571	▲ 544	▲ 619	▲ 717	▲ 542
対日貿易収支	億ドル	▲ 202	▲ 185	▲ 192	▲ 183	— *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 1.6	▲ 0.4	0.4	1.3	0.4
失業率	(%)	3.3	3.4	3.1	2.8	3.0
消費者物価指数	前年比(%)	3.0	2.4	1.5	2.4	2.9
直接投資受入額	億ドル	1,810	1,333	1,257	865	— *
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.75	7.76	7.79	7.84	7.84
為替レート(1香港ドル)	円	15.62	14.02	14.39	14.09	13.91

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

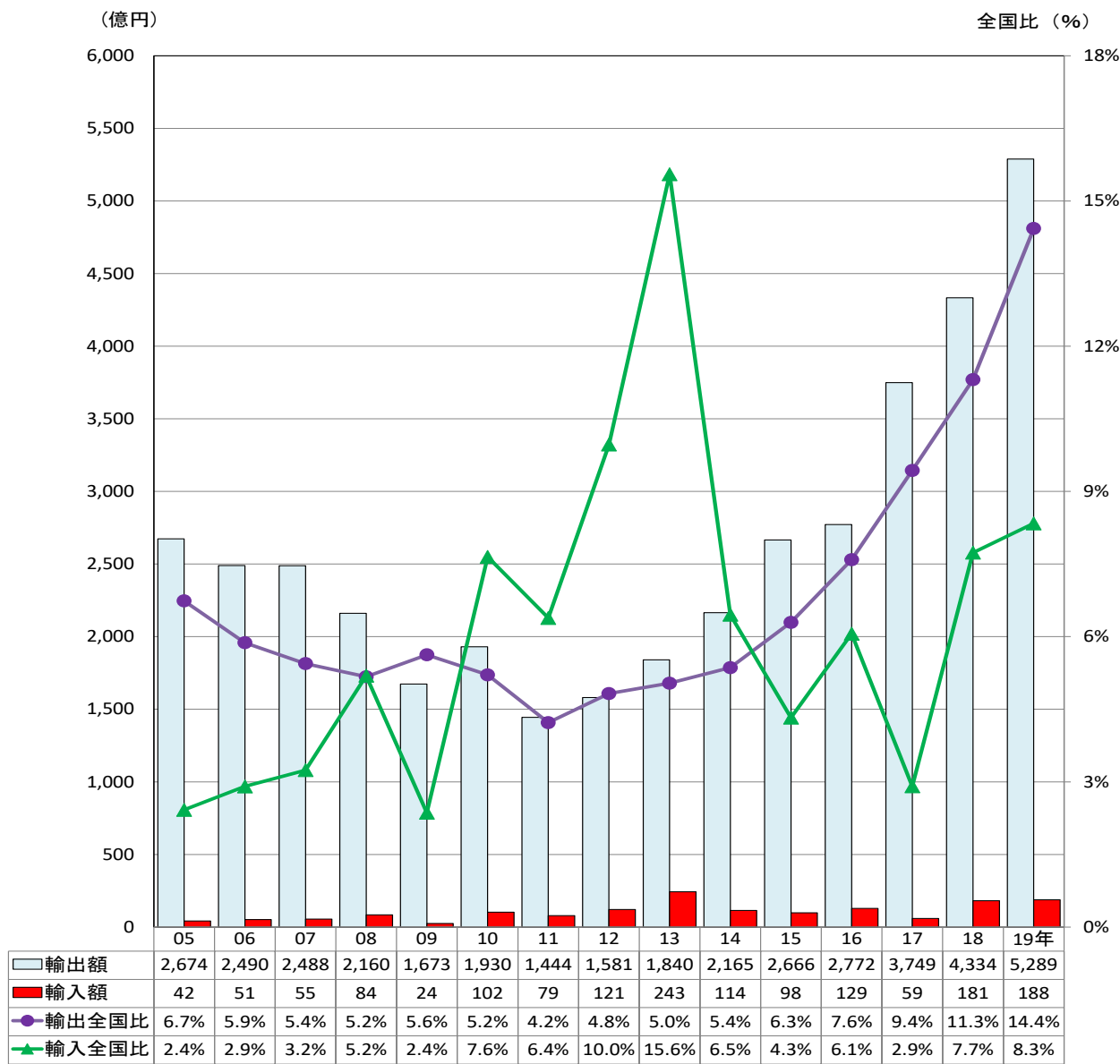
4-2 香港との貿易動向

●2019年の九州の対香港貿易額
輸出総額：5, 289億円（対前年+22.1%） → 8年連続のプラス
輸入総額：188億円（対前年+3.4%） → 2年連続のプラス
差引額：5, 102億円（対前年+22.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+25.4%）、化粧品（+0.6%）
〈寄与度↓〉建設用・鉱山用機械（▲0.6%）、コンデンサー（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず
〈寄与度↑〉魚介類（+9.1%）、がん具及び遊戯用具（+0.02%）
〈寄与度↓〉鉄鋼くず（▲1.3%）、非鉄卑金属くず（▲0.05%）

図表2-4-2 九州の対香港貿易額の推移

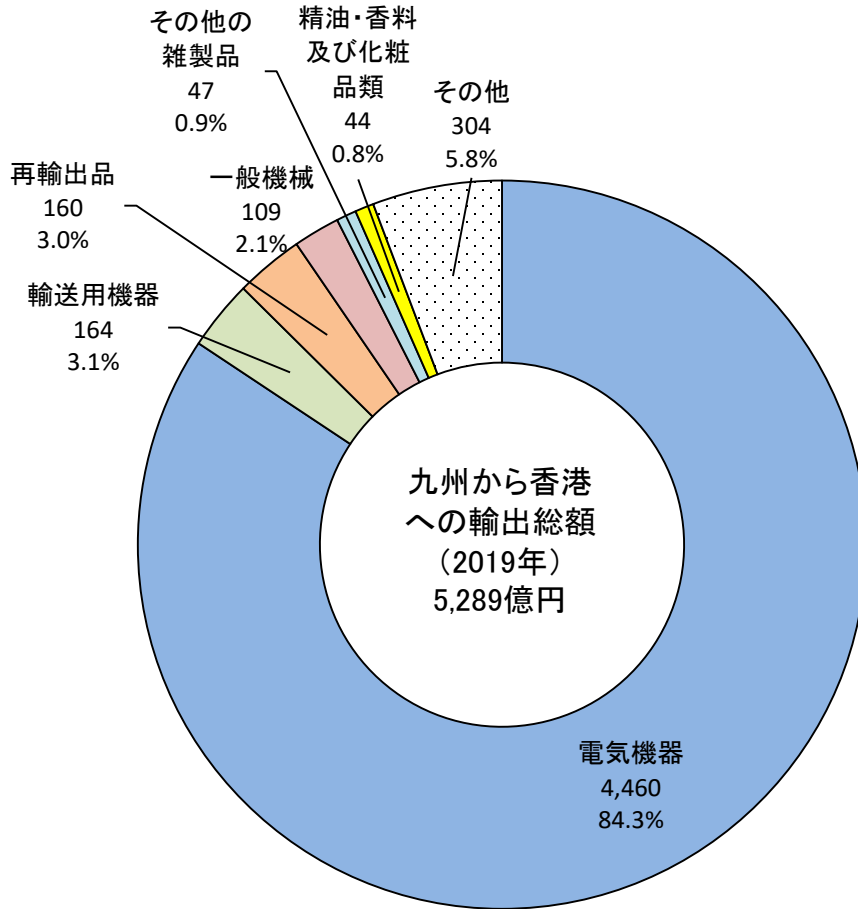


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-4-3 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	4,251	80.4%	34.9%	57.4%
電気回路等の機器	電気機器	164	3.1%	▲12.6%	7.8%
船舶類	輸送用機器	122	2.3%	▲12.7%	40.1%
自動車	輸送用機器	40	0.8%	▲19.9%	5.1%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	39	0.7%	214.0%	2.9%
建設用・鉱山用機械	一般機械	37	0.7%	▲41.9%	10.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	25	0.5%	14.1%	43.5%
貴石等の製品類	その他の雑製品	22	0.4%	▲17.4%	2.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	20	0.4%	14.5%	11.1%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	18	0.3%	34.1%	4.9%
その他		551	10.4%	—	—
総 額		5,289	100.0%	22.1%	14.4%

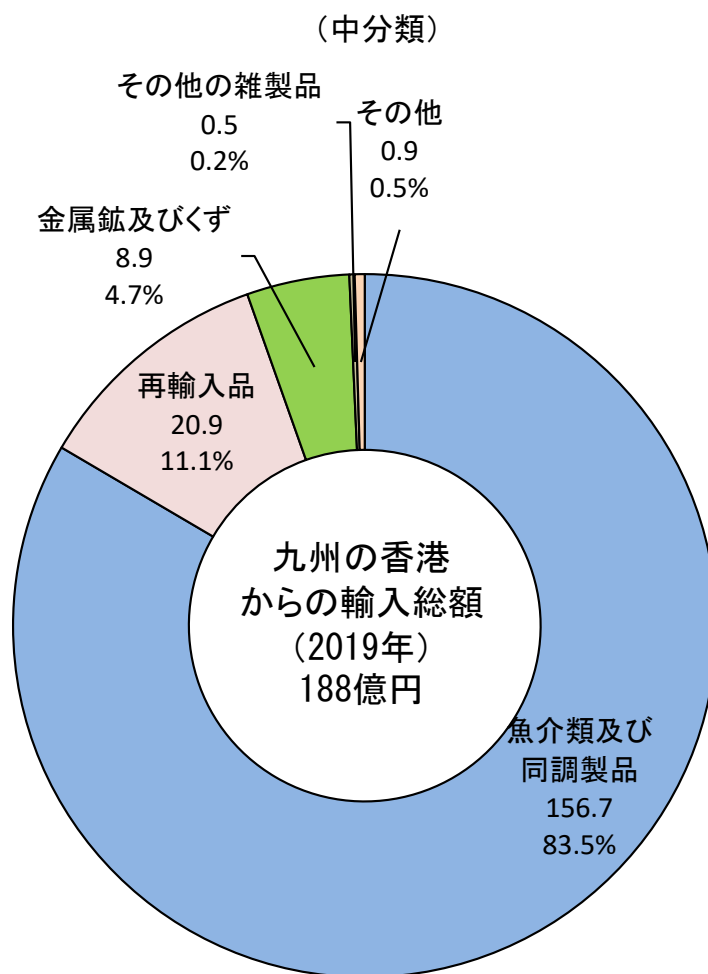
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+25.4%）、化粧品（+0.6%）等

寄与度（減少分）：建設用・鉱山用機械（▲0.6%）、コンデンサー（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-4-4 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	156.66	83.46%	11.8%	66.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	5.33	2.84%	▲1.5%	24.8%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	0.47	0.25%	▲83.4%	82.1%
無機化合物	元素及び化合物	0.21	0.11%	—	32.7%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.11	0.06%	40.5%	1.9%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.08	0.04%	15.9%	2.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.05	0.03%	▲48.1%	1.2%
時計及び部分品	精密機器類	0.03	0.02%	149.4%	0.1%
電気計測機器	電気機器	0.03	0.01%	68.9%	0.6%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	0.02	0.01%	—	0.6%
その他		24.72	13.17%	—	—
総 額		187.71	100.00%	3.4%	8.3%

寄与度（増加分）：魚介類（+9.1%）、がん具及び遊戯用具（+0.02%）等
 寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲1.3%）、非鉄卑金属くず（▲0.05%）等

5. 九州とベトナムの貿易

5-1 ベトナムの経済概況

面 積	32万9,241km ²
人 口	約9,467万人(2018年、越統計総局)
首 都	ハノイ
民 族	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言 語	ベトナム語
宗 教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政 体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業(GDPに占める割合14.57%)、鉱工業・建築業(34.28%)、サービス業(41.17%)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-5-1 ベトナムのマクロ経済

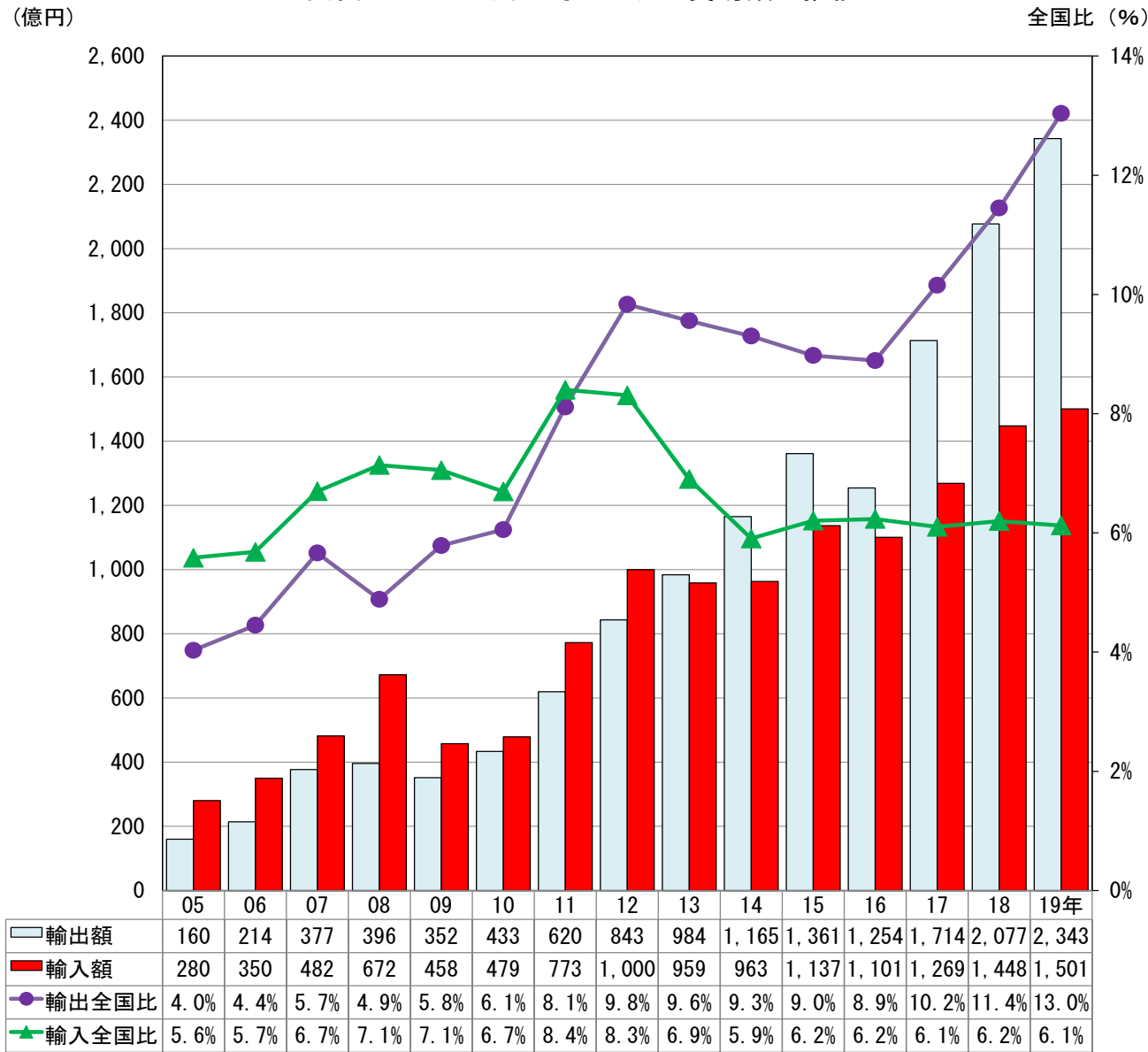
	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.0	6.7	6.9	7.1	7.0
名目GDP総額	億ドル	1,932	2,053	2,238	2,452	- *
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,109	2,215	2,389	2,590	2,715 *
輸出額	億ドル	1,620	1,766	2,151	2,437	2,643
	前年比(%)	7.9	9.0	21.8	13.3	8.4
輸入額	億ドル	1,656	1,748	2,130	2,369	2,539
	前年比(%)	12.0	5.6	21.9	11.2	7.2
貿易収支	億ドル	▲ 36	18	21	68	104
対日貿易収支	億ドル	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 2	- *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	9.8	7.4	9.5	10.2	9.1
失業率	(%)	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1
消費者物価	(%)	0.6	2.7	3.5	3.5	2.8
直接投資受入額	億ドル	241	269	371	364	- *
為替レート(1ドル)	ドン	21,677	21,932	22,370	22,602	23,050 *

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

5-2 ベトナムとの貿易動向

- 2019年の九州の対ベトナム貿易額
輸出総額：2,343億円（対前年+12.8%） → 3年連続のプラス
輸入総額：1,501億円（対前年+3.7%） → 3年連続のプラス
差引額：842億円（対前年+33.7%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、科学光学機器
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+11.8%）、電気回路等の機器（+1.9%）
〈寄与度↓〉銅及び同合金（▲2.2%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲0.4%）
- 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類
〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+0.4%）、パルプウッド等（+0.4%）
〈寄与度↓〉無機化合物（▲1.4%）、石炭（▲0.7%）

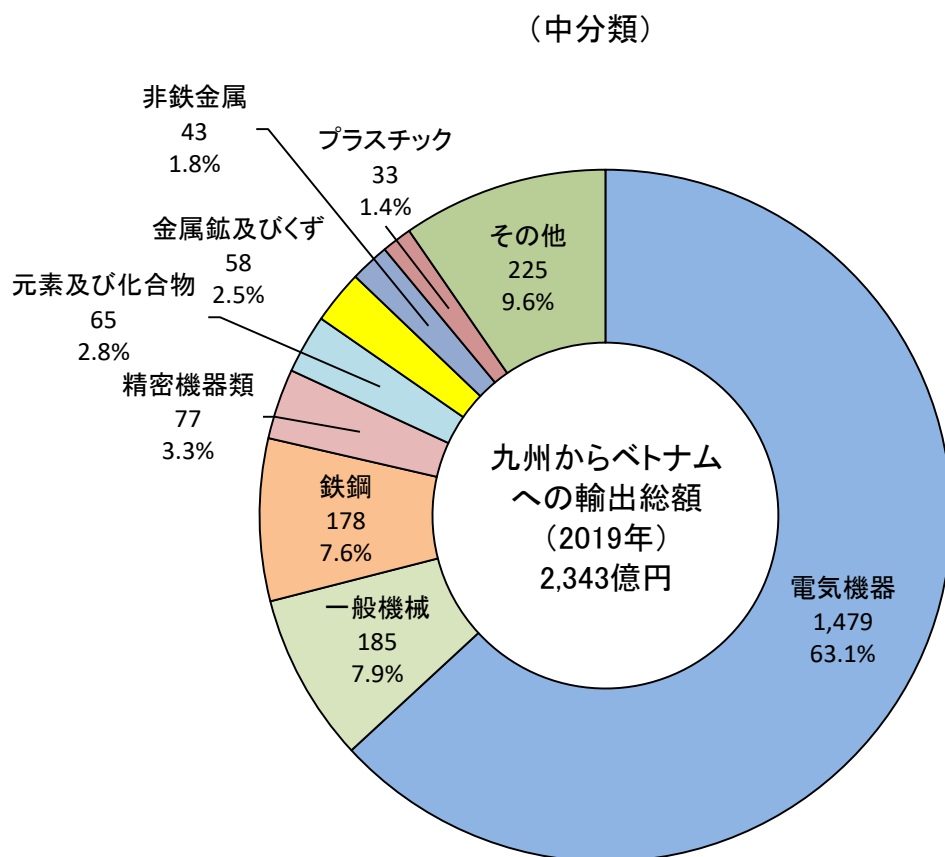
図表2-5-2 九州の対ベトナム貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-5-3 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,365	58.2%	22.0%	72.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	158	6.7%	▲5.0%	13.7%
科学光学機器	精密機器類	77	3.3%	25.2%	13.6%
電気回路等の機器	電気機器	70	3.0%	126.3%	6.7%
事務用機器	一般機械	65	2.8%	▲8.1%	9.5%
有機化合物	元素及び化合物	62	2.6%	12.4%	25.9%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	56	2.4%	24.9%	8.1%
銅及び同合金	非鉄金属	41	1.7%	▲52.4%	19.8%
荷役機械	一般機械	37	1.6%	▲16.3%	21.1%
魚介類	魚介類及び同調製品	27	1.2%	▲18.1%	17.7%
その他		384	16.4%	—	—
総 額		2,343	100%	12.8%	13.0%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+11.8%）、電気回路等の機器（+1.9%）等

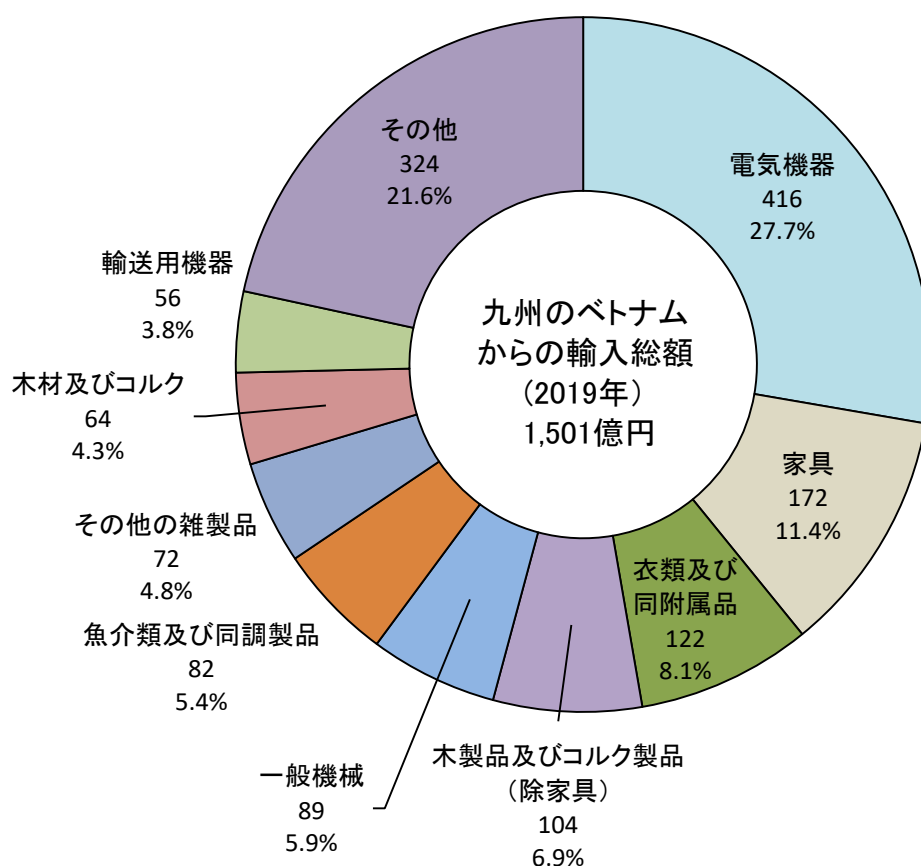
寄与度（減少分）：銅及び同合金（▲2.2%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲0.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-5-4 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	341	22.7%	1.8%	14.5%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	93	6.2%	6.7%	13.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	82	5.4%	6.7%	3.4%
プラスチック製品	その他の雑製品	56	3.7%	0.7%	7.5%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	43	2.9%	1.5%	7.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	2.6%	0.4%	6.3%
自動車の部分品	輸送用機器	37	2.5%	16.9%	7.0%
衣類	衣類及び同附属品	32	2.2%	1.4%	1.5%
原動機	一般機械	31	2.0%	▲2.5%	27.0%
合金鉄	鉄鋼	27	1.8%	▲17.2%	38.3%
その他		721	48.0%	—	—
総 額		1,501	100.0%	3.7%	6.1%

寄与度（増加分）：絶縁電線及び絶縁ケーブル（+0.4%）、パルプウッド等（+0.4%）等

寄与度（減少分）：無機化合物（▲1.4%）、石炭（▲0.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

6. 九州とタイの貿易

6-1 タイの経済概況

面積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,891万人(2017年)(タイ国勢調査)
首都	バンコク
民族	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%
政体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

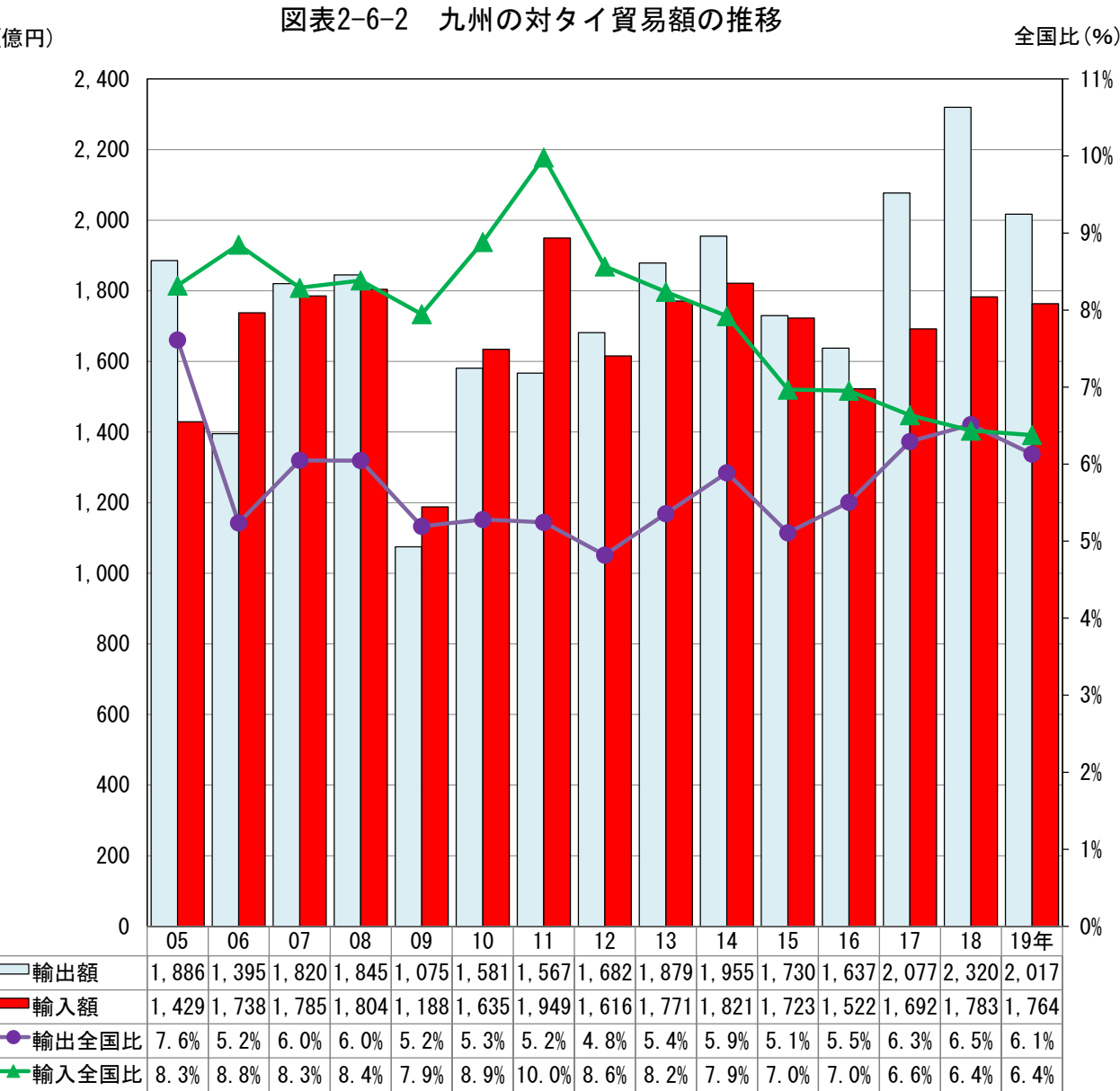
図表2-6-1 タイのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.1	3.4	4.0	4.2	2.4
名目GDP総額	10億ドル	401	412	455	505	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,831	5,970	6,591	6,992	—
輸出額	億ドル	2,143	2,154	2,366	2,530	2,462
	前年比(%)	▲ 5.8	0.5	9.9	6.9	▲ 2.7
輸入額	億ドル	2,027	1,942	2,215	2,482	2,366
	前年比(%)	▲ 11.0	▲ 4.2	14.1	12.0	▲ 4.7
貿易収支	億ドル	117	212	151	48	96
対日貿易収支	億ドル	▲ 112	▲ 102	▲ 100	▲ 103	▲ 87
製造業生産指数	前年比(%)	0.0	1.4	1.8	3.7	▲ 3.6
失業率	(%)	0.9	1.0	1.2	1.1	1.0
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	▲ 0.9	0.2	0.7	1.1	0.7
直接投資受入額	億ドル	86	31	82	132	85
為替レート(1ドル)	バーツ	34.25	35.30	33.94	32.31	31.05
為替レート(1バーツ)	円	3.53	3.08	3.31	3.42	3.51

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

6-2 タイとの貿易動向

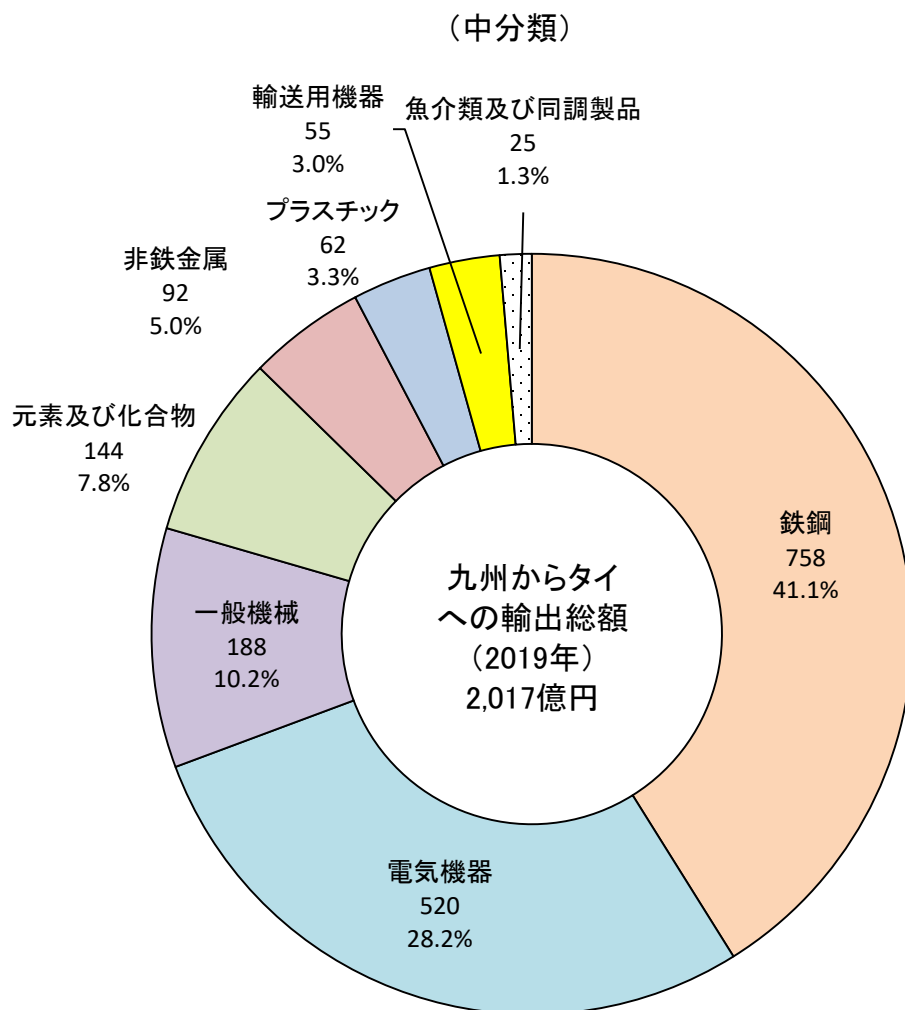
- 2019年の九州の対タイ貿易額
輸出総額：2,017億円（対前年▲13.0%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：1,764億円（対前年▲1.1%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：254億円（対前年▲52.7%）
- 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、
鉄鋼の棒・形鋼及び線
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+1.0%）、金属加工機械（+0.4%）
〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲7.3%）、音響・映像機器の部分品（▲1.3%）等
- 輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、天然ゴム、音響・映像機器（含む部品）
〈寄与度↑〉自動車の部分品（+1.0%）、二輪自動車類（+0.7%）
〈寄与度↓〉天然ゴム（▲1.6%）、パルプウッド（▲1.1%）



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-6-3 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比	全国比
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	572	28.3%	▲22.9%	19.6%
半導体等電子部品	電気機器	439	21.8%	5.4%	20.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	185	9.2%	▲4.4%	21.1%
有機化合物	元素及び化合物	135	6.7%	▲17.1%	30.9%
銅及び同合金	非鉄金属	76	3.8%	▲23.6%	9.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	27	1.4%	17.6%	13.6%
金属加工機械	一般機械	26	1.3%	49.9%	4.0%
魚介類	魚介類及び同調整品	24	1.2%	▲17.2%	13.1%
科学光学機器	精密機械類	21	1.0%	▲40.0%	3.0%
自動車	輸送用機器	20	1.0%	23.1%	3.4%
その他		492	24.4%	—	—
総 額		2,017	100.0%	▲13.0%	6.1%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+1.0%）、金属加工機械（+0.4%）

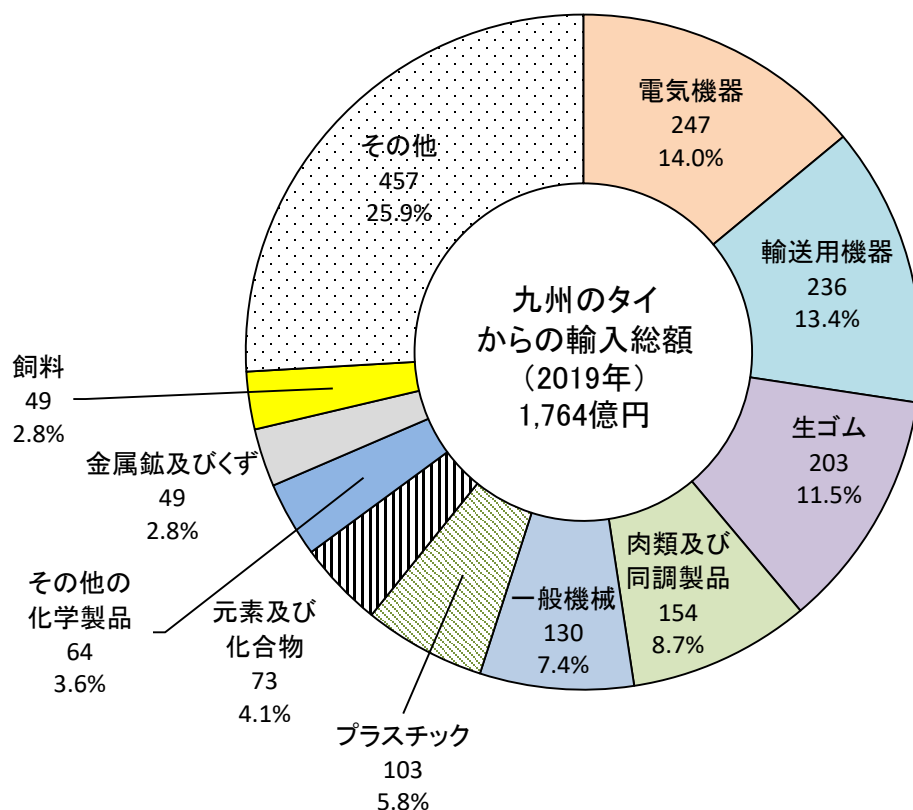
寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲7.3%）、音響・映像機器の部分品（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-6-4 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比	全国比
自動車の部分品	輸送用機器	211	12.0%	9.6%	20.8%
天然ゴム	生ゴム	187	10.6%	▲13.0%	47.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	62	3.5%	▲6.3%	5.8%
無機化合物	元素及び化合物	49	2.8%	15.9%	33.4%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	42	2.4%	▲18.2%	9.8%
家庭用電気機器	電気機器	41	2.3%	35.1%	5.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	41	2.3%	15.6%	13.7%
電気計測機器	電気機器	36	2.0%	▲6.0%	8.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	35	2.0%	20.6%	5.8%
合成樹脂	プラスチック	34	1.9%	▲8.7%	7.2%
その他		1,026	58.2%	—	—
総 額		1,764	100.0%	▲1.1%	6.4%

寄与度（増加分）：自動車の部分品（+1.0%）、二輪自動車類（+0.7%）等

寄与度（減少分）：天然ゴム（▲1.6%）、パルプウッド等（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

7. 九州とシンガポールの貿易

7-1 シンガポールの経済概況

面 積	約720km ² (東京23区と同程度)
人 口	約564万人(うちシンガポール人・永住者は399万人)(2019年1月)
民 族	中華系74%、マレー系14%、インド系9%、(2019年1月)
言 語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗 教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政 体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、 商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-7-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.0	3.2	4.3	3.4	0.7
名目GDP総額	10億ドル	308	318	338	364	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	55,647	56,828	60,922	66,174	65,233
輸出額	億ドル	3,577	3,380	3,729	4,120	3,904
	前年比(%)	▲ 13.8	▲ 5.5	10.3	10.5	▲ 5.2
輸入額	億ドル	3,080	2,919	3,274	3,708	3,590
	前年比(%)	▲ 18.5	▲ 5.2	12.1	13.3	▲ 3.2
貿易収支	億ドル	498	460	455	411	314
対日貿易収支	億ドル	▲ 33	▲ 47	▲ 33	▲ 22	— *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 5.1	3.7	10.4	7.0	▲ 1.4
失業率	(%)	1.9	2.1	2.2	2.1	2.3
消費者物価指数	前年比(%)	▲ 0.5	▲ 0.5	0.6	0.4	0.6
直接投資受入額	億ドル	698	736	948	820	— *
為替レート(1ドル)	Sドル	1.38	1.38	1.38	1.35	1.36
為替レート(1Sドル)	円	88.04	78.75	81.23	81.87	79.91

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

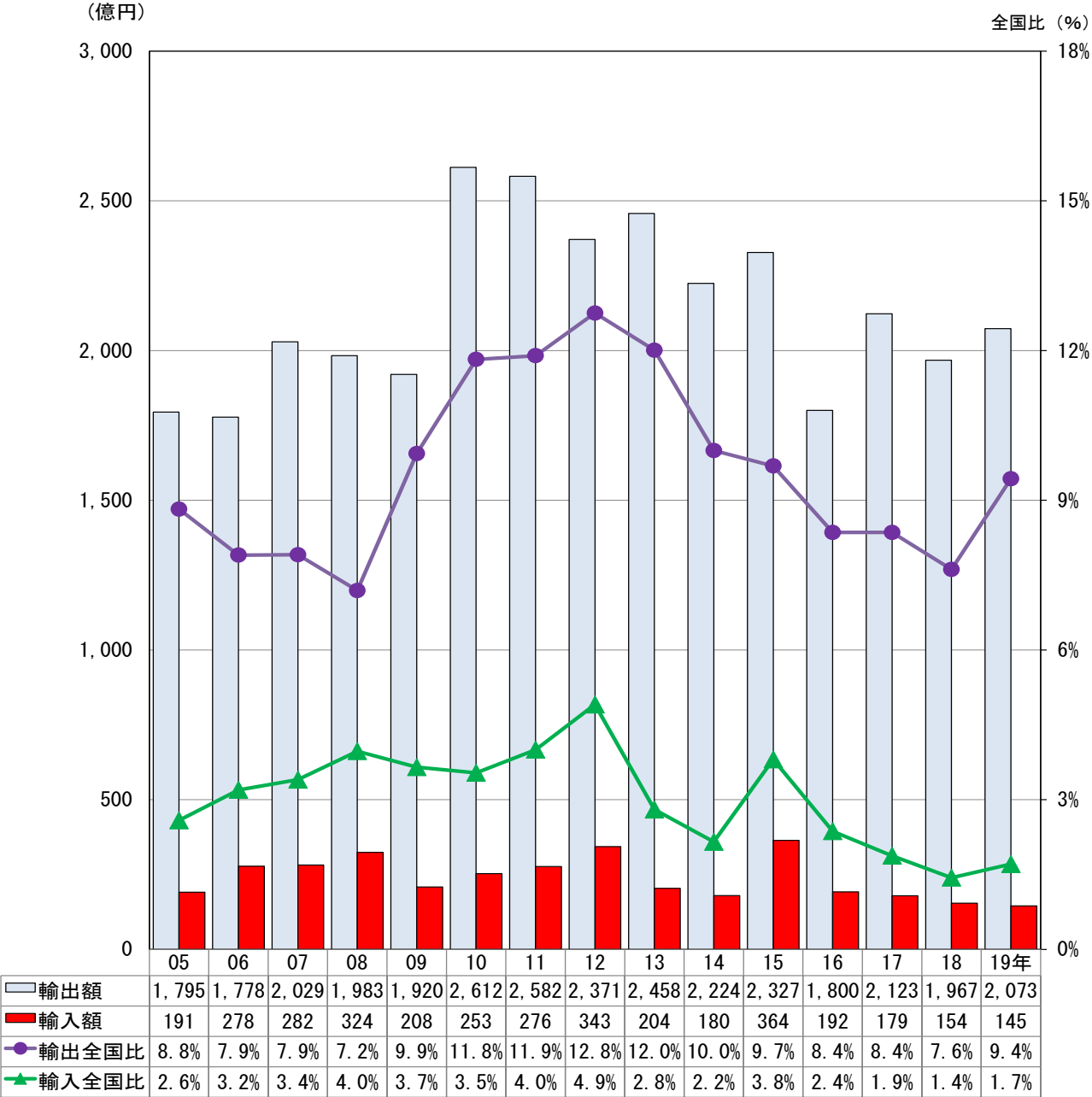
7-2 シンガポールとの貿易動向

●2019年の九州の対シンガポール貿易額
輸出総額：2, 0 7 3 億円（対前年+5. 4%） → 2年ぶりのプラス
輸入総額：1 4 5 億円（対前年▲5. 8%） → 4年連続のマイナス
差引額：1, 9 2 8 億円（対前年+6. 3%）

●輸出品目（輸出額多い順）船舶類、金（マネタリーゴールドを除く）、事務用機器
〈寄与度↑〉船舶類（+21. 9%）、音響・映像機器の部分品（+1. 7%）
〈寄与度↓〉映像機器（▲4. 1%）、事務用機器（▲1. 8%）

●輸入品目（輸入額多い順）有機化合物、科学光学機器、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉合成樹脂（+0. 6%）、電気回路等の機器（+0. 2%）
〈寄与度↓〉有機化合物（▲12. 4%）、合成ゴム（▲8. 6%）

図表2-7-2 九州の対シンガポール貿易額の推移

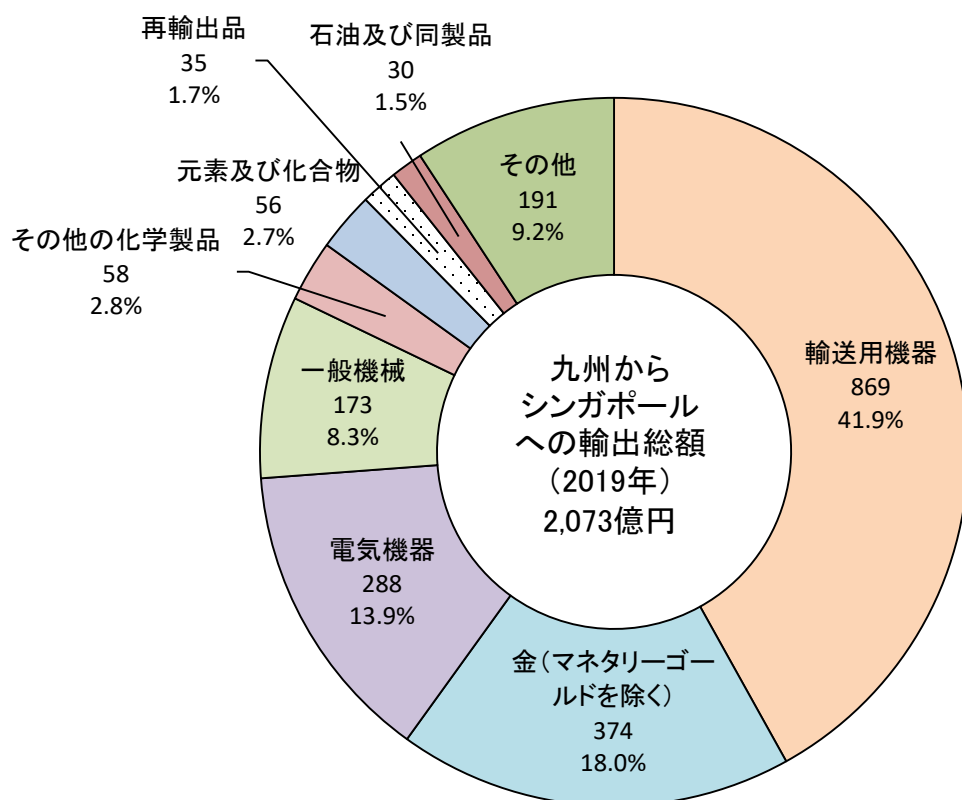


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-7-3 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
船舶類	輸送用機器	784	37.8%	121.9%	31.3%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	374	18.0%	▲5.4%	29.7%
事務用機器	一般機械	127	6.1%	▲21.8%	22.7%
映像機器	電気機器	108	5.2%	▲42.6%	64.3%
音響・映像機器の部分品	電気機器	78	3.7%	73.5%	79.8%
自動車	輸送用機器	76	3.6%	▲22.7%	8.2%
半導体等電子部品	電気機器	67	3.2%	▲18.7%	4.4%
有機化合物	元素及び化合物	52	2.5%	▲7.7%	19.5%
石油製品	石油及び同製品	30	1.5%	38.4%	3.8%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	22	1.1%	▲49.4%	58.8%
その他		356	17.2%	—	—
総 額		2,073	100%	5.4%	9.4%

寄与度（増加分）：船舶類（+21.9%）、音響・映像機器の部分品（+1.7%）等

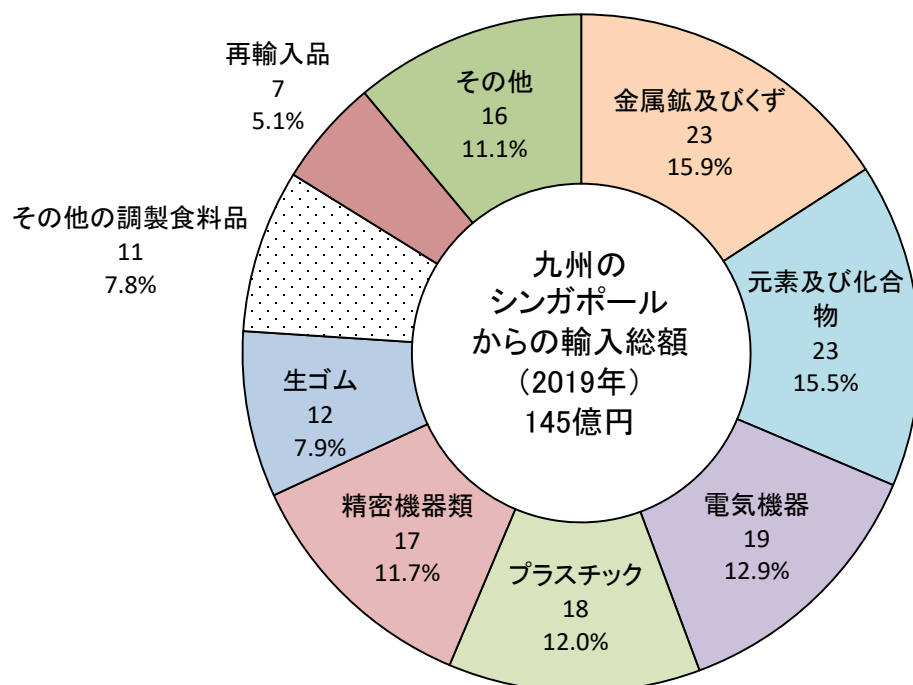
寄与度（減少分）：映像機器（▲4.1%）、事務用機器（▲1.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-7-4 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
有機化合物	元素及び化合物	21	14.8%	▲10.6%	2.3%
科学光学機器	精密機器類	17	11.7%	▲12.0%	21.4%
半導体等電子部品	電気機器	17	11.6%	▲19.0%	1.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	14	9.6%	14.9%	5.3%
合成ゴム	生ゴム	12	7.9%	▲43.2%	1.0%
合成樹脂	プラスチック	8	5.3%	▲87.5%	0.8%
半導体等製造装置	一般機械	7	4.6%	▲20.1%	11.3%
ポリエチレン	プラスチック	3	1.8%	25.0%	5.2%
石油製品	石油及び同製品	2	1.2%	5.9%	0.5%
電気回路等の機器	電気機器	2	1.1%	▲16.4%	10.3%
その他		44	30.4%	—	—
総 額		145	100%	▲5.8%	1.7%

寄与度（増加分）：合成樹脂（+0.6%）、電気回路等の機器（+0.2%）等

寄与度（減少分）：有機化合物（▲12.4%）、合成ゴム（▲8.6%）等

8. 九州とマレーシアの貿易

8-1 マレーシアの経済概況

面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	約3,200万人(2017年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
民族	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注:マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

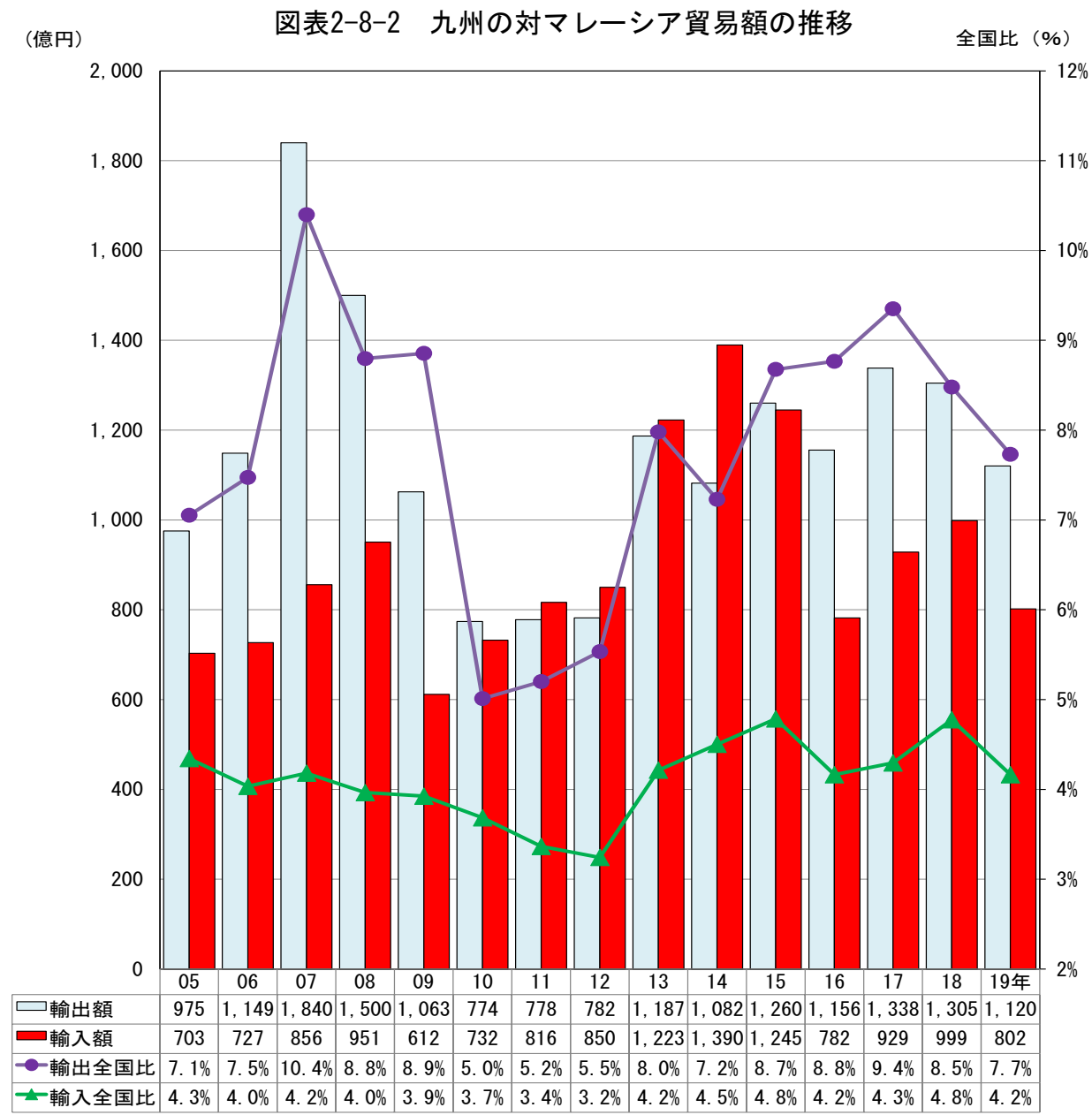
図表2-8-1 マレーシアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.1	4.4	5.7	4.7	4.3
名目GDP総額	10億ドル	297	297	320	359	365 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	9,667	9,540	9,965	11,080	11,198 *
輸出額	億ドル	1,991	1,900	2,175	2,489	2,382
	前年比(%)	▲ 14.9	▲ 4.6	14.5	14.4	▲ 4.3
輸入額	億ドル	1,757	1,688	1,946	2,182	2,051
	前年比(%)	▲ 15.9	▲ 3.9	15.3	12.1	▲ 6.0
貿易収支	億ドル	234	213	229	307	332
対日貿易収支	億ドル	49	16	28	14	4 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.7	4.1	4.4	3.0	2.4
失業率	(%)	3.2	3.5	3.4	3.3	3.3
消費者物価指数	前年比(%)	2.1	2.1	3.8	1.0	0.7
直接投資受入額	億ドル	92	105	100	79	80 *
為替レート(1ドル)	リングギ	3.91	4.15	4.30	4.04	4.14
為替レート(1リングギ)	円	30.99	26.23	26.08	27.37	26.32

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

8-2 マレーシアとの貿易動向

- 2019年の九州の対マレーシア貿易額
輸出総額：1, 120億円（対前年▲14.1%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：802億円（対前年+19.7%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：318億円（対前年▲42.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、自動車、半導体等電子部品
〈寄与度↑〉船舶類（+2.6%）、鉄鋼くず（+0.9%）
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲5.7%）、金（マネタリーゴールドを除く）（▲3.1%）
- 輸入品目（輸入額多い順）石油ガス類、音響・映像機器（除家具）、合板・ウッドパネル
〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+1.9%）、植物性原材料（+0.4%）
〈寄与度↓〉石油ガス類（▲15.3%）、合板・ウッドパネル（▲1.9%）

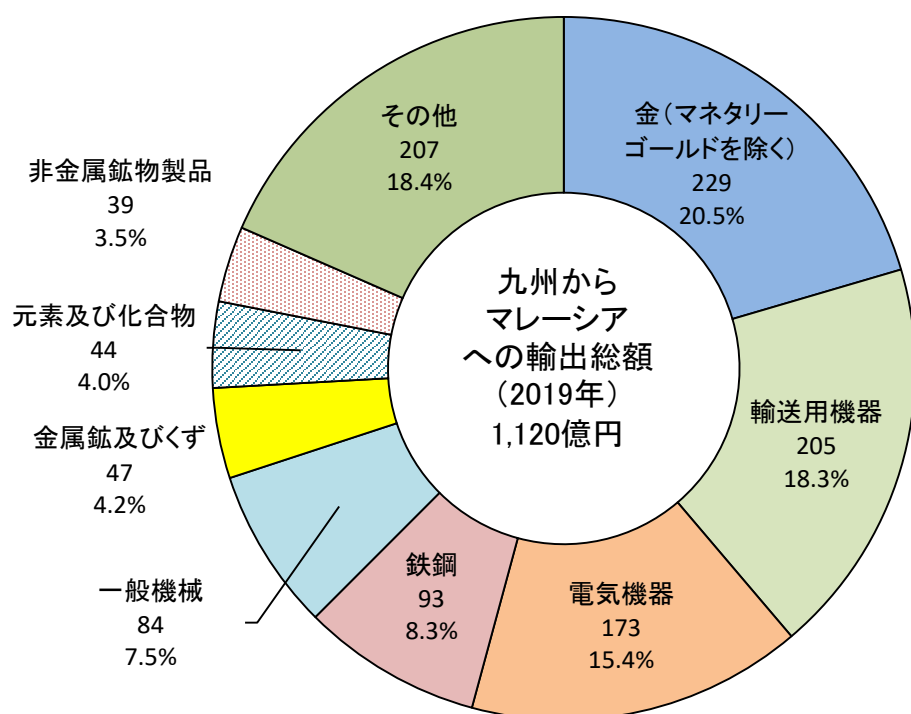


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-8-3 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	229	20.5%	▲6.7%	78.1%
自動車	輸送用機器	140	12.5%	▲20.4%	10.9%
半導体等電子部品	電気機器	138	12.3%	208.1%	13.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	91	8.1%	8.3%	15.5%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	38	3.4%	386.9%	12.8%
船舶類	輸送用機器	34	3.0%	▲20.1%	5.1%
石油製品	石油及び同製品	29	2.6%	23.7%	27.3%
無機化合物	元素及び化合物	28	2.5%	3.0%	24.0%
自動車の部分品	輸送用機器	28	2.5%	▲6.1%	17.5%
原動機	一般機械	25	2.2%	▲0.9%	8.0%
その他		340	30.3%	—	—
総 額		1,120	100.0%	▲14.1%	7.7%

寄与度(増加分)：船舶類(+2.6%)、鉄鋼くず(+0.9%)等

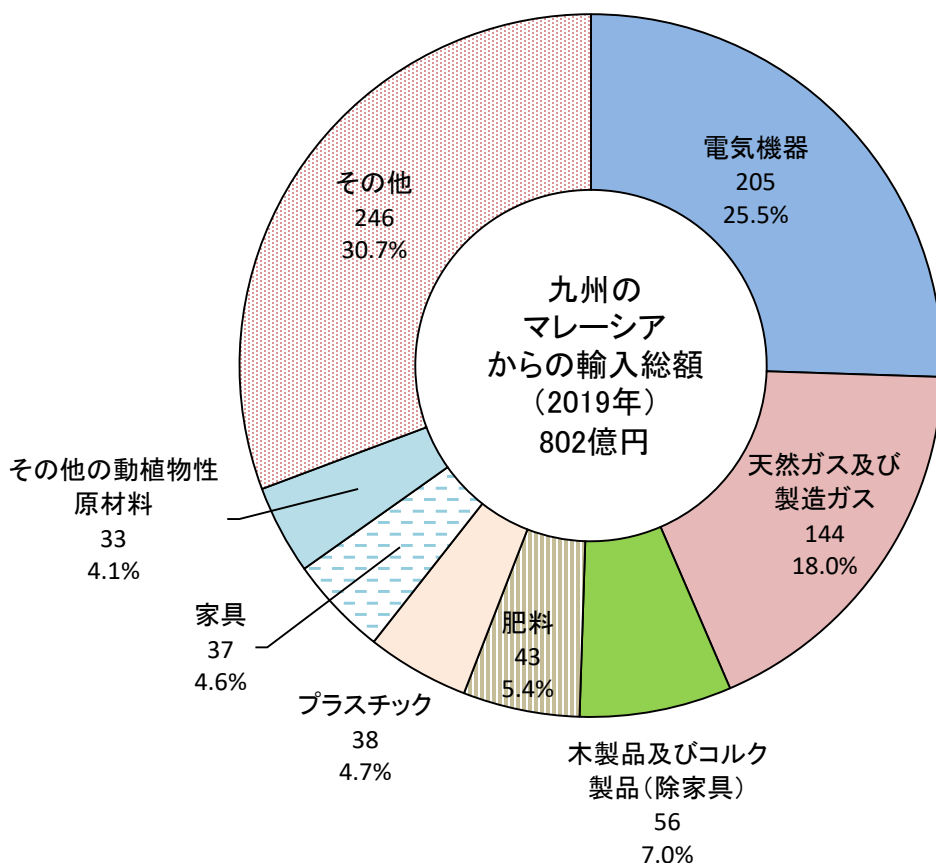
寄与度(減少分)：半導体等電子部品(▲5.7%)、金(マネタリーゴールドを除く)(▲3.1%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-8-4 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	144	18.0%	▲6.8%	4.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	81	10.1%	11.7%	9.3%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	47	5.8%	37.8%	6.4%
半導体等電子部品	電気機器	36	4.4%	36.5%	3.3%
通信機	電気機器	34	4.3%	▲4.7%	5.4%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	33	4.1%	▲7.7%	9.0%
科学光学機器	精密機器類	26	3.2%	20.3%	22.1%
合金鉄	鉄鋼	22	2.7%	124.7%	11.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	20	2.5%	111.4%	10.5%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	17	2.1%	▲16.8%	30.7%
その他		343	42.7%	—	—
総 額		802	100.0%	▲19.7%	4.2%

寄与度(増加分)：音響・映像機器(含部品)(+1.9%)、植物性原材料(+0.4%)等

寄与度(減少分)：石油ガス類(▲15.3%)、合板・ウッドパネル(▲1.9%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

9. 九州とフィリピンの貿易

9-1 フィリピンの経済概況

面積	29万9,404km ² （日本の約8割）。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人（2015年フィリピン国勢調査）
首都	マニラ（首都圏人口約1,288万人）（2015年フィリピン国勢調査）
民族	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%（ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上）。
政体	立憲共和制
主要産業	農林水産業（全就業人口の22%が従事）（2019年1月） 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）産業を含めたサービス業が大きく成長（全就業人口の約58%が従事）（2019年1月）

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-9-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比（%）	6.1	6.9	6.7	6.2	5.9
名目GDP総額	10億ドル	293	305	314	331	360 *
一人当たりGDP（名目）	ドル	2,863	2,924	2,976	3,104	3,294 *
輸出額	億ドル	588	574	687	693	703
	前年比（%）	▲ 5.3	▲ 2.4	19.7	0.9	1.5
輸入額	億ドル	711	841	961	1,128	1,074
	前年比（%）	8.7	18.3	14.2	17.4	▲ 4.8
貿易収支	億ドル	▲ 122	▲ 267	▲ 274	▲ 435	▲ 370
対日貿易収支	億ドル	53	21	▲ 3	▲ 5	5 *
製造業生産指数	前年比（%）	▲ 4.4	6.6	▲ 1.4	8.2	▲ 7.0
失業率	（%）	6.3	5.5	5.7	5.3	5.1
消費者物価指数	前年比（%）	0.7	1.3	2.9	5.2	2.5
直接投資受入額	億ドル	54	46	21	34	76 *
為替レート（1ドル）	ペソ	45.50	47.49	50.40	52.66	51.80
為替レート（1ペソ）	円	2.66	2.29	2.23	2.10	2.11

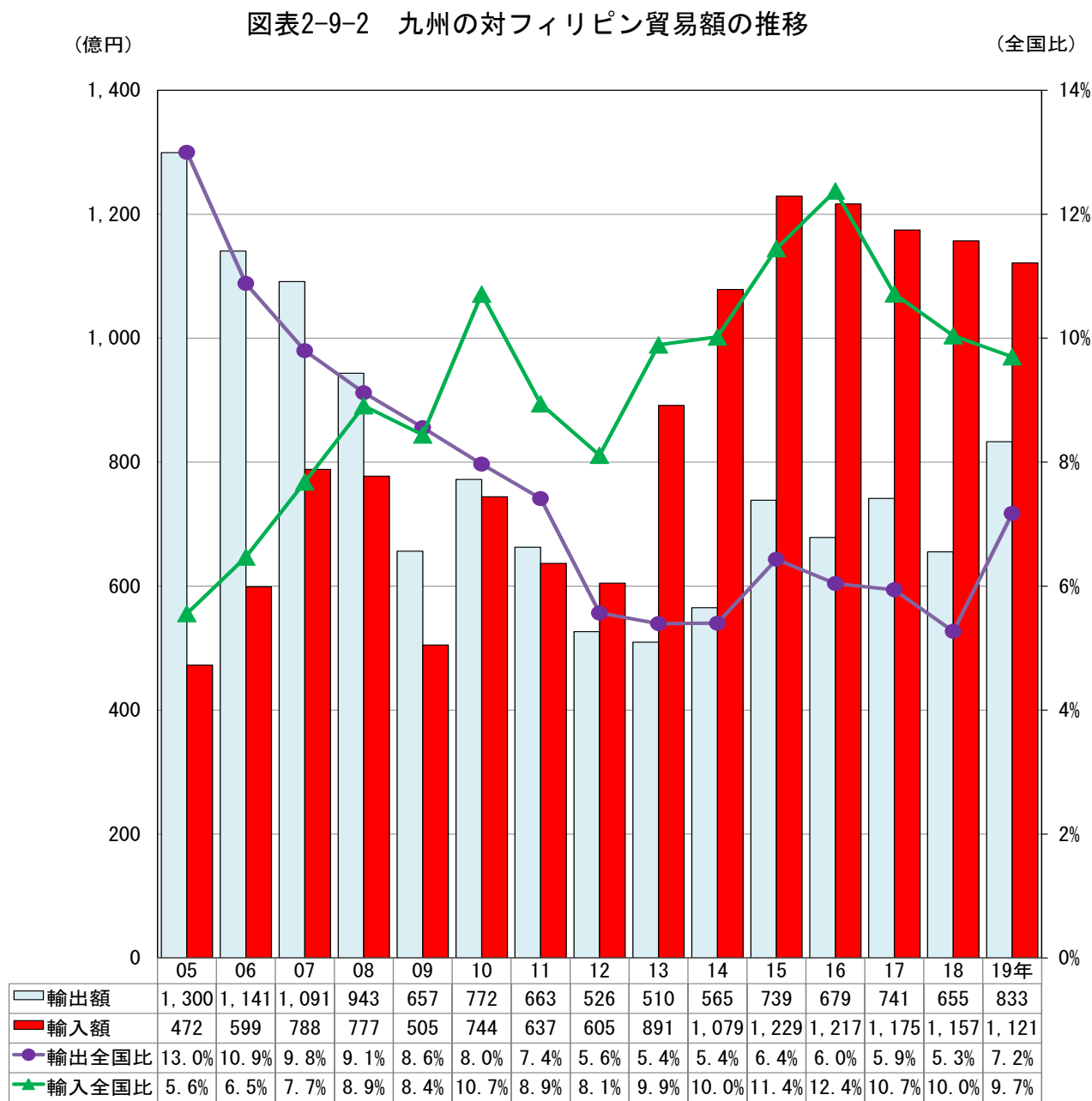
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェットロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

9-2 フィリピンとの貿易動向

●2019年の九州の対フィリピン貿易額
輸出総額： 833億円（対前年+27.1%） → 2年ぶりのプラス
輸入総額： 1,121億円（対前年▲3.1%） → 4年連続のマイナス
差引額： ▲288億円（対前年▲42.5%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品
〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+18.8%）、船舶類（+12.0%）
〈寄与度↓〉建設用・鉱山用機械（▲2.0%）、織物用糸（▲1.7%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実
〈寄与度↑〉通信機（+3.2%）、半導体等電子部品（+0.3%）
〈寄与度↓〉非鉄金属鉱（▲2.8%）、自動車の部分品（▲1.9%）

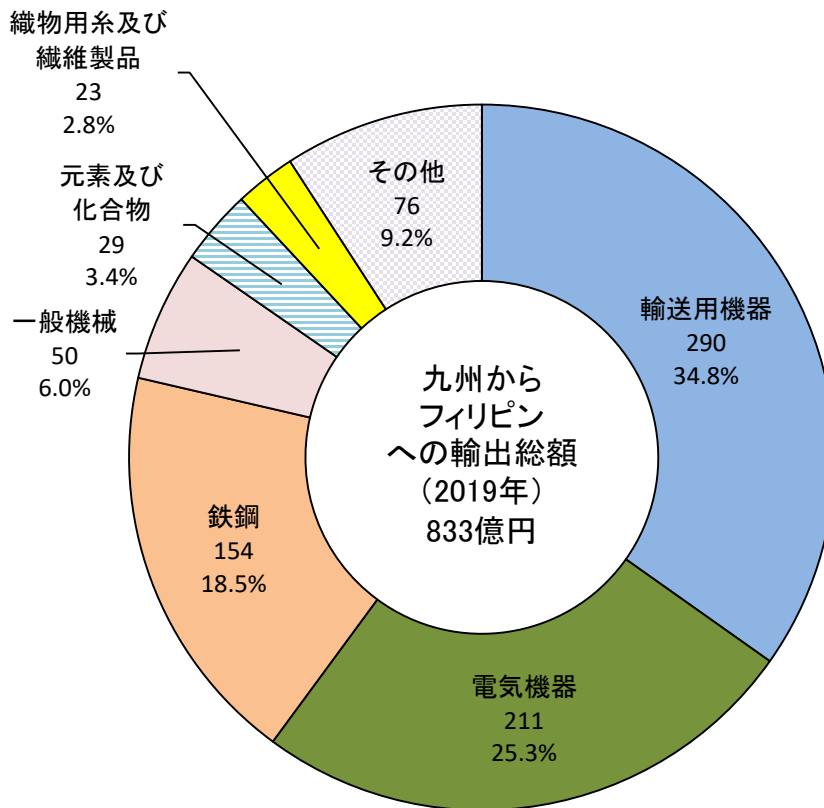


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

図表2-9-3 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	180	21.6%	20.6%	12.0%
半導体等電子部品	電気機器	170	20.4%	266.1%	18.5%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	148	17.7%	▲4.5%	34.0%
船舶類	輸送用機器	100	12.0%	371.7%	60.7%
有機化合物	元素及び化合物	23	2.8%	▲17.2%	12.0%
荷役機械	一般機械	22	2.6%	57.4%	15.2%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	19	2.3%	▲36.6%	78.1%
セメント	非金属鉱物製品	15	1.8%	3.0%	62.2%
重電機器	電気機器	9	1.1%	47.8%	5.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	9	1.1%	▲58.7%	4.6%
その他		139	16.7%	—	—
総 額		833	100.0%	27.1%	7.2%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+18.8%）、船舶類（+12.0%）等

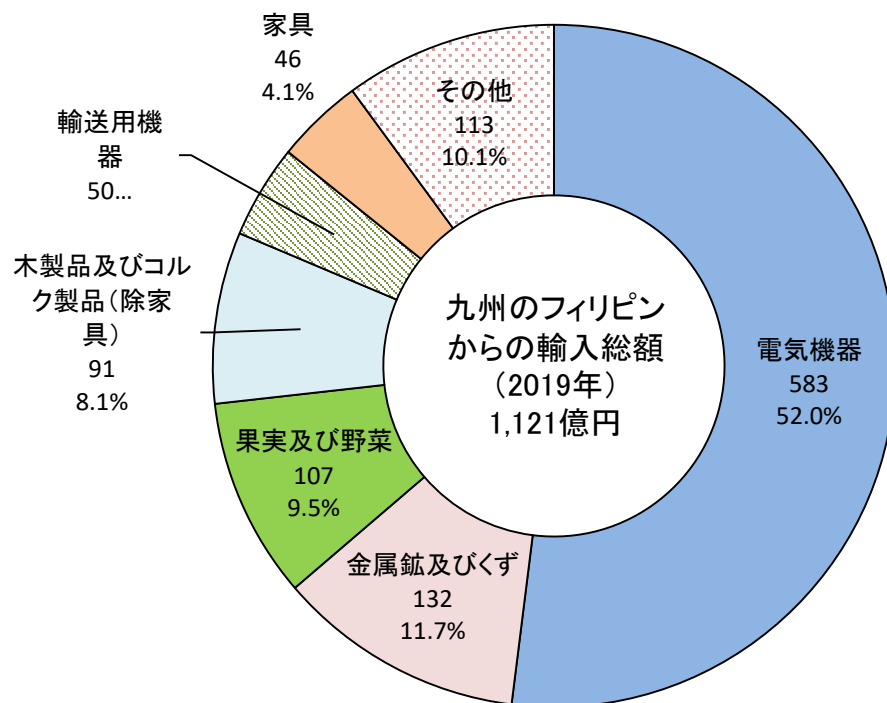
寄与度（減少分）：建設用・鉱山用機械（▲2.0%）、織物用糸（▲1.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-9-4 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	365	32.5%	▲0.4%	26.4%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	108	9.7%	▲22.9%	10.1%
果実	果実及び野菜	107	9.5%	▲1.9%	10.3%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品(除家具)	89	7.9%	▲0.5%	8.6%
通信機	電気機器	66	5.9%	125.4%	13.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	49	4.4%	▲28.5%	14.7%
自動車の部分品	輸送用機器	43	3.8%	▲34.3%	21.0%
半導体等電子部品	電気機器	41	3.7%	9.7%	5.3%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	33	3.0%	▲10.5%	22.4%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	21	1.9%	▲19.8%	21.7%
その他		200	17.8%	—	—
総 額		1,121	100.0%	▲3.1%	9.7%

寄与度（増加分）：通信機（+3.2%）、半導体等電子部品（+0.3%）等

寄与度（減少分）：非鉄金属鉱（▲2.8%）、自動車の部分品（▲1.9%）等

10. 九州とインドネシアの貿易

10-1 インドネシアの経済概況

面 積	約192万km ² (日本の約5倍)
人 口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首 都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
民 族	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言 語	インドネシア語
宗 教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、 ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2016年、宗教省統計)
政 体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.9%): 輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(12.8%): パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(15.8%) 鉱業(8.1%): LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.5%)、運輸・通信(9.1%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2018年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-10-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.9	5.0	5.1	5.2	5.0
名目GDP総額	10億ドル	861	932	1,015	1,022	- *
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,371	3,604	3,876	3,871	- *
輸出額	億ドル	1,504	1,452	1,688	1,800	1,675
	前年比(%)	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3	6.6	▲ 7.0
輸入額	億ドル	1,427	1,357	1,570	1,887	1,707
	前年比(%)	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7	20.2	▲ 9.5
貿易収支	億ドル	77	95	118	▲ 87	▲ 32
対日貿易収支	億ドル	48	31	25	15	3 *
製造業生産指数	前年比(%)	4.8	4.0	4.3	4.4	0.4
失業率	(%)	6.2	5.6	5.5	5.3	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	3.5	3.8	3.2	3.0
直接投資受入額	億ドル	293	290	322	293	- *
為替レート(1ドル)	ルピア	13,389.41	13,308.33	13,380.83	14,236.94	14,147.67
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.008	0.008	0.008	0.008

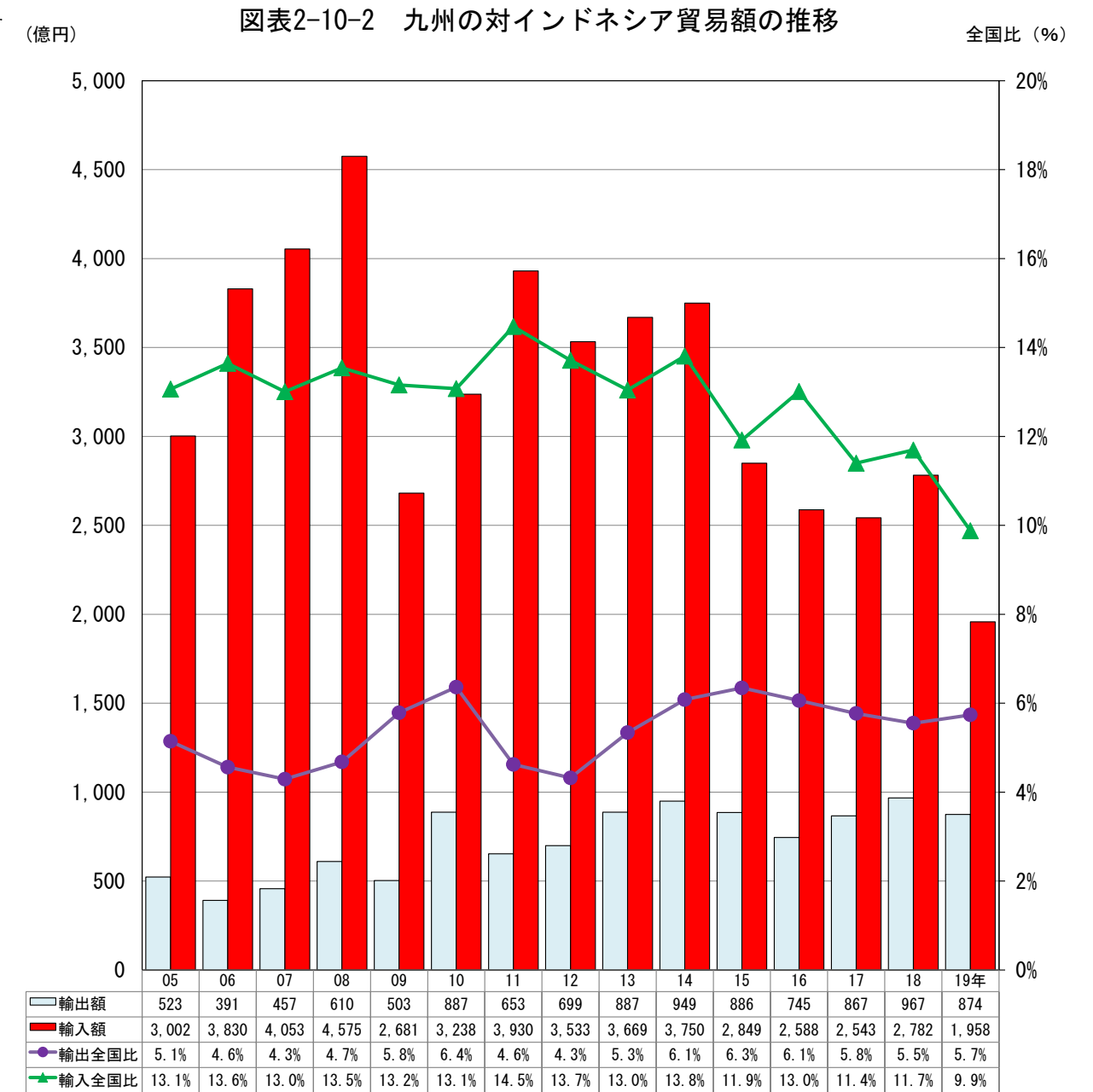
出所：出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)

*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)

10-2 インドネシアとの貿易動向

- 2019年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額：874億円（対前年▲9.6%）→3年ぶりのマイナス
輸入総額：1,958億円（対前年▲29.6%）→2年ぶりのマイナス
差引額：▲1,083億円（対前年▲24.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、荷役機械
<寄与度↑> 荷役機械（+8.3%）、船舶類（+2.8%）
<寄与度↓> 原動機（▲14.5%）、有機化合物（▲2.6%）
- 輸入品目（輸入額多い順）石炭、天然ゴム、石油ガス類
<寄与度↑> 天然ゴム（+0.6%）、魚介類（+0.3%）
<寄与度↓> 非鉄金属鉱（▲17.0%）、石炭（▲7.7%）

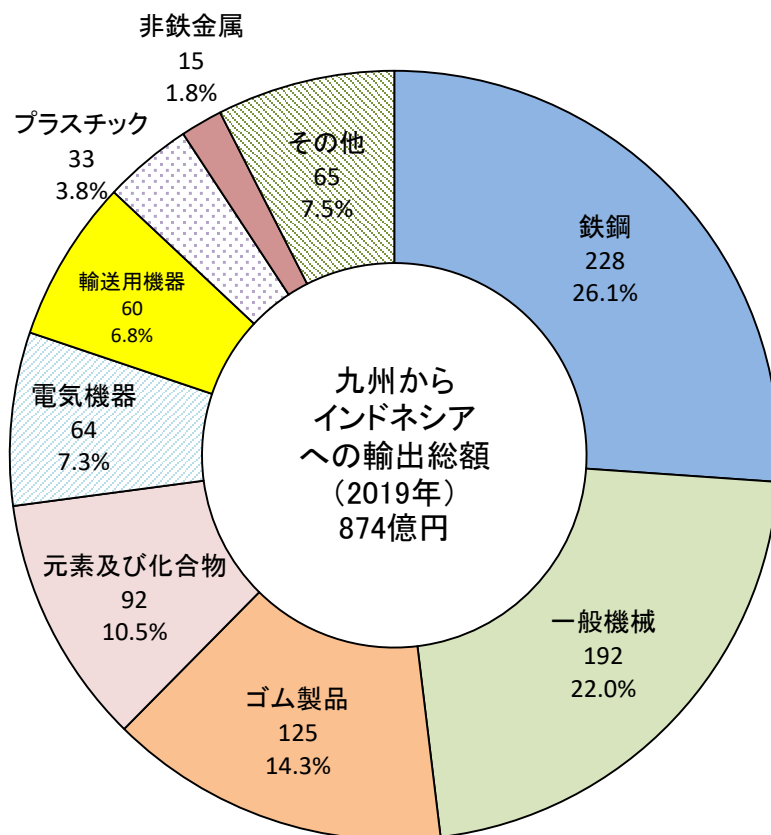


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-10-3 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	163	18.6%	▲10.1%	13.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	123	14.1%	8.8%	49.3%
荷役機械	一般機械	85	9.7%	1662.7%	18.1%
原動機	一般機械	65	7.5%	▲68.1%	4.5%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	63	7.2%	4.3%	18.2%
有機化合物	元素及び化合物	53	6.1%	▲31.8%	18.8%
無機化合物	元素及び化合物	38	4.4%	▲0.8%	17.0%
半導体等電子部品	電気機器	29	3.3%	0.8%	11.8%
船舶類	輸送用機器	28	3.2%	2675.7%	67.4%
自動車	輸送用機器	27	3.1%	216.3%	3.3%
その他		201	22.9%	—	—
総 額		874	100.0%	▲9.6%	5.7%

寄与度（増加分）：荷役機械（＋8.3%）、船舶類（＋2.8%）等

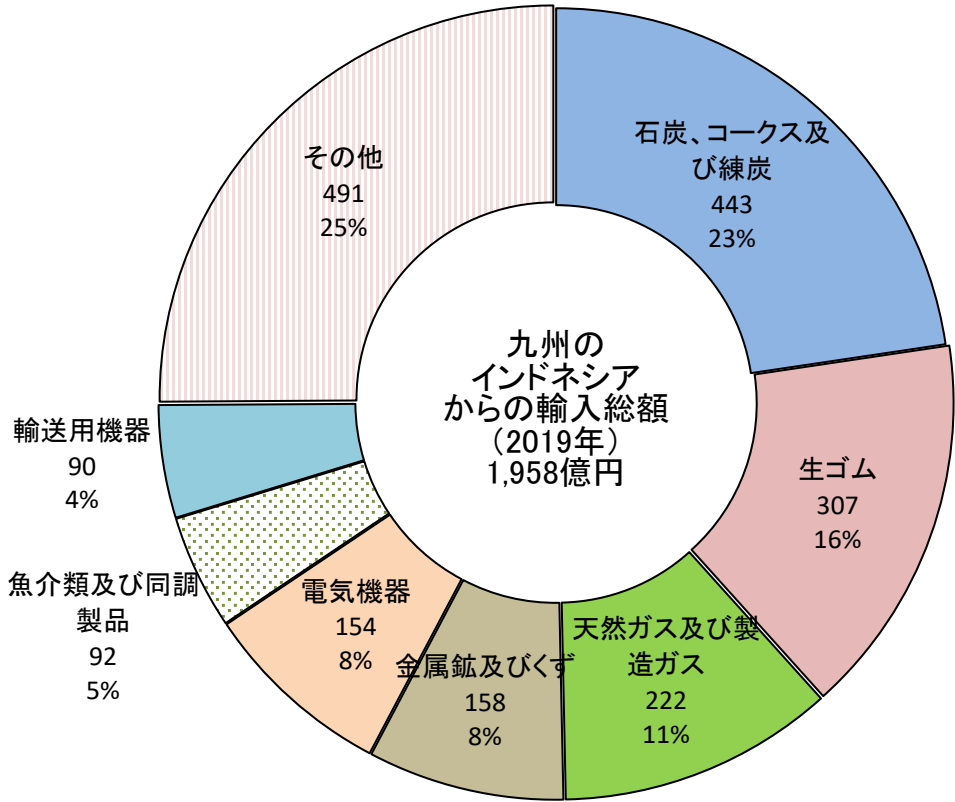
寄与度（減少分）：原動機（▲14.5%）、有機化合物（▲2.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-10-4 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	443	22.6%	▲32.6%	14.7%
天然ゴム	生ゴム	307	15.7%	6.1%	38.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	222	11.3%	▲5.9%	9.1%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	139	7.1%	▲77.3%	12.8%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	106	5.4%	▲1.8%	10.0%
自動車の部分品	輸送用機器	85	4.3%	2.5%	26.4%
魚介類	魚介類及び同調製品	65	3.3%	14.0%	13.6%
植物性油かす	飼料	60	3.1%	9.5%	42.2%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	47	2.4%	▲13.8%	7.7%
紙及び板紙	紙類及び同製品	41	2.1%	3.7%	11.4%
その他		442	22.6%	—	—
総 額		1,958	100.0%	▲29.6%	9.9%

寄与度（増加分）：天然ゴム（+0.6%）、魚介類（+0.3%）等
寄与度（減少分）：非鉄金属鉱（▲17.0%）、石炭（▲7.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

1 1. 九州とミャンマーの貿易

11-1 ミャンマーの経済概況

面 積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人 口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首 都	ネーピードー
民 族	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言 語	ミャンマー語
宗 教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政 体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-11-1 ミャンマーのマクロ経済

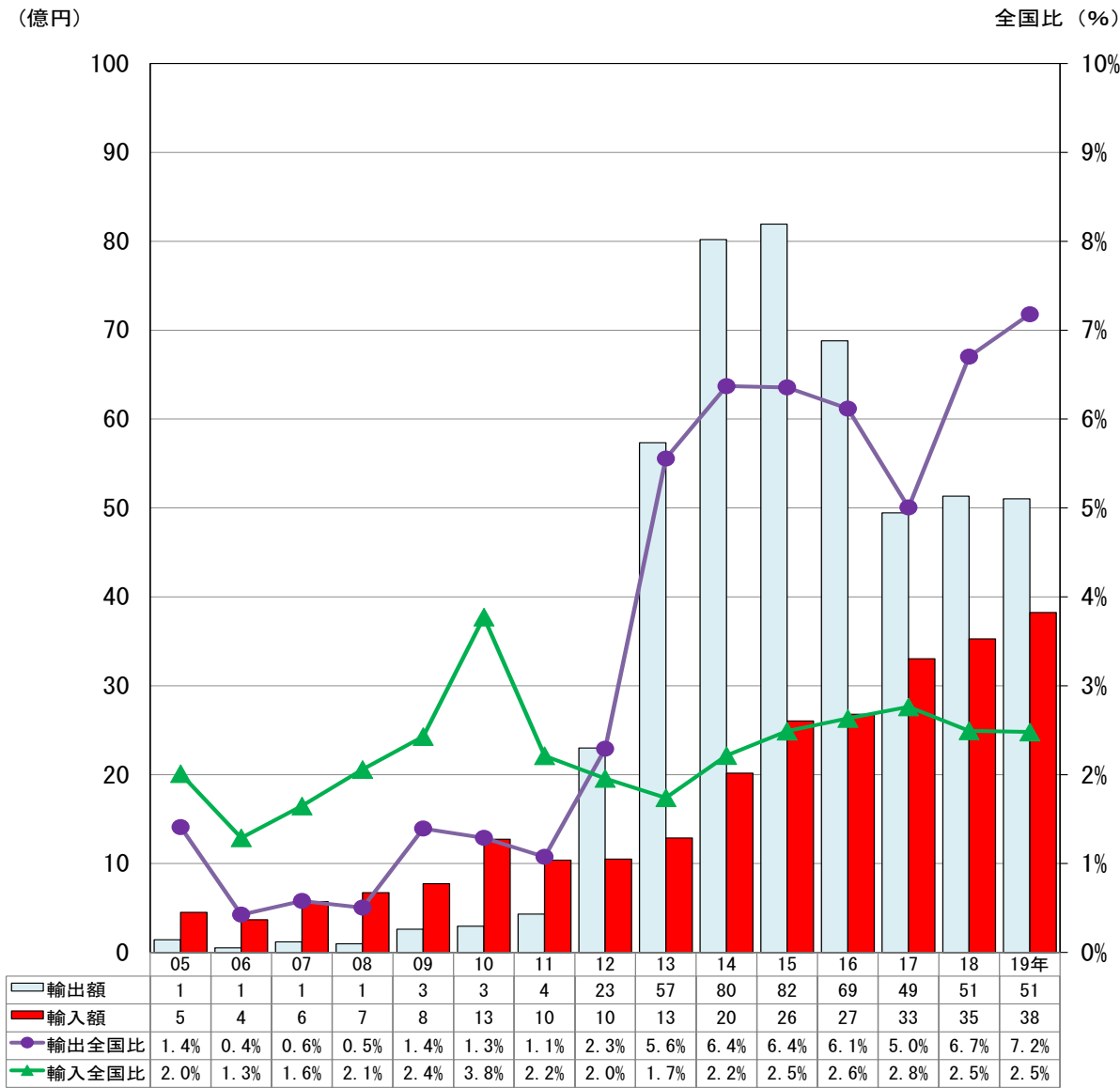
	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.5	5.2	6.3	6.7	—
名目GDP総額	10億ドル	63.2	60.5	61.4	68.6	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,219	1,157	1,166	1,298	—
輸出額	億ドル	114.4	118.4	138.9	167.8	—
	前年比(%)	0.2	3.5	17.4	20.8	—
輸入額	億ドル	169.9	157.2	192.5	194.4	—
	前年比(%)	4.0	▲ 7.5	22.5	1.0	—
貿易収支	億ドル	▲ 55.6	▲ 38.8	▲ 53.6	▲ 26.6	—
対日貿易収支	億ドル	▲ 11.0	▲ 5.9	▲ 1.5	6.9	—
消費者物価上昇率	(%)	9.5	7.0	4.6	6.9	—
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	—
直接投資受入額	億ドル	40.84	32.78	40.02	—	—
為替レート(1ドル)	チャット	1162.62	1234.87	1360.36	1429.81	—

出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成
 ※2019年データは2020年8月時点で未公表

11-2 ミャンマーとの貿易動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2019年の九州の対ミャンマー貿易額
輸出総額： 51億円（対前年▲0.6%） → 2年ぶりのマイナス
輸入総額： 38億円（対前年+8.4%） → 7年連続のプラス
差引額： 13億円（対前年▲20.3%）
- 輸出品目（輸出額多い順）軌条及びその他の鉄道線路建設材、自動車、
鉄鋼のフラットロール製品
〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）、建設用・鉱山用機械（+0.7%）
〈寄与度↓〉荷役機械（▲44.1%）、自動車（▲7.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜
〈寄与度↑〉メリヤス編み及びクロセ編み衣類（+2.2%）、
魚介類の粉、ミール及びペレット（+2.1%）
〈寄与度↓〉衣類（▲1.0%）、魚介類（▲0.3%）

図表2-11-2 九州の対ミャンマー貿易額の推移

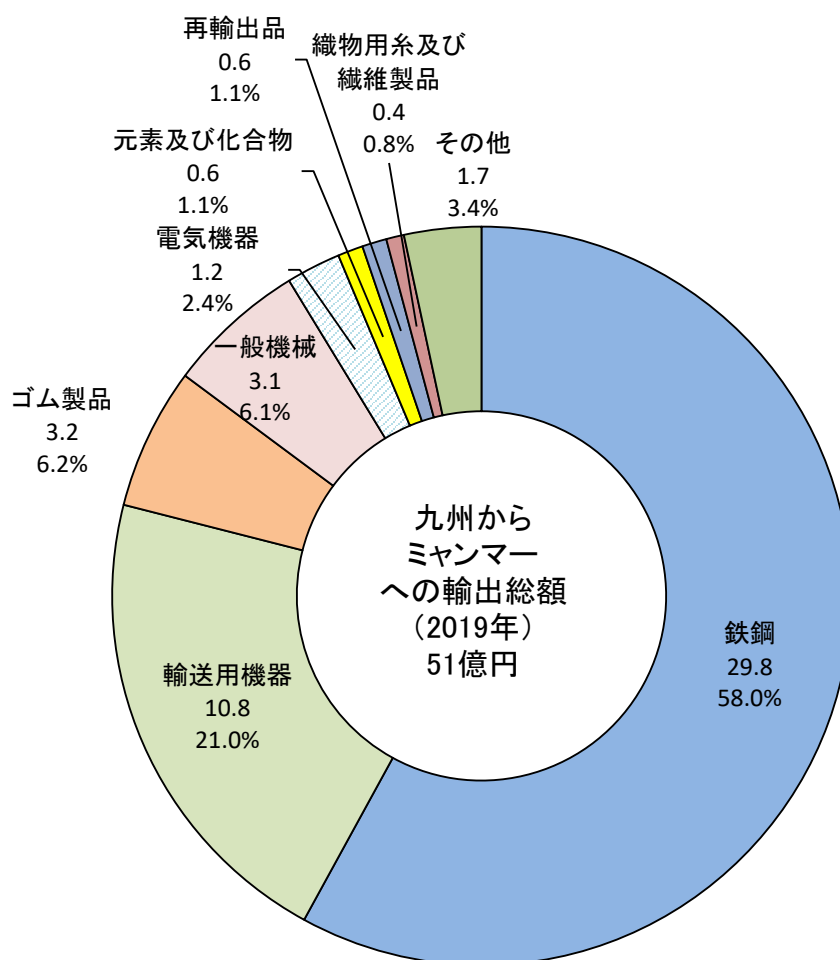


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-11-3 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	20	39.2%	—	49.9%
自動車	輸送用機器	10	19.3%	▲29.0%	6.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	10	19.0%	75.5%	48.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	3.1	6.0%	▲10.1%	43.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	1.2	2.4%	44.6%	6.8%
二輪自動車類	輸送用機器	0.8	1.5%	25.8%	7.6%
電気計測機器	電気機器	0.6	1.1%	—	6.5%
有機化合物	元素及び化合物	0.5	0.9%	24.9%	33.1%
映像機器	電気機器	0.4	0.9%	2.1%	6.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	0.4	0.8%	516.6%	5.2%
その他		5	8.9%	—	—
総 額		51	100.0%	-0.6%	7.2%

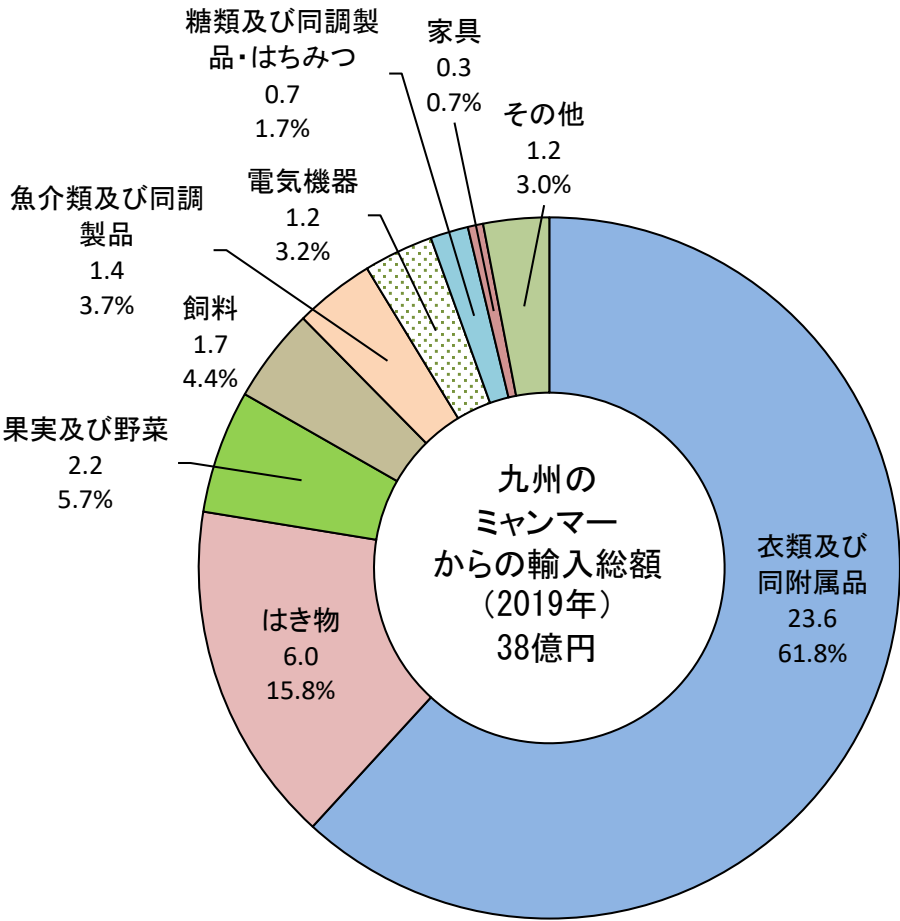
寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）、建設用・鉱山用機械（+0.7%）等
 寄与度（減少分）：荷役機械（▲44.1%）、自動車（▲7.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-11-4 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	19.2	50.2%	-1.8%	2.2%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	4.4	11.6%	21.1%	1.7%
野菜	果実及び野菜	2.2	5.7%	-3.5%	7.4%
魚介類の粉、ミール及びペレット	飼料	1.7	4.4%	81.1%	100.0%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.1	3.0%	-9.2%	1.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	1.0	2.7%	—	4.3%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	0.3	0.7%	4.8%	7.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	0.2	0.6%	215.2%	73.6%
重電機器	電気機器	0.2	0.5%	—	2.7%
木材	木材及びコルク	0.2	0.5%	95.0%	6.1%
その他		7.7	20.1%	—	—
総額		38.2	100.0%	8.4%	2.5%

寄与度（増加分）：メリヤス編み及びクロセ編み衣類（+2.2%）、
魚介類の粉、ミール及びペレット（+2.1%）等

寄与度（減少分）：衣類（▲1.0%）、魚介類（▲0.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

12. 九州とインドの貿易

12-1 インドの経済概況

面 積	328万7,469km ² (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人 口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首 都	ニューデリー
民 族	インド・アーリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言 語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗 教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政 体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-12-1 インドのマクロ経済

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
実質GDP成長率	前年比(%)	8.0	8.2	7.2	6.8	5.0 *
名目GDP総額	10億ドル	2,104	2,290	2,652	2,719	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,640	1,762	2,014	2,038	—
輸出額	億ドル	2,623	2,759	3,035	3,296	3,249 *
	前年比(%)	▲ 15.5	5.2	10.0	8.6	▲ 1.4 *
輸入額	億ドル	3,810	3,844	4,647	5,131	4,837 *
	前年比(%)	▲ 15.0	0.9	20.9	10.4	▲ 5.7 *
貿易収支	億ドル	▲ 1,187	▲ 1,085	▲ 1,621	▲ 1,836	— *
対日貿易収支	億ドル	▲ 52	▲ 59	▲ 62	▲ 79	▲ 79 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.3	4.6	4.4	3.8	—
失業率	(%)	2.8	2.7	2.6	2.6	— *
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	4.9	4.5	3.6	3.4	—
直接投資受入額	億ドル	449	422	394	433	— *
為替レート(1ドル)	ルピー	64.15	67.20	65.12	68.39	70.42
為替レート(1ルピー)	円	1.89	1.62	1.72	1.62	1.55

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

12-2 インドとの貿易動向

●2019年の九州の対インド貿易額

輸出総額：1,323億円（対前年+20.2%） → 3年連続のプラス
輸入総額：447億円（対前年+21.3%） → 2年ぶりのプラス
差引額：876億円（対前年+19.6%）

●輸出品目（輸出額多い順）銅及び同合金、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品

〈寄与度↑〉銅及び同合金（+15.1%）、石油製品（+2.8%）

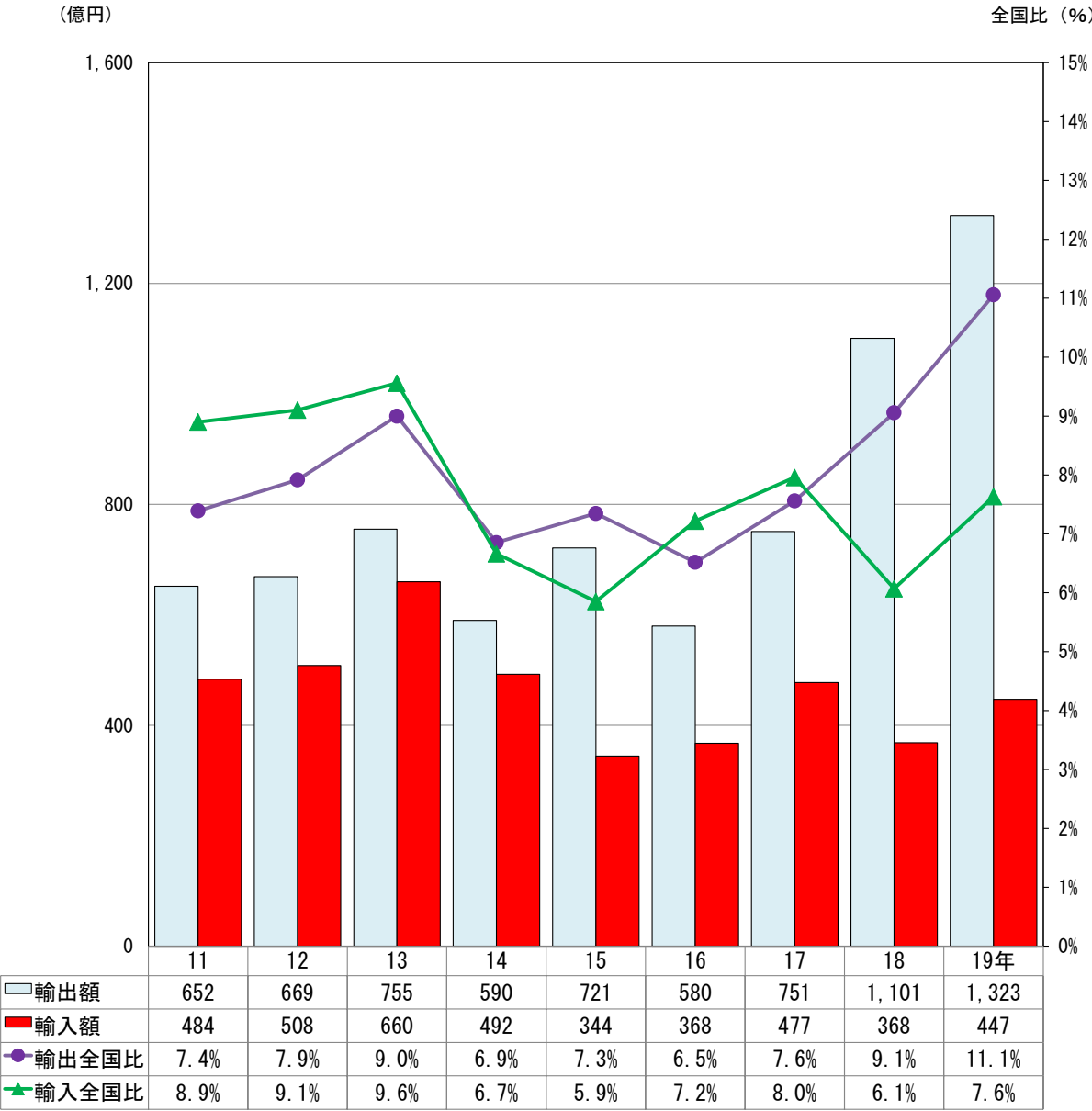
〈寄与度↓〉コークス（▲2.2%）、原動機（▲2.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）石油製品、有機化合物、魚介類

〈寄与度↑〉石油製品（+11.6%）、有機化合物（+4.8%）

〈寄与度↓〉原動機（▲1.6%）、植物性油かす（▲1.6%）

図表2-12-2 九州の対インド貿易額の推移

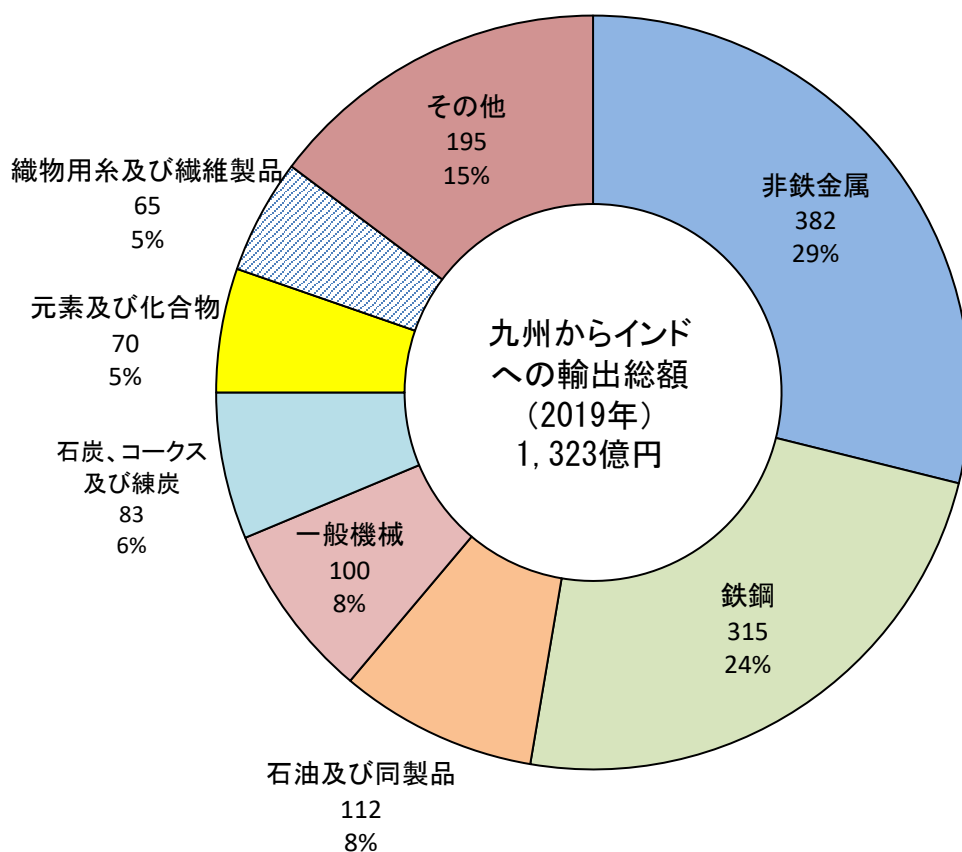


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-12-3 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
銅及び同合金	非鉄金属	376	28.4%	79.0%	45.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	246	18.6%	9.3%	27.6%
石油製品	石油及び同製品	112	8.5%	37.6%	49.6%
コークス	石炭、コークス及び練炭	83	6.3%	▲22.5%	69.7%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	63	4.8%	2.6%	71.5%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	62	4.7%	12.4%	85.3%
有機化合物	元素及び化合物	58	4.4%	57.1%	13.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	33	2.5%	16.6%	66.6%
金属加工機械	一般機械	24	1.8%	▲16.7%	3.1%
原動機	一般機械	23	1.7%	▲50.5%	5.6%
その他		244	18.4%	-	-
総 額		1,323	100.0%	20.2%	11.1%

寄与度（増加分）：銅及び同合金（+15.1%）、石油製品（+2.8%）等

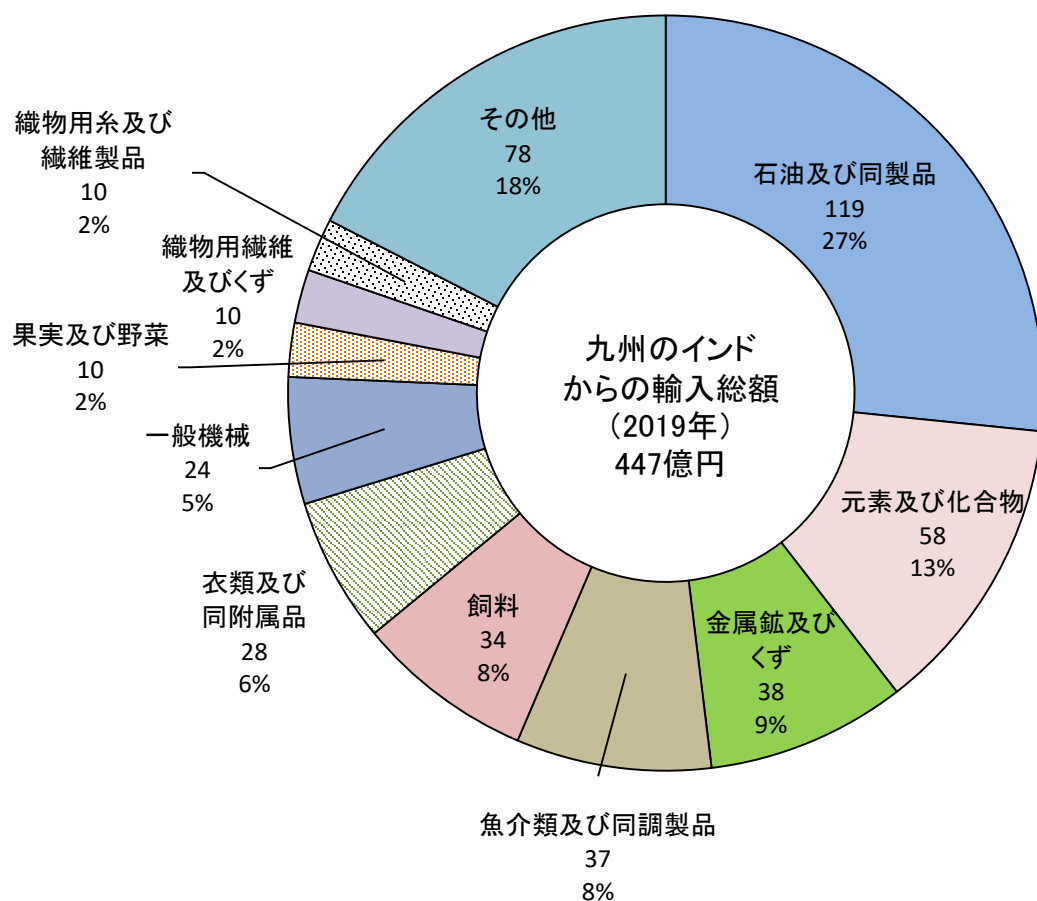
寄与度（減少分）：コークス（▲2.2%）、原動機（▲2.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-12-4 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油製品	石油及び同製品	119	26.6%	55.9%	20.5%
有機化合物	元素及び化合物	45	10.0%	65.0%	5.7%
魚介類	魚介類及び同調製品	37	8.2%	18.5%	7.8%
植物性油かす	飼料	28	6.2%	▲17.6%	44.8%
衣類	衣類及び同附属品	26	5.9%	16.3%	11.2%
非鉄金属鉱	非鉄金属	20	4.5%	113.3%	21.3%
鉄鉱石	果実及び野菜	18	3.9%	—	8.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	14	3.1%	583.8%	39.1%
無機化合物	元素及び化合物	13	2.9%	56.2%	33.7%
果実	果実及び野菜	10	2.3%	▲21.6%	11.3%
その他		118	26.4%	—	—
総 額		447	100.0%	21.3%	7.6%

寄与度（増加分）：石油製品（+11.6%）、有機化合物（+4.8%）等

寄与度（減少分）：原動機（▲1.6%）、植物性油かす（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

13. 九州と米国の貿易

13-1 米国の経済概況

面 積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万平方マイル)
人 口	3億2,775万人(2018年5月 米国国勢局)
首 都	ワシントンD.C.
言 語	主として英語(法律上の定めはない)
宗 教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政 体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-13-1 米国のマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.9	1.6	2.4	2.9	2.3
名目GDP総額	10億ドル	18,225	18,715	19,519	20,580	21,427
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,790	57,908	60,019	62,946	65,223*
輸出額	億ドル	22,667	22,158	23,525	25,013	24,980
	前年比(%)	▲ 4.6	▲ 2.2	6.2	6.3	▲ 0.1
輸入額	億ドル	27,652	27,188	29,027	31,290	31,145
	前年比(%)	▲ 3.5	▲ 1.7	6.8	7.8	▲ 0.5
貿易収支	億ドル	▲ 4,985	▲ 5,030	▲ 5,501	▲ 6,277	▲ 6,164
対日貿易収支	億ドル	▲ 691	▲ 688	▲ 688	▲ 672	▲ 690*
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 1.0	▲ 2.0	2.3	3.9	0.9
失業率	(%)	5.3	4.9	4.4	3.9	3.7
消費者物価	前年比(%)	0.1	1.3	2.1	2.4	1.8
直接投資受入額	億ドル	4,676	4,718	2,773	2,536	2,462*
為替レート(1ドル)	円	121.04	108.79	112.17	110.42	109.01

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

13-2 米国との貿易動向

●2019年の九州の対米国貿易額

輸出総額：9,369億円（対前年▲0.4%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：4,052億円（対前年▲9.5%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：5,317億円（対前年+7.9%）

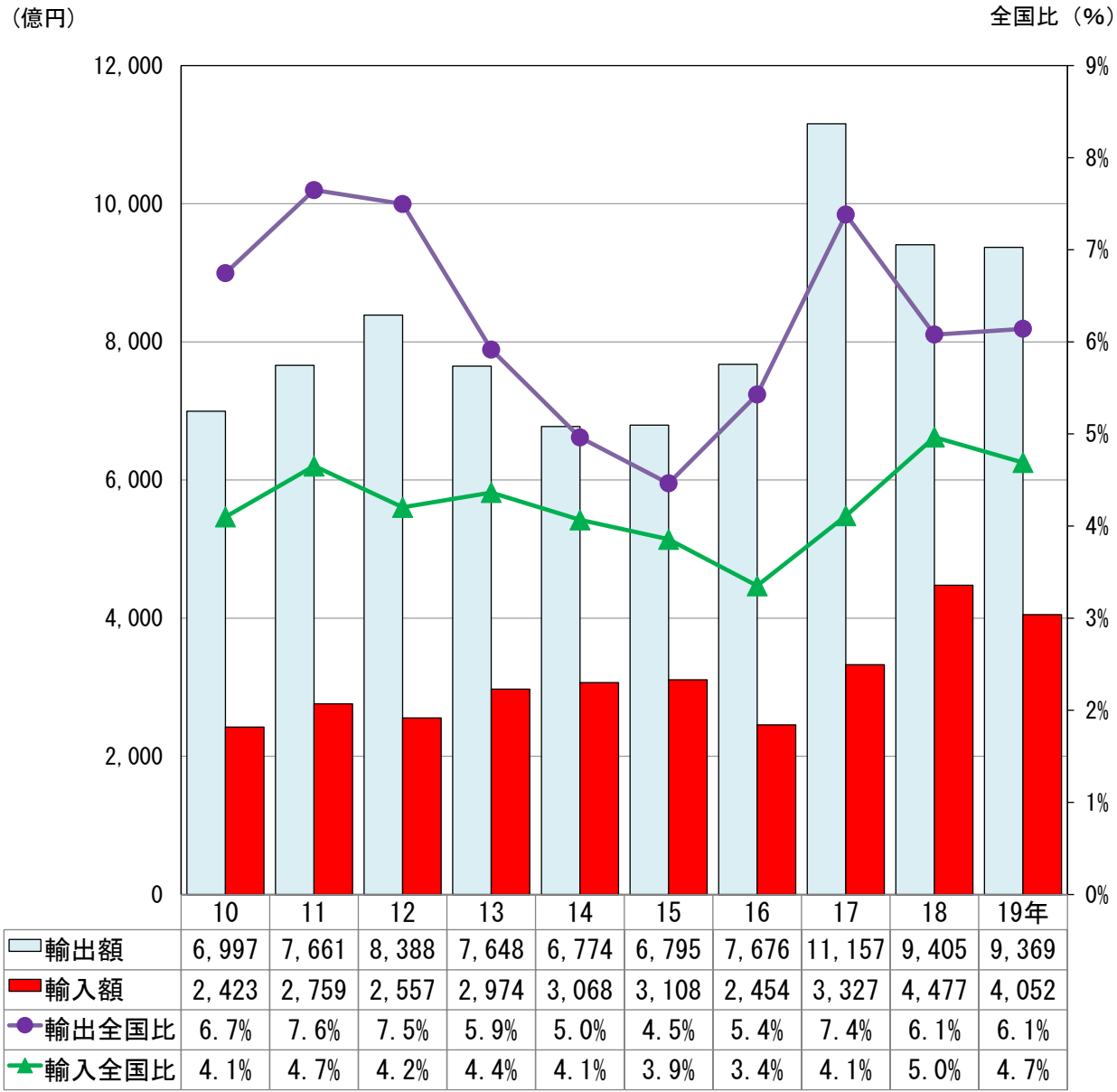
●輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉自動車（+2.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（+1.1%）
〈寄与度↓〉二輪自動車類（▲2.7%）、映像機器（▲0.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）石油ガス類、とうもろこし、原油及び粗油

〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+4.4%）、鉄鉱石（+1.8%）
〈寄与度↓〉とうもろこし（▲5.5%）、原油及び粗油（▲5.1%）

図表2-13-2 九州の対米国貿易額の推移

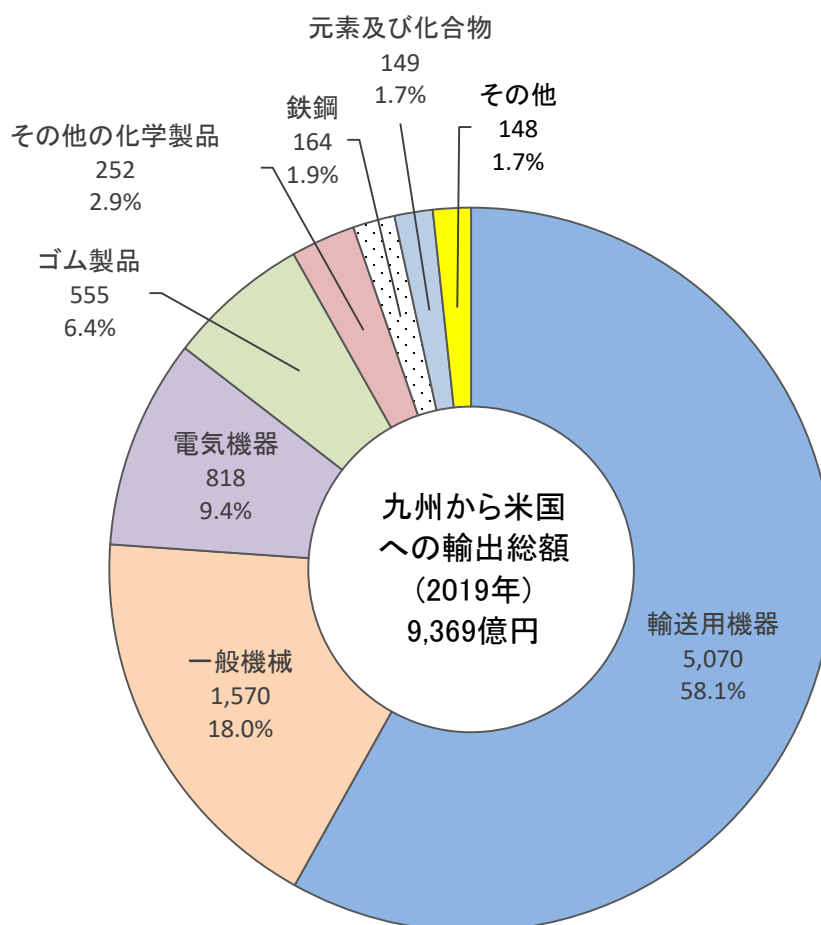


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-13-3 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,761	50.8%	5.6%	11.1%
事務用機器	一般機械	636	6.8%	11.6%	16.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	515	5.5%	25.1%	38.3%
原動機	一般機械	393	4.2%	▲2.5%	4.4%
映像機器	電気機器	278	3.0%	▲23.0%	19.6%
自動車の部分品	輸送用機器	172	1.8%	▲15.0%	2.1%
半導体等電子部品	電気機器	171	1.8%	▲31.7%	8.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	161	1.7%	18.9%	3.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	146	1.6%	12.3%	63.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	126	1.3%	▲9.9%	7.1%
その他		2,011	21.5%	—	—
総 額		9,369	100%	▲0.4%	6.1%

寄与度（増加分）：自動車（＋2.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（＋1.1%）等

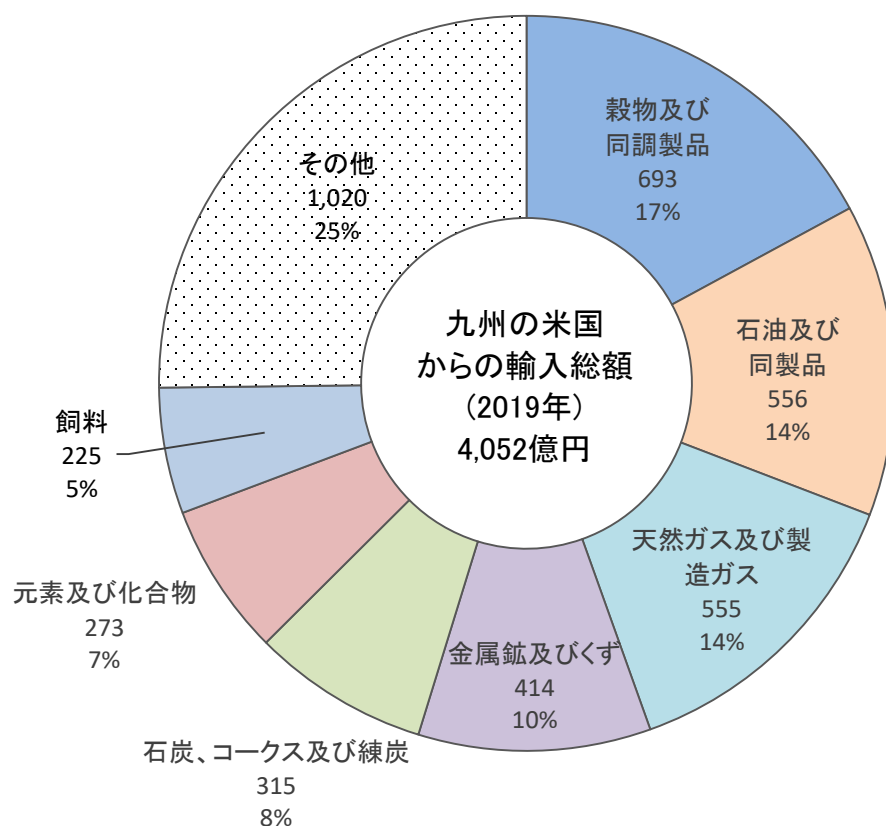
寄与度（減少分）：二輪自動車類（▲2.7%）、映像機器（▲0.9%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-13-4 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



概況品名	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	555	13.7%	▲0.8%	9.6%
とうもろこし	穀物及び同調製品	531	13.1%	▲31.7%	19.9%
原油及び粗油	石油及び同製品	400	9.9%	▲36.4%	22.5%
石炭	石炭、コークス及び練炭	315	7.8%	▲14.8%	14.6%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	218	5.4%	768.4%	27.4%
石油製品	石油及び同製品	156	3.8%	1.8%	11.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	154	3.8%	13.9%	12.0%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	142	3.5%	▲37.9%	6.1%
有機化合物	元素及び化合物	139	3.4%	▲5.7%	11.2%
無機化合物	元素及び化合物	133	3.3%	▲39.7%	0.8%
その他		1,308	32.3%	—	—
総 額		4,052	100%	▲9.5%	4.7%

寄与度 (増加分) : 非鉄金属鉱 (+4.4%)、鉄鉱石 (+1.8%) 等

寄与度 (減少分) : とうもろこし (▲5.5%)、原油及び粗油 (▲5.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

14. 九州とオーストラリアの貿易

14-1 オーストラリアの経済概況

面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,499万人(2018年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
民族	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.6%、第二次産業23.4%、第三次産業74.0% 農林水産業(2.6%)、鉱業(6.4%)、製造業(6.3%)、建設業(8.1%)、卸売・小売業(9.2%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(7.4%)など(2017-18年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「国・地域」の「基礎データ」より九州経済産業局作成

図表2-14-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.3	2.8	2.5	2.7	1.8
名目GDP総額	10億ドル	1,235	1,268	1,387	1,420	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	51,497	51,979	55,974	56,420	—
輸出額	億ドル	1,885	1,913	2,293	2,547	—*
	前年比(%)	▲ 21.7	1.5	19.9	11.1	—*
輸入額	億ドル	2,129	2,011	2,275	2,409	—*
	前年比(%)	▲ 11.8	▲ 5.6	13.1	5.9	—*
貿易収支	億ドル	▲ 190	▲ 58	105	198	—*
対日貿易収支	億ドル	143	85	164	233	—*
鉱工業生産指数	前期比(%)	1.6	1.9	1.0	3.8	2.5
失業率	(%)	6.1	5.7	5.6	5.3	5.2
消費者物価指数	前年比(%)	1.5	1.3	1.9	1.9	1.6
直接投資受入額	億ドル	451	392	445	580	—*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.33	1.35	1.30	1.34	1.44
為替レート(1豪ドル)	円	91.07	80.85	86.00	82.57	75.82

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

14-2 オーストラリアとの貿易動向

●2019年の九州の対オーストラリア貿易額

輸出総額： 1,030億円（対前年▲5.0%） → 3年ぶりのマイナス

輸入総額： 5,507億円（対前年▲15.3%） → 3年ぶりのマイナス

差引額： ▲4,478億円（対前年▲17.3%）

●輸出品目（輸出額多い順）ゴムタイヤ及びチューブ、自動車、映像機器

〈寄与度↑〉ゴムタイヤ及びチューブ（+5.3%）、
軌条及びその他の鉄道線路建設材（+3.2%）

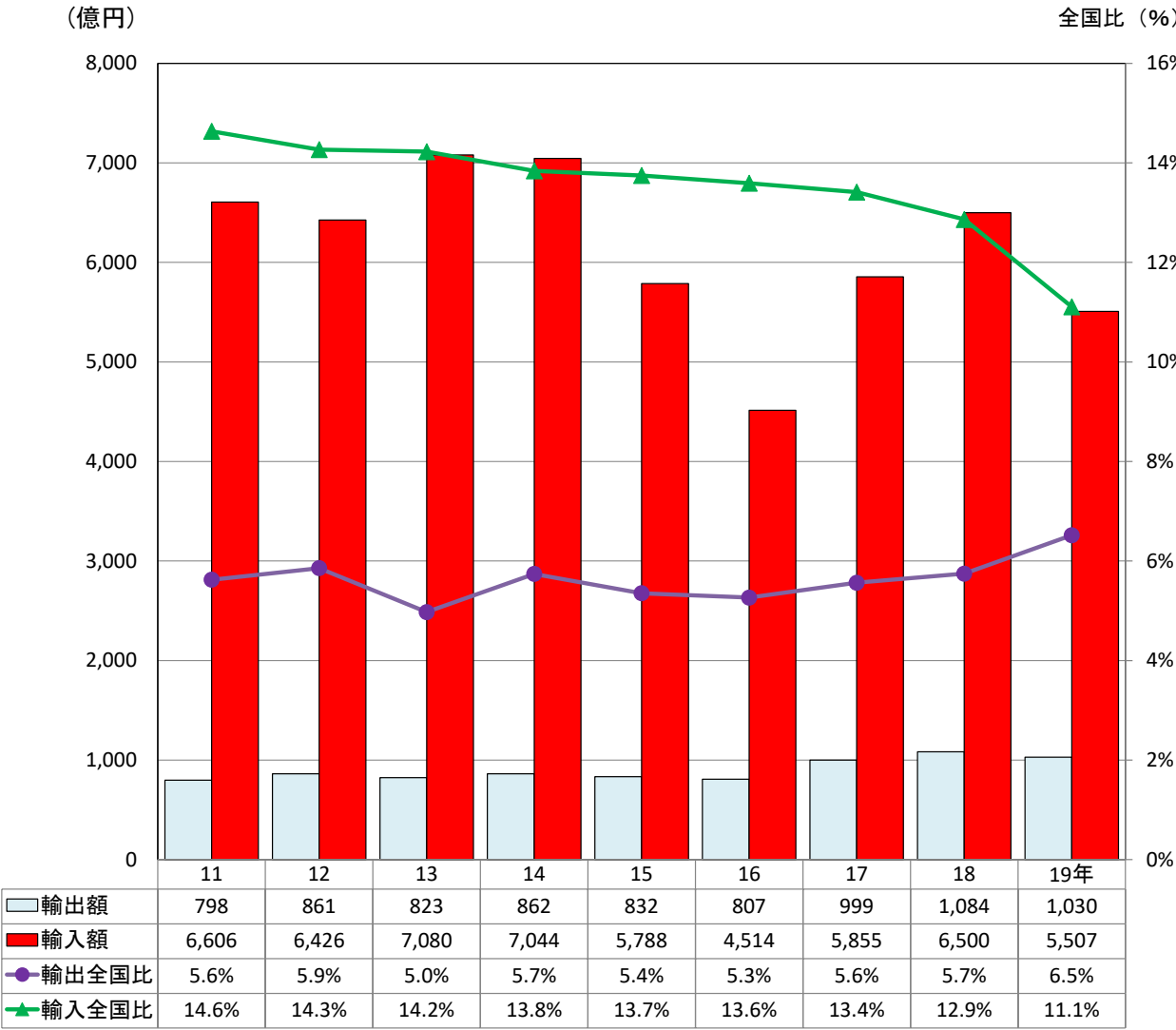
〈寄与度↓〉自動車（▲3.8%）、映像機器（▲2.8%）

●輸入品目（輸入額多い順）石炭、鉄鉱石、非鉄金属鉱

〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+2.5%）、鉄鉱石（+1.0%）

〈寄与度↓〉石油ガス類（▲9.6%）、石炭（▲8.1%）等

図表2-14-2 九州の対オーストラリア貿易額の推移

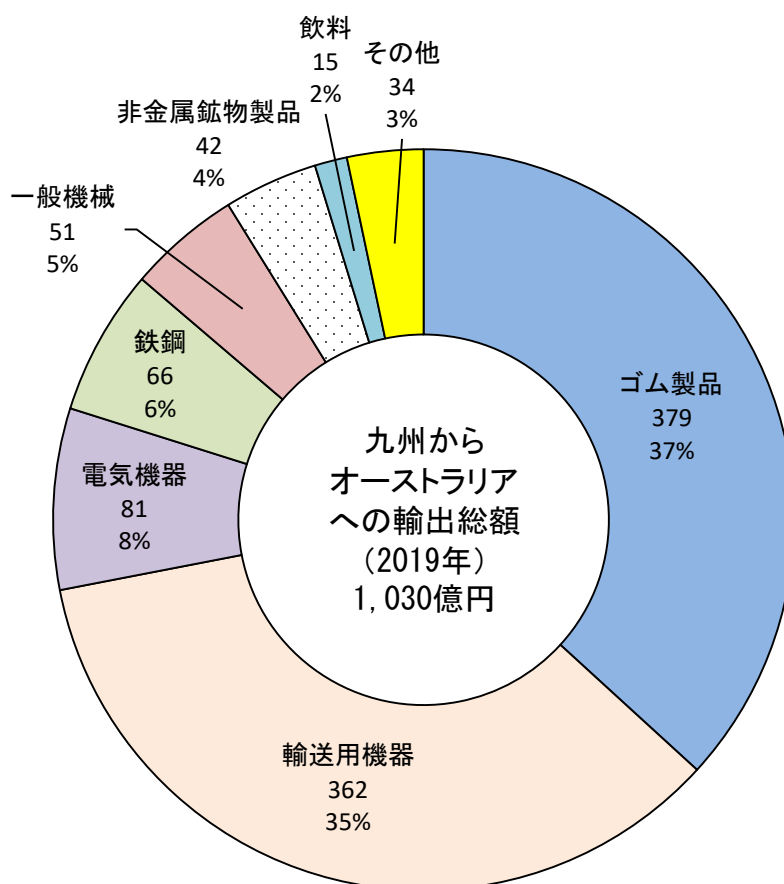


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-14-3 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	378	36.8%	18.0%	66.0%
自動車	輸送用機器	355	34.5%	▲10.4%	5.0%
映像機器	電気機器	62	6.0%	▲32.6%	68.7%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	59	5.8%	139.6%	87.8%
セメント	非金属鉱物製品	40	3.9%	▲9.2%	59.2%
建設用・鉱山用機械	一般機械	24	2.3%	▲24.5%	5.1%
加熱用・冷却用機器	一般機械	13	1.3%	▲43.7%	9.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	11	1.0%	▲36.6%	19.8%
無機化合物	元素及び化合物	7	0.7%	36.8%	5.8%
二輪自動車類	輸送用機器	7	0.7%	▲74.6%	8.8%
その他		73	7.1%	—	—
総 額		1,030	100%	▲5.0%	6.5%

寄与度（増加分）：ゴムタイヤ及びチューブ（+5.3%）、
軌条及びその他の鉄道線路建設材（+3.2%）等

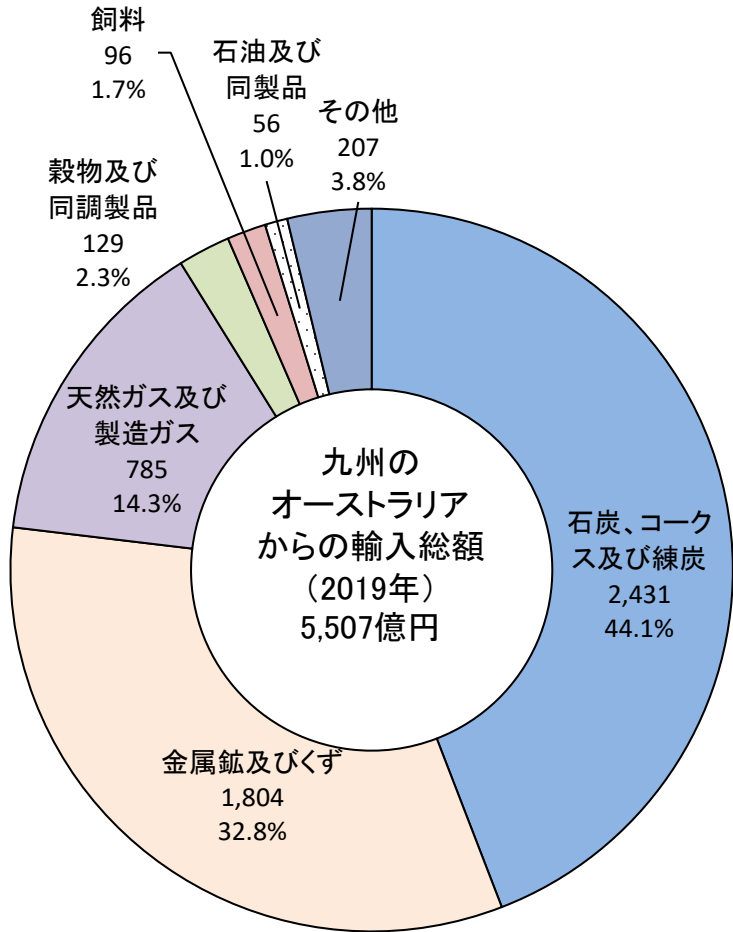
寄与度（減少分）：自動車（▲3.8%）、映像機器（▲2.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-14-4 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,431	44.1%	▲17.7%	16.4%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	998	18.1%	7.0%	16.3%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	794	14.4%	25.4%	35.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	785	14.3%	▲44.4%	4.4%
その他		500	9.1%	—	—
総 額		5,507	100.0%	▲29.8%	9.2%

寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋2.5%）、鉄鉱石（＋1.0%）等
寄与度（減少分）：石油ガス類（▲9.6%）、石炭（▲8.1%）等

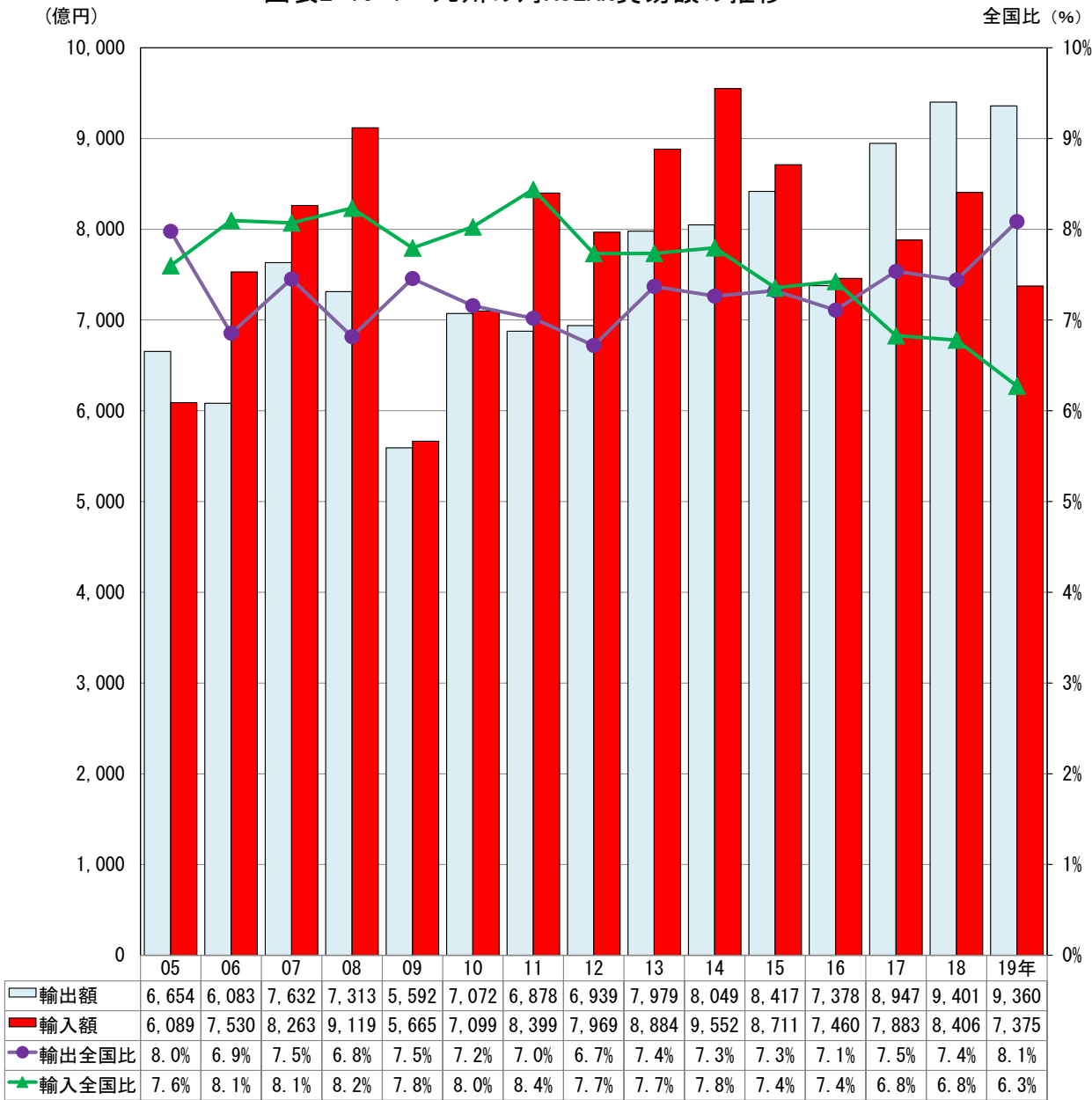
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

1 5．九州とASEANの貿易

15-1 九州とASEANの貿易動向

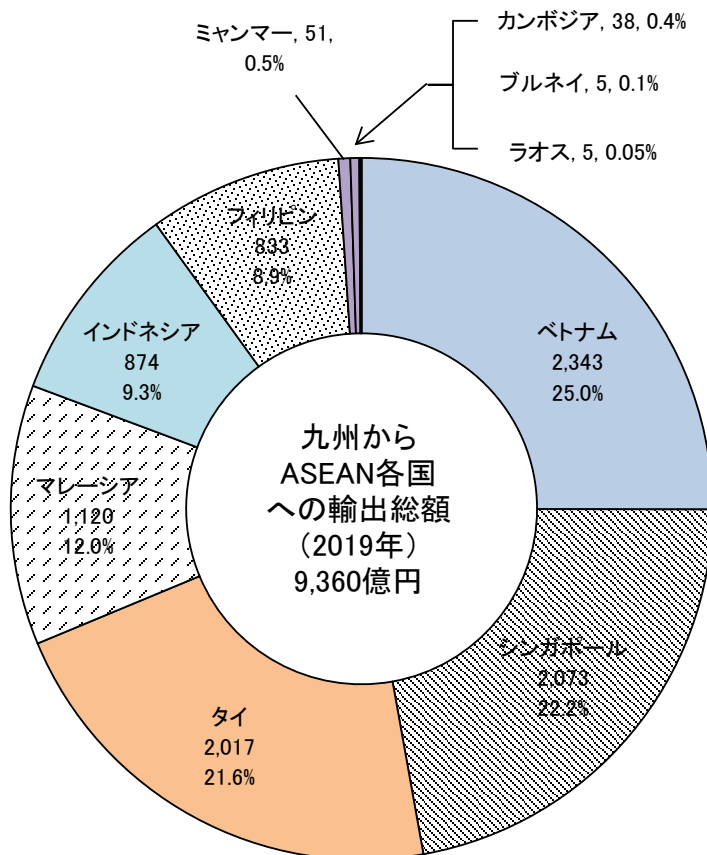
- 2019年の九州の対ASEAN貿易額
輸出総額：9,360億円（対前年▲0.4%） → 3年ぶりのマイナス
輸入総額：7,375億円（対前年▲12.3%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：1,985億円（対前年+99.6%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類
〈寄与度↑〉船舶類（+6.1%）、半導体電子部品（+3.2%）
〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲2.6%）、原動機（▲1.6%）
- 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、天然ゴム、石炭
〈寄与度↑〉通信機（+0.4%）、家庭用電気機器（+0.1%）等
〈寄与度↓〉非鉄金属鉱（▲6.0%）、石炭（▲2.7%）等

図表2-15-1 九州の対ASEAN貿易額の推移

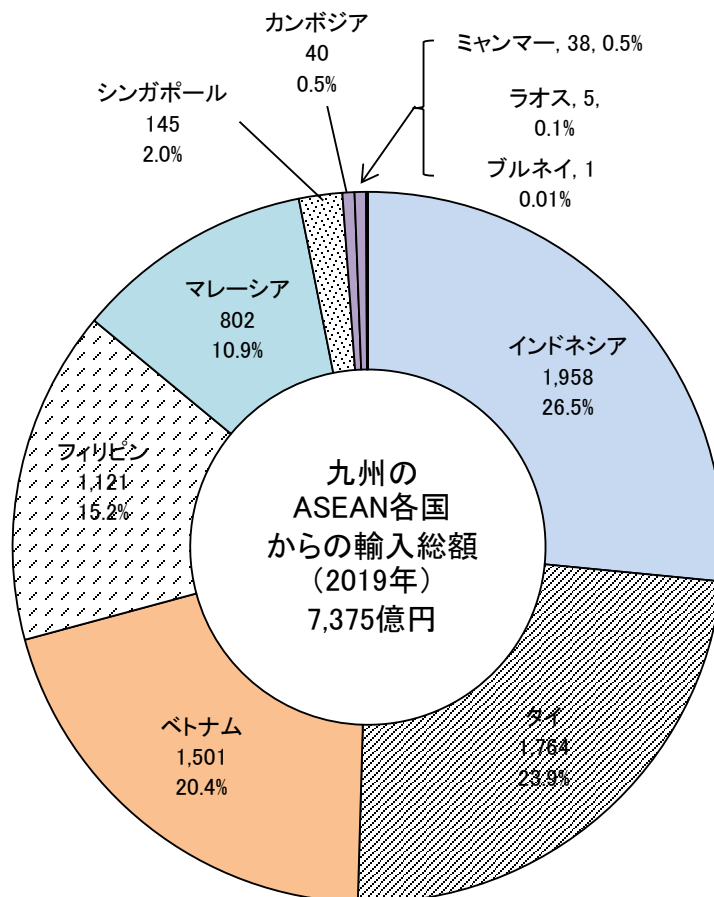


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成

図表2-15-2 九州からASEANへの国別輸出額



図表2-15-3 九州のASEANからの国別輸入額



図表2-5-2～3出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-15-4 全国のASEAN域内における国別輸出入動向（2019年）

単位：億円、%

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	17,971	15.5%	▲0.9%	▲0.1%	24,509	20.8%	5.0%	0.9%
タイ	32,906	28.4%	▲7.6%	▲2.2%	27,651	23.5%	▲0.2%	▲0.05%
シンガポール	21,988	19.0%	▲14.9%	▲3.0%	8,512	7.2%	▲20.9%	▲1.8%
マレーシア	14,490	12.5%	▲5.8%	▲0.7%	19,263	16.4%	▲7.9%	▲1.3%
ブルネイ	145	0.1%	32.0%	0.03%	2,649	2.3%	2.4%	0.1%
フィリピン	11,613	10.0%	▲6.6%	▲0.6%	11,561	9.8%	0.3%	0.03%
インドネシア	15,243	13.2%	▲12.6%	▲1.7%	19,820	16.9%	▲16.7%	▲3.2%
カンボジア	613	0.5%	31.5%	0.1%	1,886	1.6%	6.2%	0.1%
ラオス	104	0.1%	▲28.9%	▲0.03%	173	0.1%	0.8%	0.001%
ミャンマー	711	0.6%	▲7.2%	▲0.04%	1,542	1.3%	9.0%	0.1%
ASEAN 計	115,783	100.0%	▲8.4%	▲8.4%	117,567	100.0%	▲5.2%	▲5.2%

図表2-15-5 九州のASEAN域内における国別輸出入動向（2019年）

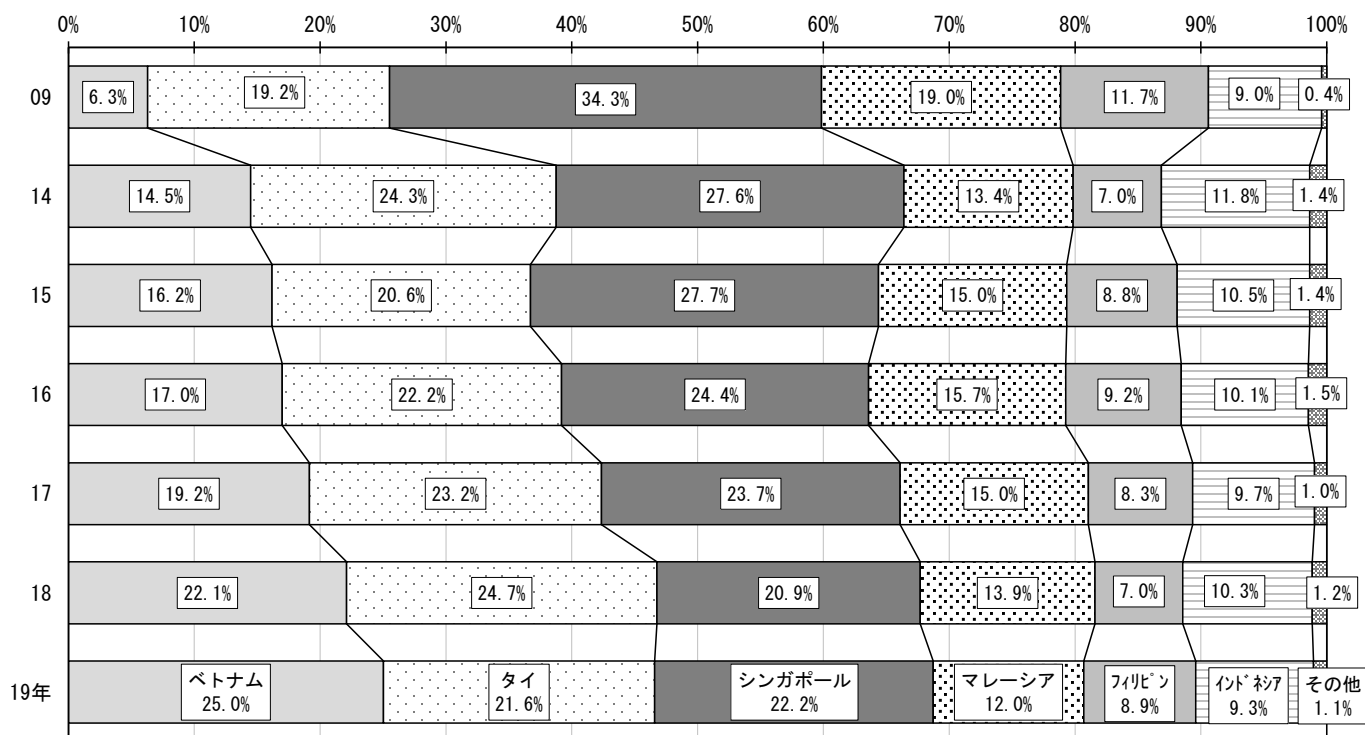
単位：億円、%

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,343	25.0%	12.8%	2.8%	13.0%	1,501	20.4%	3.7%	0.6%	6.1%
タイ	2,017	21.6%	▲13.0%	▲3.2%	6.1%	1,764	23.9%	▲1.1%	▲0.2%	6.4%
シンガポール	2,073	22.2%	5.4%	1.1%	9.4%	145	2.0%	▲5.8%	▲0.1%	1.7%
マレーシア	1,120	12.0%	▲14.1%	▲2.0%	7.7%	802	10.9%	▲19.7%	▲2.3%	4.2%
ブルネイ	5	0.1%	▲69.2%	▲0.1%	3.6%	1.1	0.014%	175.9%	0.0%	0.04%
フィリピン	833	8.9%	27.1%	1.9%	7.2%	1,121	15.2%	▲3.1%	▲0.4%	9.7%
インドネシア	874	9.3%	▲9.6%	▲1.0%	5.7%	1,958	26.5%	▲29.6%	▲9.8%	9.9%
カンボジア	38	0.4%	9.7%	0.04%	6.2%	40	0.5%	▲6.4%	▲0.03%	2.1%
ラオス	5	0.05%	▲18.6%	▲0.01%	4.3%	5	0.06%	▲2.1%	▲0.001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	▲0.6%	▲0.003%	7.2%	38	0.5%	8.4%	0.04%	2.5%
ASEAN 計	9,360	100.0%	▲0.4%	▲0.4%	8.1%	7,375	100.0%	▲12.3%	▲12.3%	6.3%

図表2-5-4～5出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

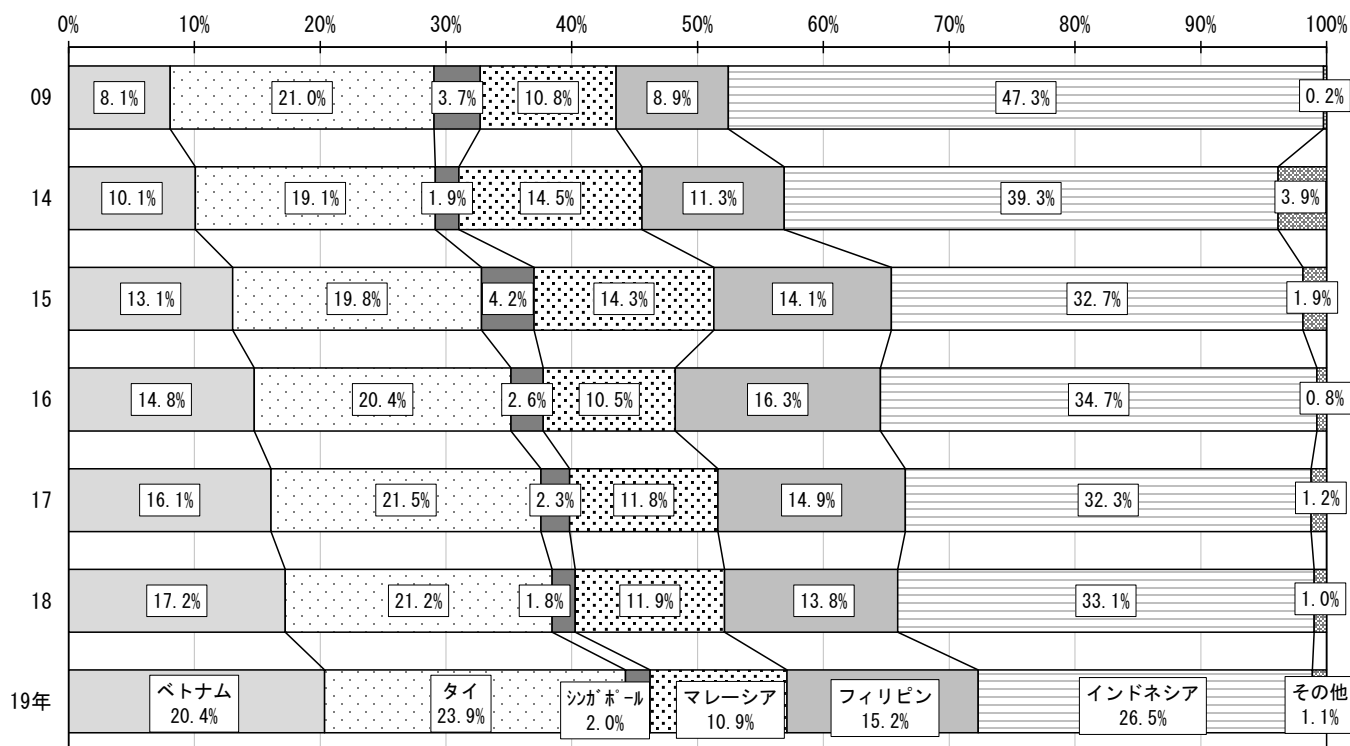
図表2-15-6 ASEAN域内における九州の輸出相手国の推移

単位：％



図表2-15-7 ASEAN域内における九州の輸入相手国の推移

単位：％

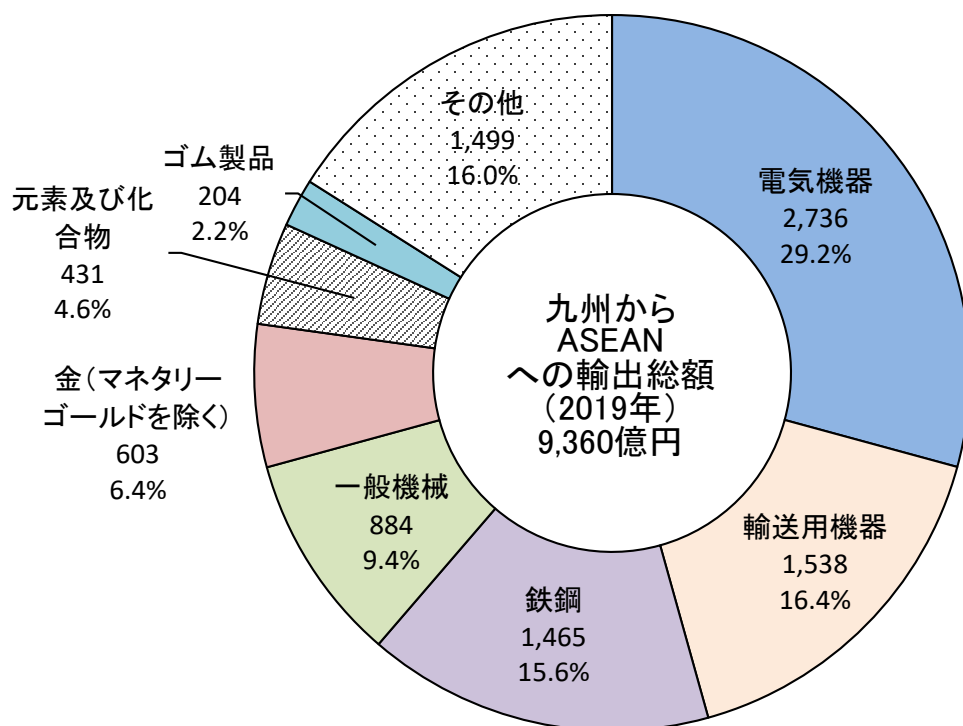


図表2-5-6～7出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-15-8 九州からASEANへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	2,207	23.6%	15.8%	24.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,159	12.4%	▲17.5%	17.7%
船舶類	輸送用機器	946	10.1%	151.7%	34.2%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	603	6.4%	▲9.3%	32.9%
自動車	輸送用機器	461	4.9%	▲3.1%	8.2%
有機化合物	元素及び化合物	343	3.7%	▲16.8%	22.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	270	2.9%	▲4.0%	16.8%
事務用機器	一般機械	209	2.2%	▲17.3%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	186	2.0%	1.4%	39.1%
荷役機械	一般機械	160	1.7%	53.9%	11.6%
その他		2,817	30.1%	-	-
総 額		9,360	100.0%	▲0.4%	8.1%

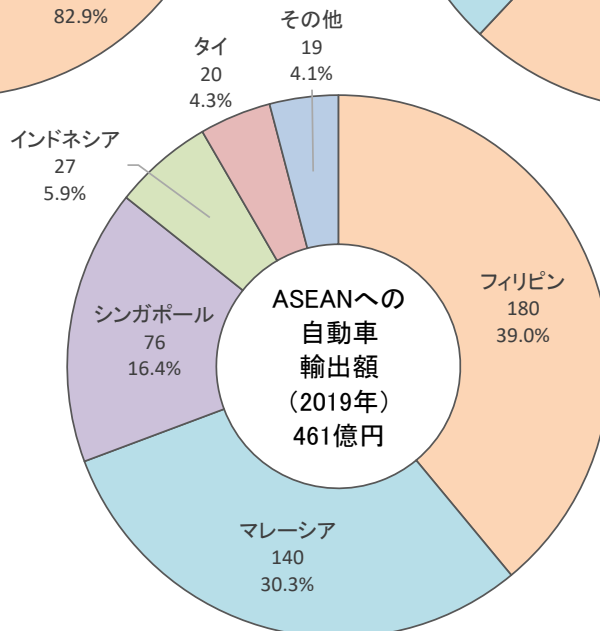
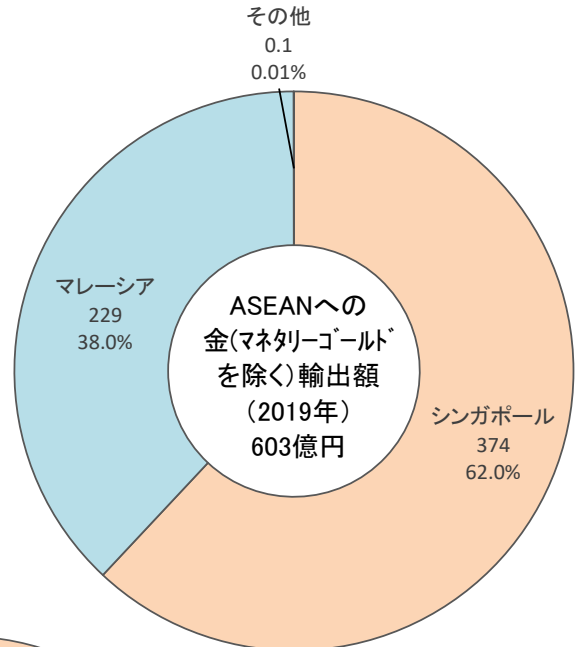
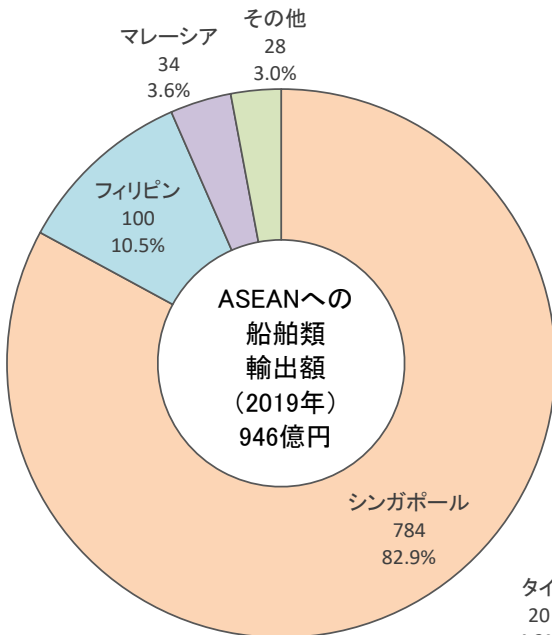
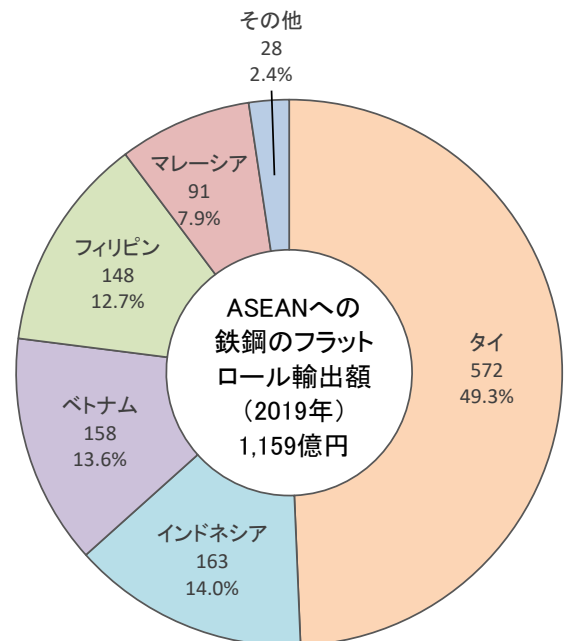
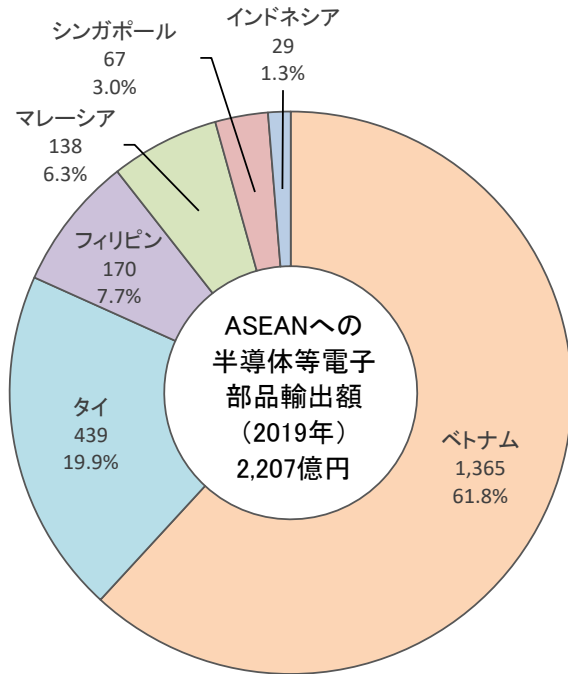
寄与度（増加分）：船舶類（+6.1%）、半導体等電子部品（+3.2%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲2.6%）、原動機（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-15-9 九州からASEANへの主要輸出品目における輸出相手国

(単位：億円、%)

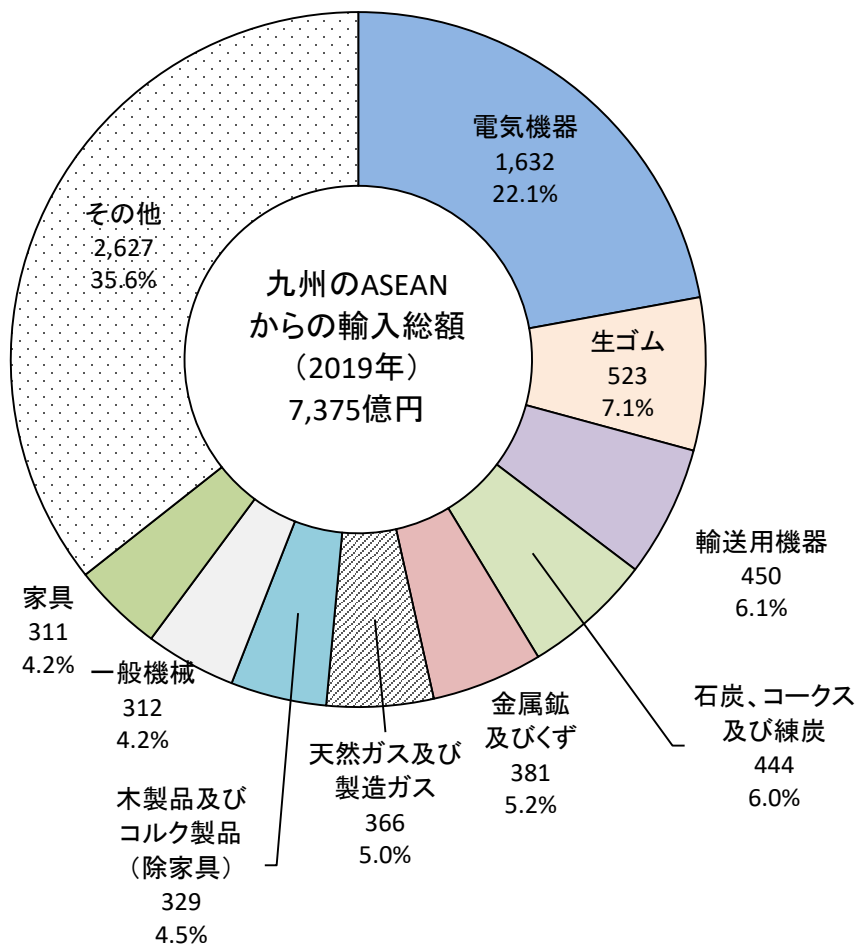


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-15-10 九州のASEANからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	876	11.9%	▲0.5%	16.3%
天然ゴム	生ゴム	496	6.7%	▲2.1%	40.9%
石炭	石炭、コークス及び練炭	444	6.0%	▲33.6%	14.4%
自動車の部分品	輸送用機器	392	5.3%	0.5%	18.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	366	5.0%	▲31.2%	3.7%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	253	3.4%	▲66.8%	11.4%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	219	3.0%	▲0.8%	6.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	126	1.7%	4.5%	7.9%
半導体等電子部品	電気機器	126	1.7%	▲10.3%	3.1%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	116	1.6%	▲13.0%	10.8%
その他		3,962	53.7%	-	-
総額		7,375	100%	▲12.3%	6.3%

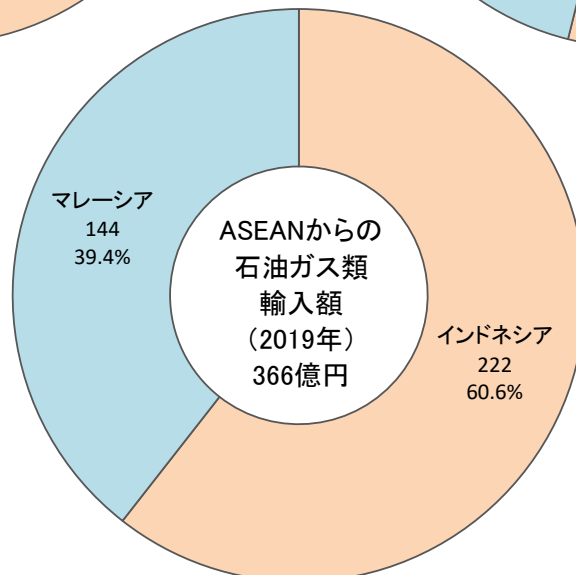
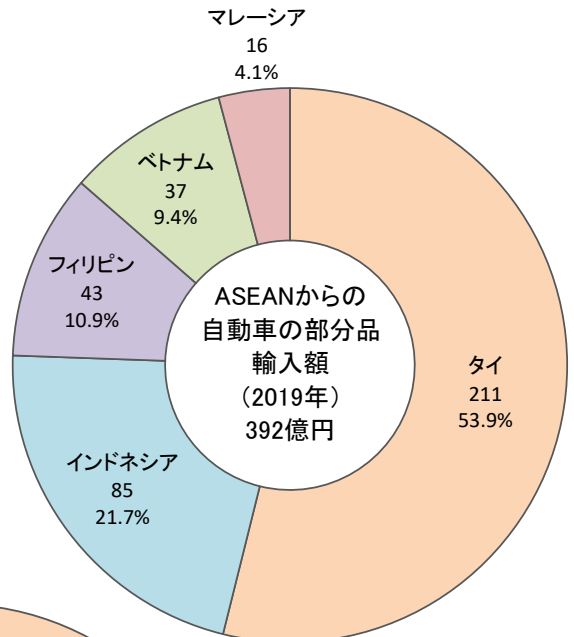
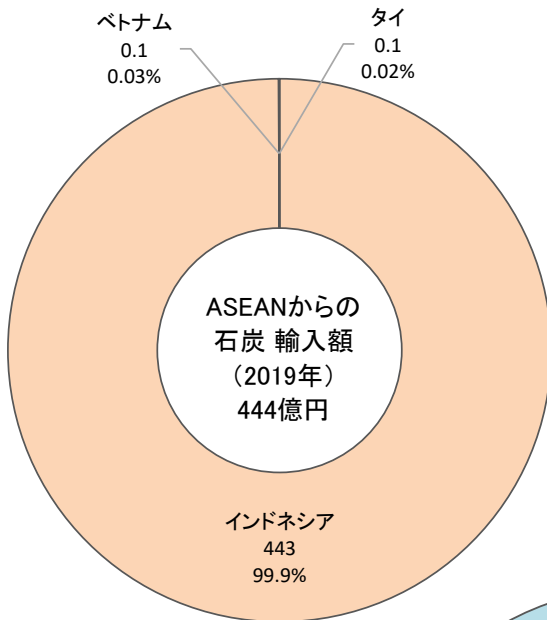
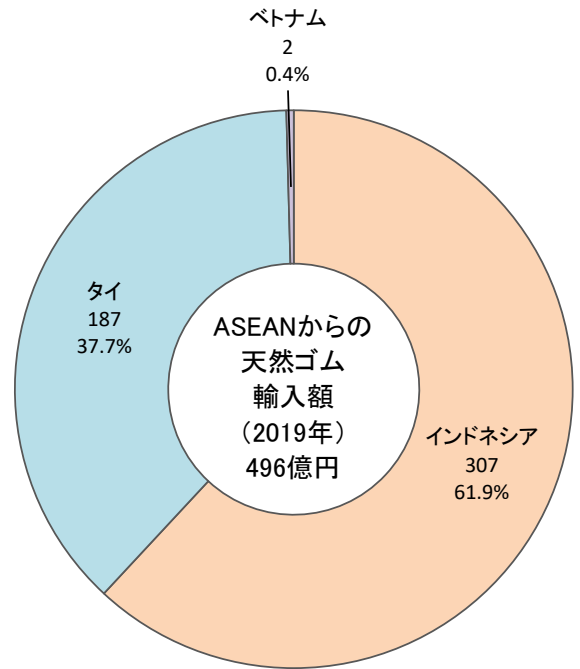
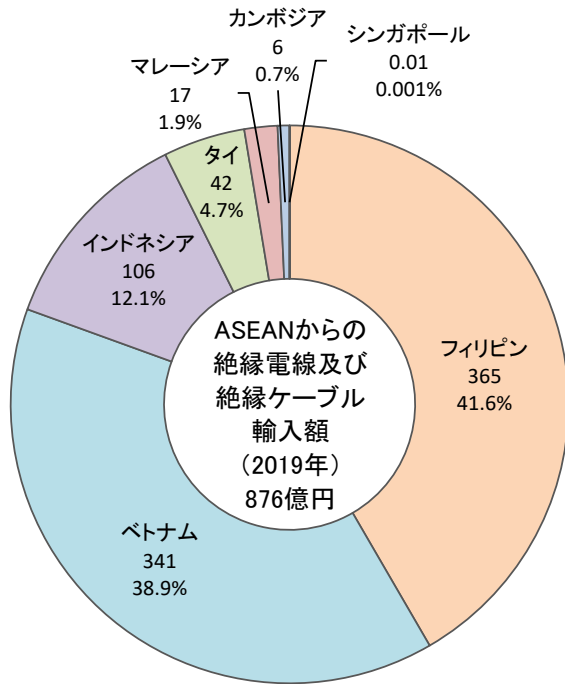
寄与度 (増加分) : 通信機 (+0.4%)、家庭用電気機器 (+0.1%) 等

寄与度 (減少分) : 非鉄金属鉱 (▲6.0%)、石炭 (▲2.7%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-15-11 九州のASEANからの主要輸入品目における輸入相手国

(単位：億円、%)



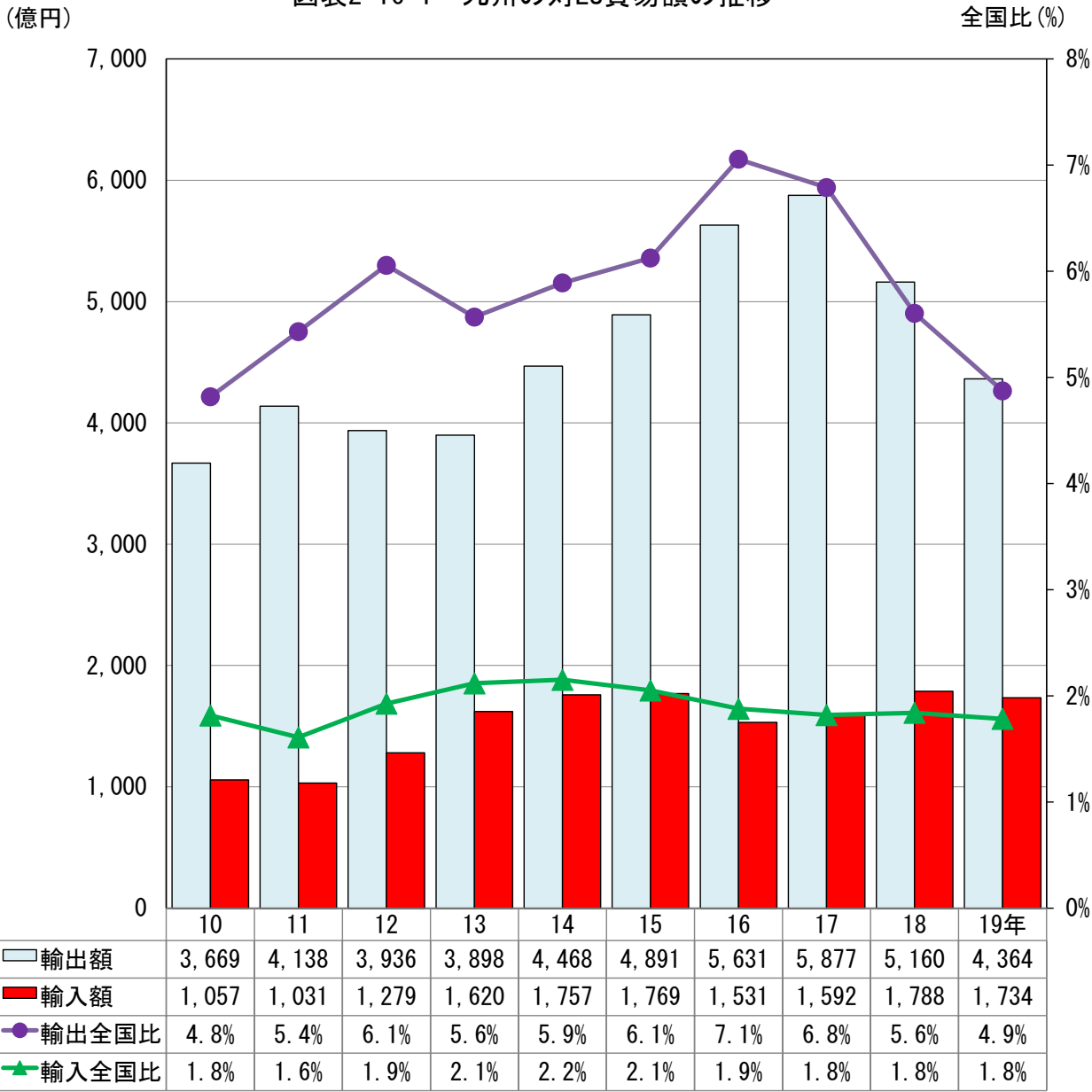
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

16. 九州とEUの貿易

16-1 九州とEUの貿易動向

- 2019年の九州の対EU貿易額
輸出総額：4,364億円（対前年▲15.4%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：1,734億円（対前年▲3.1%） → 3年ぶりのマイナス
差引額：2,630億円（対前年▲742億円）
- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類
〈寄与度↑〉石油製品（+0.8%）、自動車（+0.8%）
〈寄与度↓〉船舶類（▲5.0%）、二輪自動車類（▲3.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品
〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+1.1%）、原動機（+0.9%）
〈寄与度↓〉航空機類（▲3.0%）、石油ガス類（▲2.3%）

図表2-16-1 九州の対EU貿易額の推移

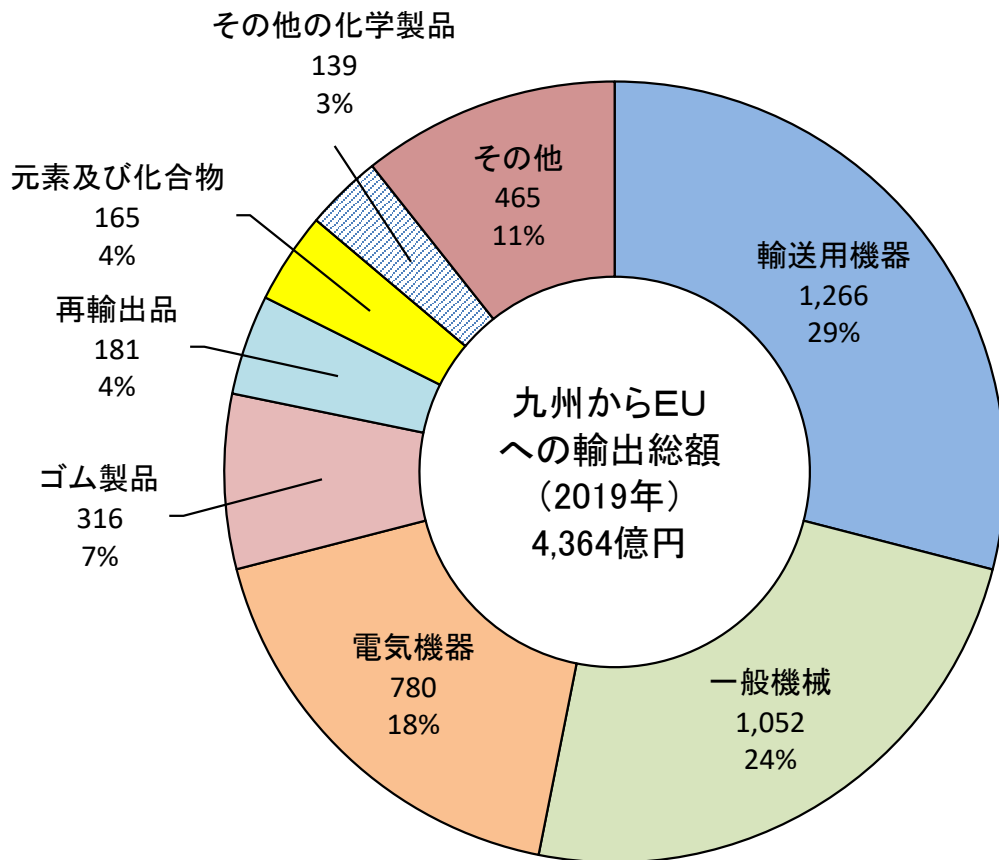


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成

図表2-16-2 九州からEUへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



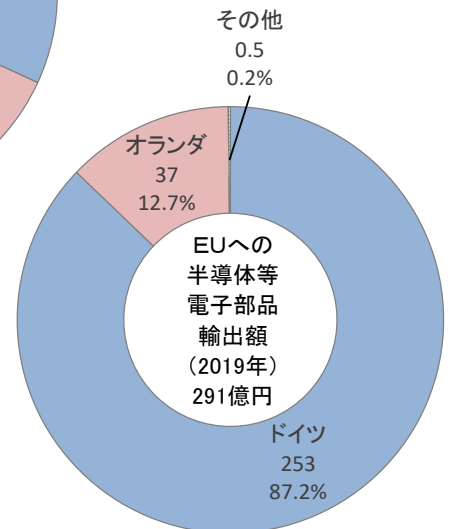
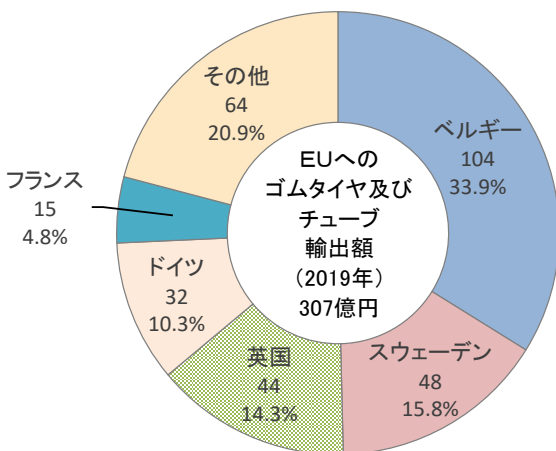
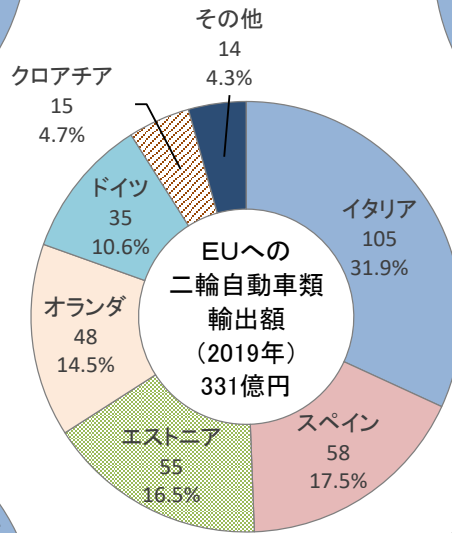
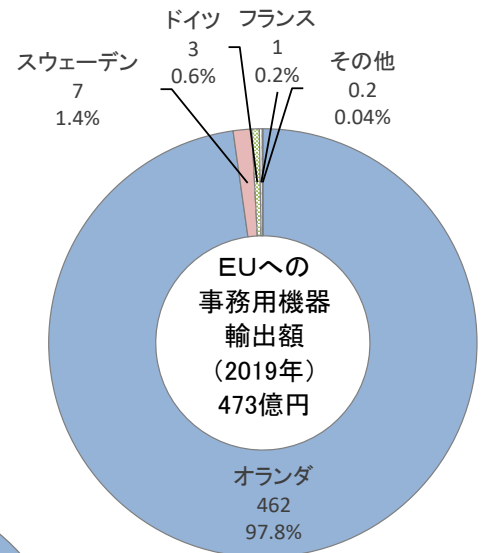
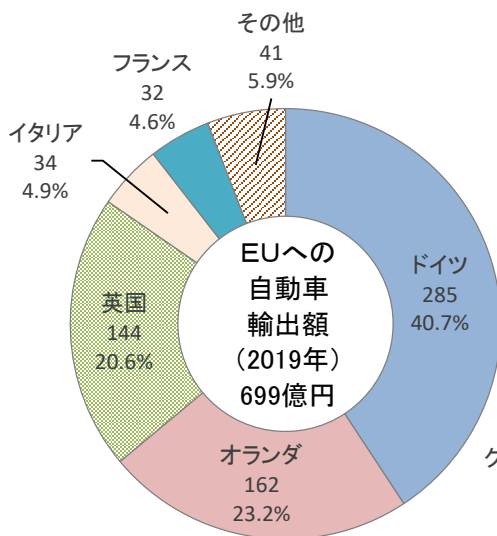
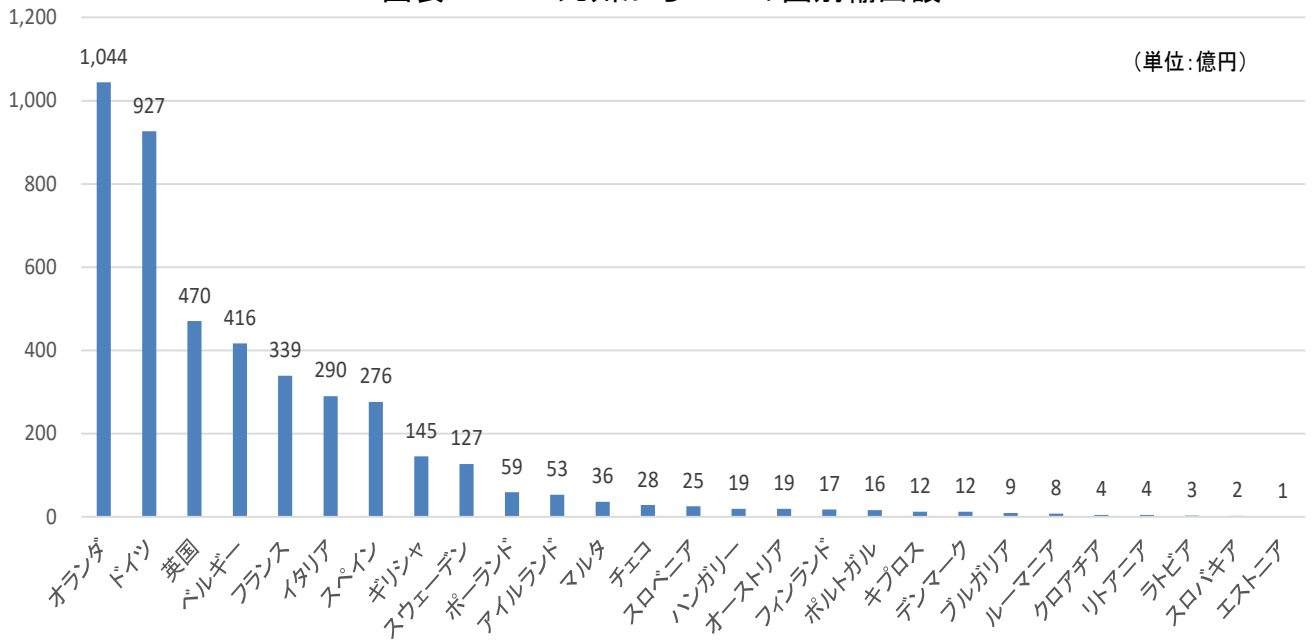
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	699	16.0%	6.0%	4.4%
事務用機器	一般機械	473	10.8%	▲13.4%	13.9%
二輪自動車類	輸送用機器	331	7.6%	▲37.4%	22.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	307	7.0%	▲16.8%	46.0%
半導体等電子部品	電気機器	291	6.7%	▲28.2%	16.7%
映像機器	電気機器	190	4.4%	▲39.4%	25.9%
船舶類	輸送用機器	190	4.3%	▲57.8%	28.3%
自動車用等の電気機器	電気機器	155	3.5%	5.2%	13.0%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	130	3.0%	▲32.7%	6.5%
建設用・鉱山用機械	一般機械	116	2.7%	45.4%	4.8%
その他		1,484	34.0%	—	—
総 計		4,364	100.0%	▲15.4%	4.9%

寄与度（増加分）：石油製品（+0.8%）、自動車（+0.8%）等

寄与度（減少分）：船舶類（▲5.0%）、二輪自動車類（▲3.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

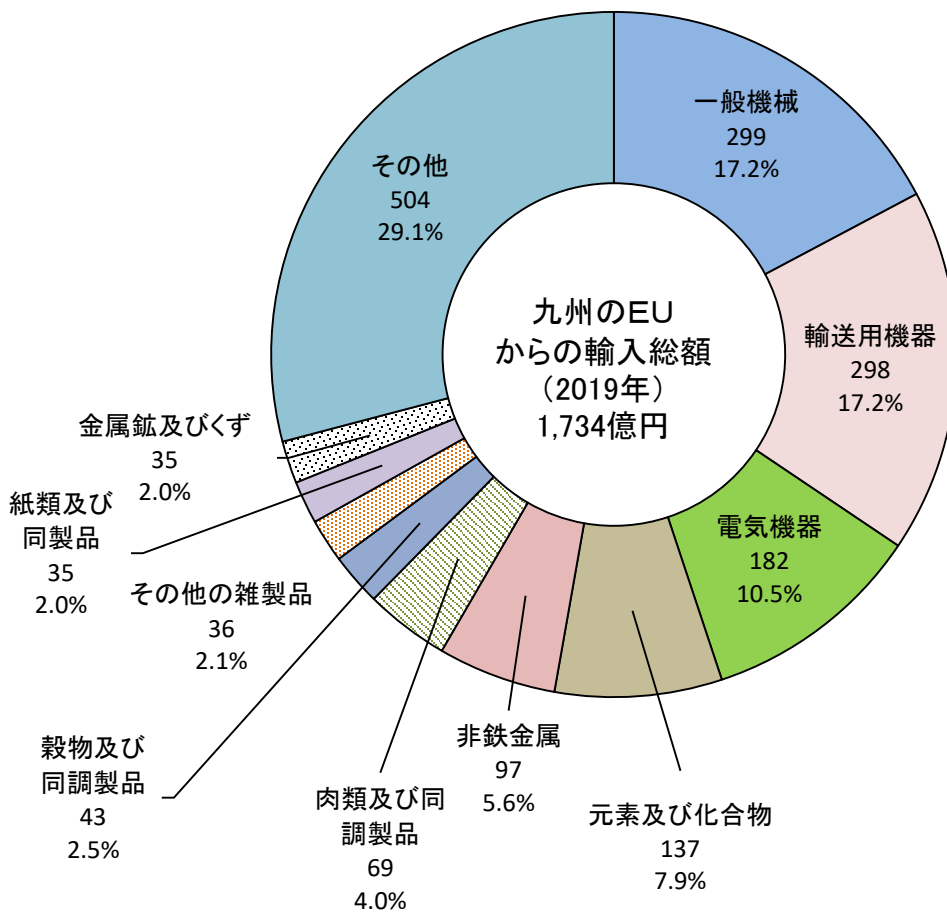
図表2-16-3 九州からEUへの国別輸出額



図表2-16-4 九州のEUからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
航空機類	輸送用機器	165	9.5%	▲24.4%	5.1%
原動機	一般機械	141	8.2%	13.0%	4.3%
自動車の部分品	輸送用機器	97	5.6%	4.3%	7.1%
有機化合物	元素及び化合物	82	4.8%	19.7%	1.7%
銅及び同合金	非鉄金属	71	4.1%	▲6.8%	58.4%
電気計測機器	電気機器	64	3.7%	5.4%	3.0%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	60	3.5%	12.5%	3.3%
無機化合物	元素及び化合物	54	3.1%	▲4.3%	7.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	52	3.0%	29.2%	4.2%
紙及び板紙	紙類及び同製品	34	1.9%	58.3%	6.9%
その他		913	52.7%	—	—
総 額		1,734	100%	-3.1%	1.8%

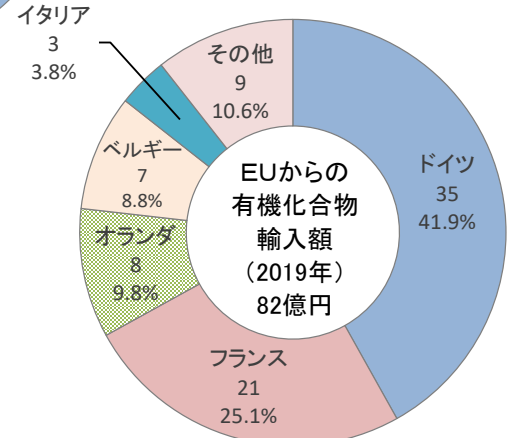
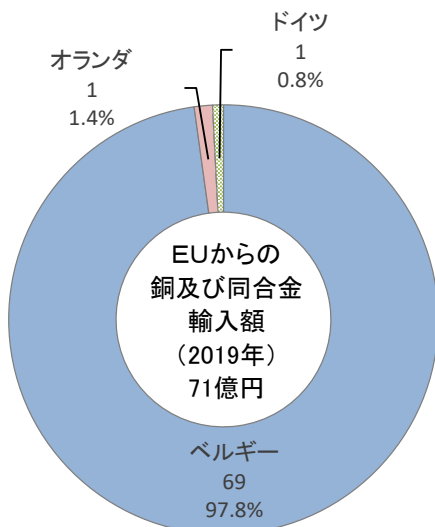
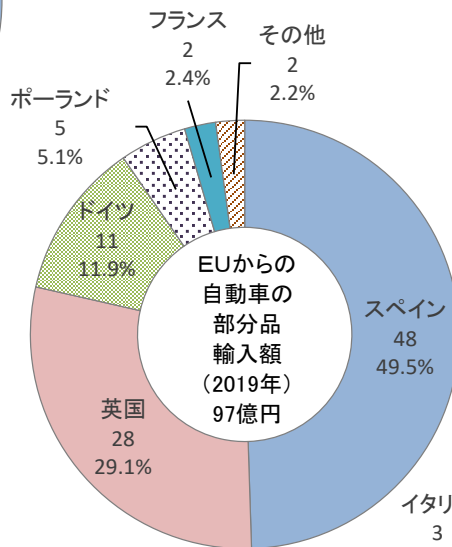
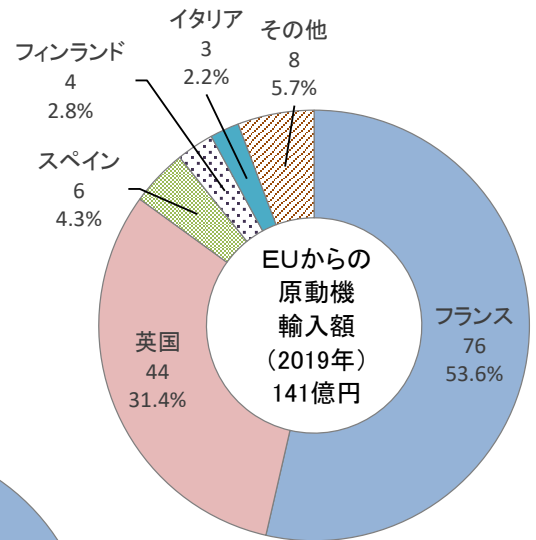
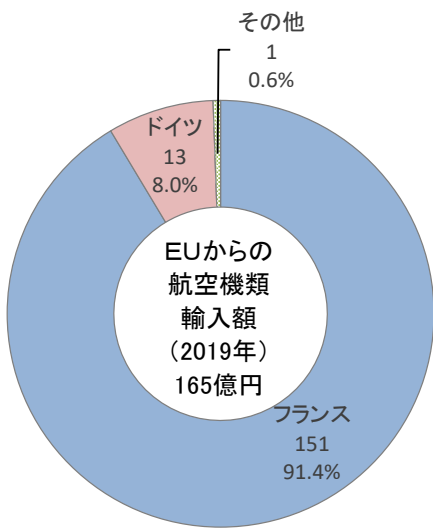
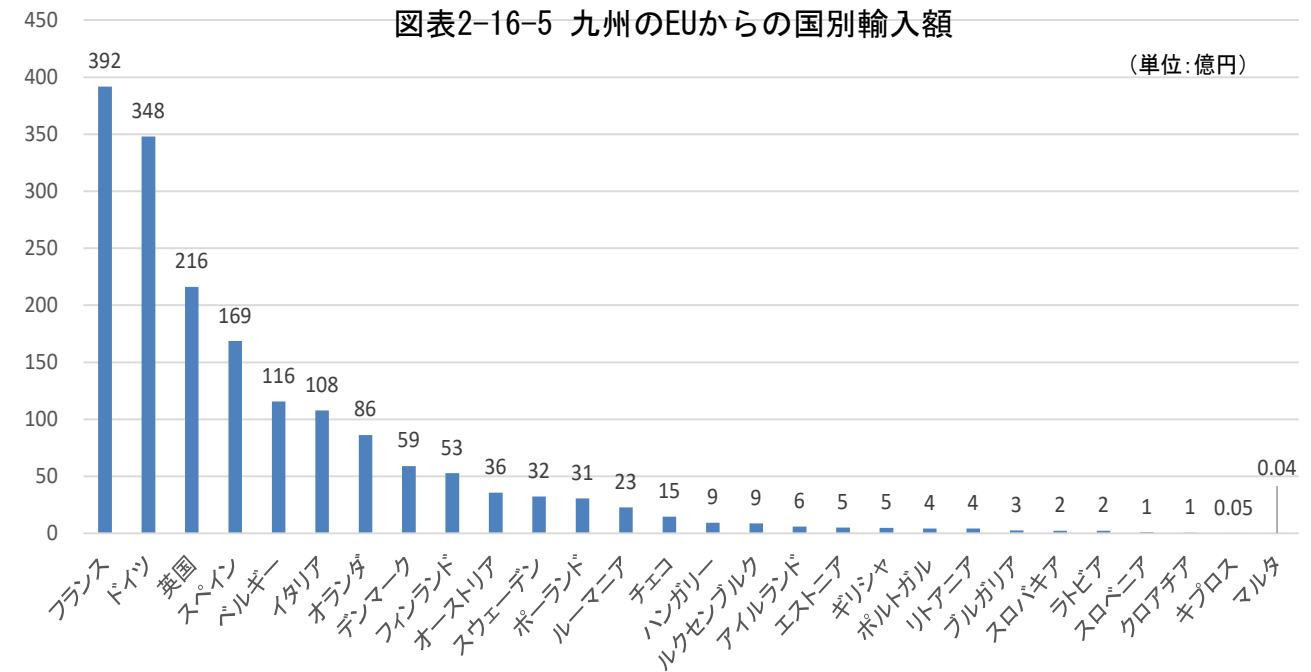
寄与度（増加分）：音響・映像機器（含部品）（+1.1%）、原動機（+0.9%）等

寄与度（減少分）：航空機類（▲3.0%）、石油ガス類（▲2.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-16-5 九州のEUからの国別輸入額

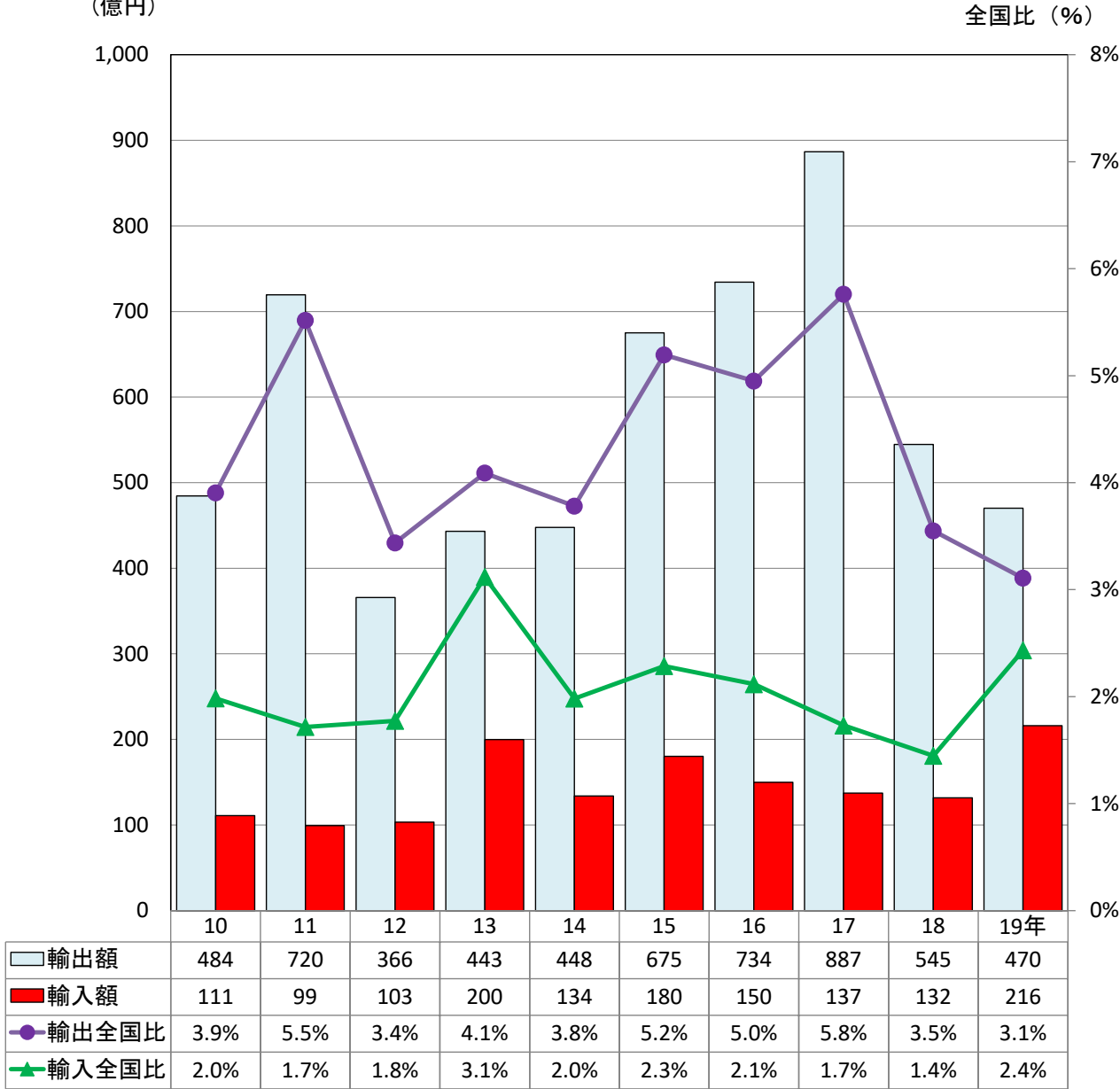
(単位:億円)



16-2 九州と英国の貿易動向

- 2019年の九州の対英国貿易額
輸出総額：470億円（対前年▲13.7%） → 2年連続のマイナス
輸入総額：216億円（対前年+64.1%） → 4年ぶりのプラス
差引額：254億円（対前年▲38.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、二輪自動車類
〈寄与度↑〉自動車（+25.1%）、アルミニウム及び同合金（+0.6%）
〈寄与度↓〉船舶類（▲20.2%）、二輪自動車類（▲4.1%）
- 輸入品目（輸入額多い順）原動機、音響・映像機器（含部品）、自動車の部分品
〈寄与度↑〉原動機（+30.9%）、自動車の部分品（+17.5%）
〈寄与度↓〉非鉄卑金属くず（▲2.7%）、重電機器（▲2.4%）

図表2-16-6 九州の対EU貿易額の推移

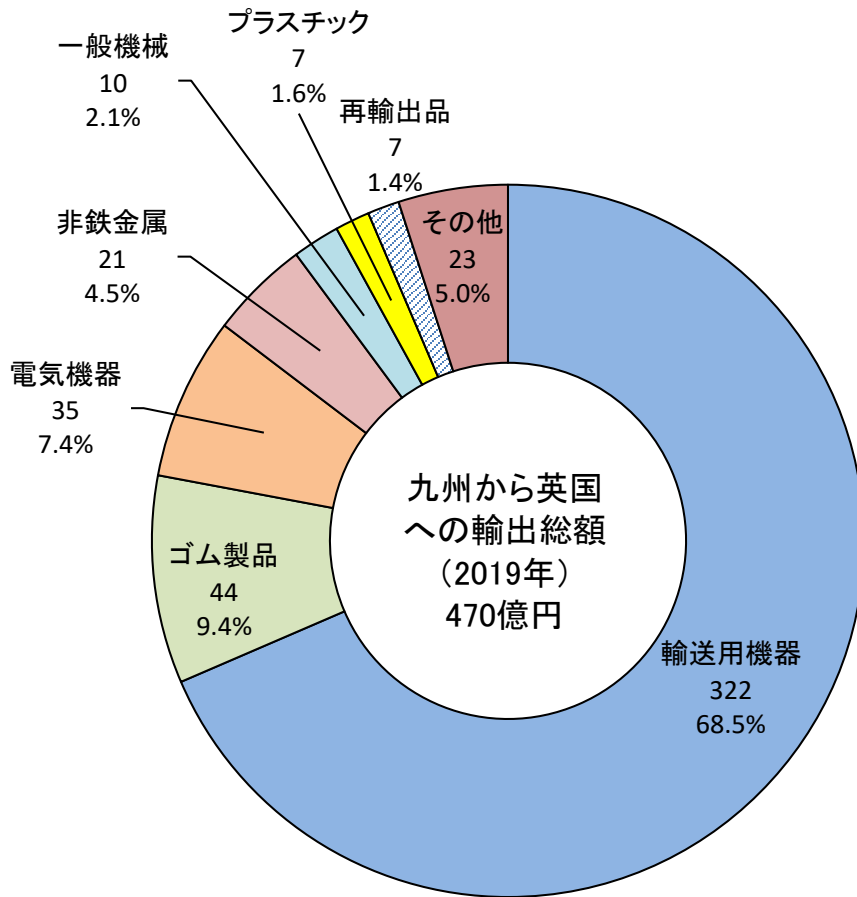


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成

図表2-16-7 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	285	60.6%	92.1%	8.9%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	44	9.3%	▲0.1%	49.4%
二輪自動車類	輸送用機器	35	7.4%	▲38.8%	53.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	23	4.8%	8.6%	12.2%
チタン及び同合金	非鉄金属	15	3.3%	▲15.8%	24.3%
有機化合物	元素及び化合物	5	1.0%	▲24.5%	2.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	4	0.8%	▲0.2%	2.0%
重電機器	電気機器	4	0.8%	24.4%	1.2%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	3	0.7%	16097.6%	34.9%
半導体等製造装置	一般機械	3	0.7%	9922.6%	15.4%
その他		50	10.7%	—	—
総 計		470	100%	▲13.7%	3.1%

寄与度（増加分）：自動車（+25.1%）、アルミニウム及び同合金（+0.6%）等

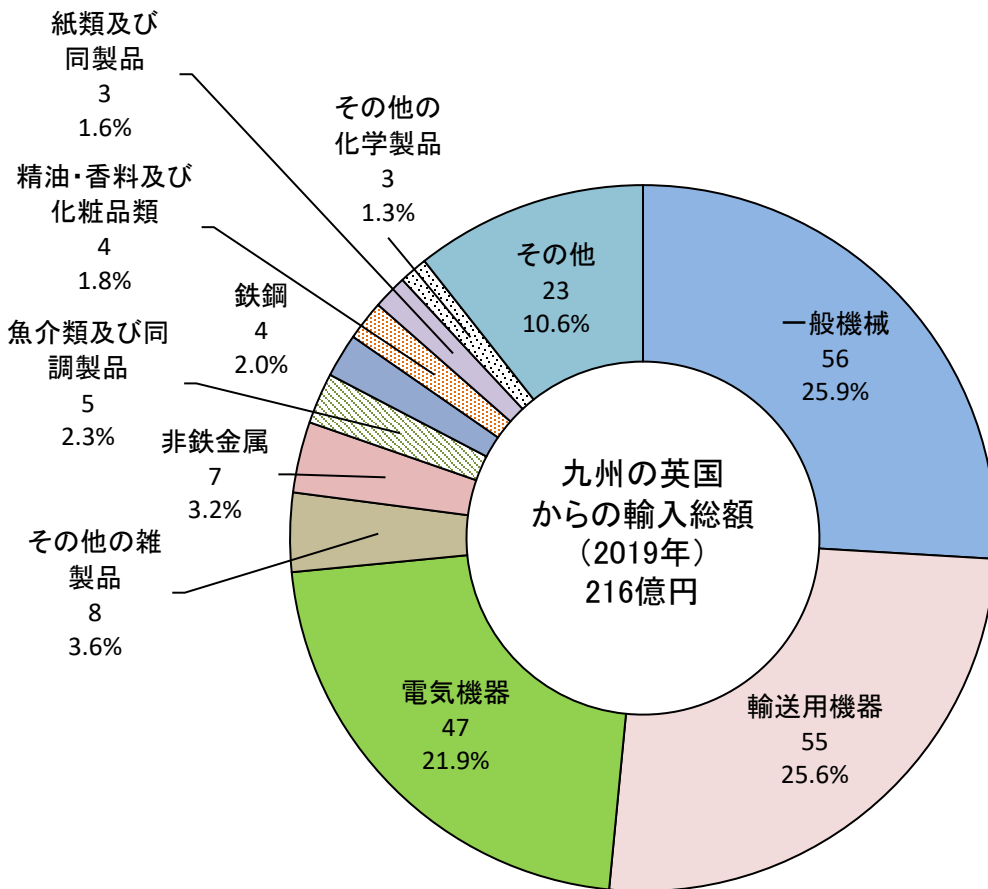
寄与度（減少分）：船舶類（▲20.2%）、二輪自動車類（▲4.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表2-16-8 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
原動機	一般機械	44	20.5%	1112.7%	3.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	30	14.0%	217.9%	28.3%
自動車の部分品	輸送用機器	28	13.0%	458.2%	31.7%
自動車	輸送用機器	26	12.0%	59.0%	1.8%
電気計測機器	電気機器	12	5.5%	▲9.6%	3.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	6	3.0%	▲19.8%	8.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	6	2.7%	344.9%	5.0%
魚介類	魚介類及び同調製品	5	2.3%	270.9%	13.1%
合金鉄	鉄鋼	4	2.0%	19.6%	32.3%
紙及び板紙	紙類及び同製品	3	1.5%	69.8%	9.4%
その他		51	23.5%	—	—
総 額		216	100%	64.1%	2.4%

寄与度（増加分）：原動機（+30.9%）、自動車の部分品（+17.5%）等

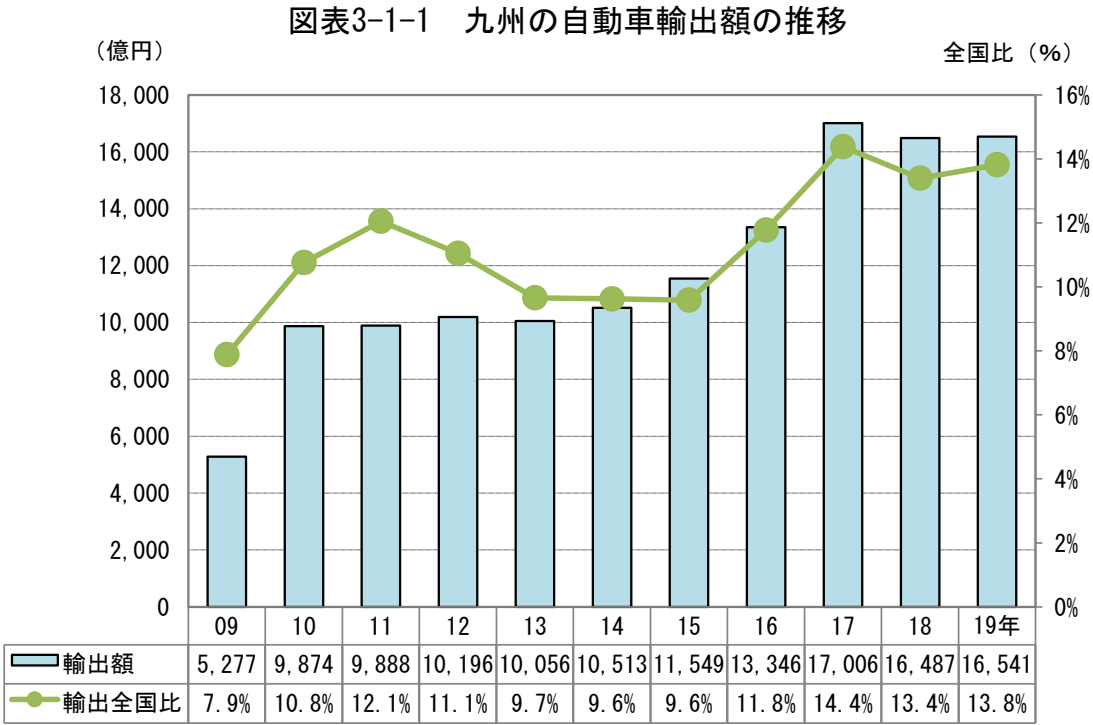
寄与度（減少分）：非鉄卑金属くず（▲2.7%）、重電機器（▲2.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

第3章 九州の産業別貿易動向

1. 自動車・自動車の部分品

- 2019年の九州の自動車輸出額は、1兆6,541億円（対前年+0.3%）
→ 2年ぶりの増加
●輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、台湾



図表3-1-2 自動車の主な輸出相手国・地域の推移（2014年・2019年）

（単位：億円、％）

2014年			2019年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	36,566	33.5%	米国	42,889	35.8%
オーストラリア	6,991	6.4%	中国	7,867	6.6%
中国	6,303	5.8%	オーストラリア	7,041	5.9%
ロシア	5,284	4.8%	アラブ首長国連邦	4,245	3.5%
アラブ首長国連邦	4,728	4.3%	カナダ	3,753	3.1%
その他	49,321	45.2%	その他	53,916	45.0%
計	109,194	100.0%	計	119,712	100.0%
九州			九州		
中国	3,048	29.0%	中国	6,247	37.8%
米国	2,566	24.4%	米国	4,761	28.8%
アラブ首長国連邦	1,016	9.7%	アラブ首長国連邦	924	5.6%
メキシコ	438	4.2%	台湾	659	4.0%
台湾	364	3.5%	韓国	587	3.5%
その他	3,081	29.3%	その他	3,362	20.3%
計	10,513	100.0%	計	16,541	100.0%

図表3-1-1～2 出所：財務省貿易統計を基に九州経済産業局作成

●2019年の九州の自動車生産台数は、145万台（対前年＋1.7%）
→ 日本全体の生産台数（968万台）の15.0%

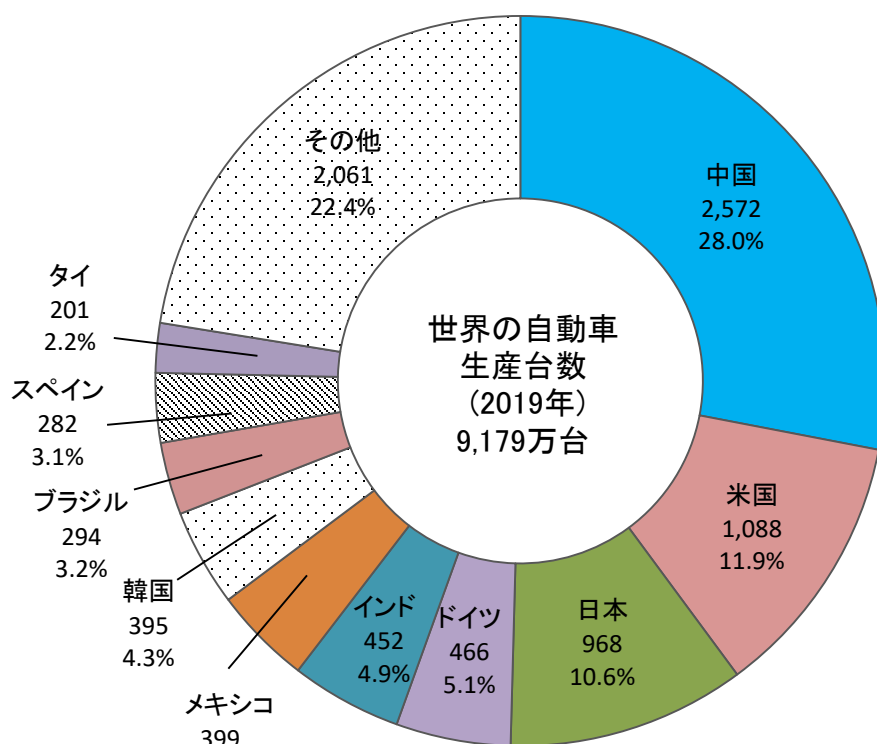
図表3-1-3 世界の自動車生産台数

（単位：万台、%）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	対世界構成比	対前年
ヨーロッパ	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	2,131	23.2%	▲0.1%
米 州	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	2,010	21.7%	▲3.4%
アジア大洋州	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	4,927	54.8%	▲6.1%
日 本	977	928	920	969	973	968	10.2%	▲0.5%
九 州	130	135	135	139	143	145	1.5%	1.7%
中 国	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	2,572	29.1%	▲7.5%
韓 国	452	456	423	411	403	395	4.2%	▲1.9%
インド	384	416	452	479	517	452	5.4%	▲12.7%
タ イ	188	191	194	199	217	201	2.3%	▲7.1%
その他	365	341	383	379	354	338	3.7%	▲4.5%
アフリカ	72	84	90	100	112	111	1.2%	▲1.6%
世界計	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	9,179	100.0%	▲4.1%

図表3-1-4 世界の自動車生産台数の国・地域別構成比

（単位：万台、%）

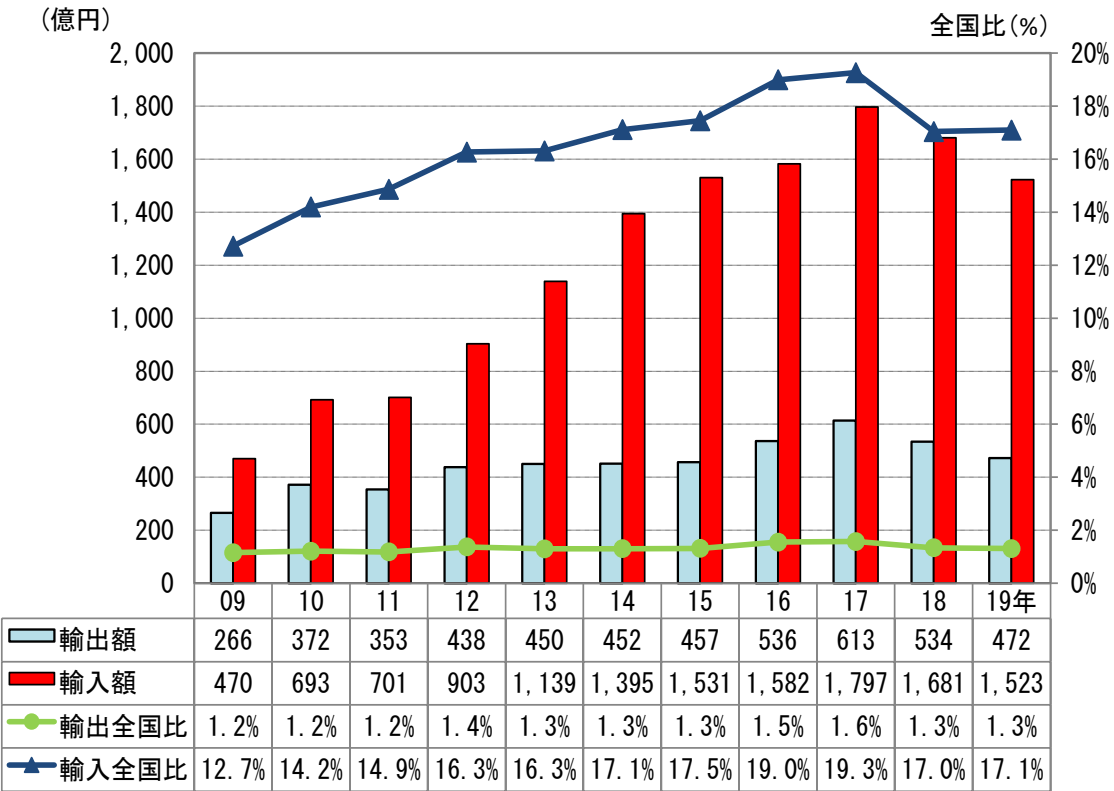


図表3-1-3～4出所：国際自動車工業連合会HPより九州経済産業局作成

※ドイツの生産台数は2016年のもの

- 2019年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が472億円（対前年11.6%減）、輸入が1,523億円（対前年9.4%減）で、輸出入ともに2年連続の減少。
- 九州の輸出相手国・地域では、米国が最も多く、次いで中国、カナダ
- 九州の輸入相手国・地域では、中国が最も多く、次いでタイ、韓国

図表3-1-5 九州の自動車の部分品 貿易額の推移



図表3-1-6 自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域（2019年）

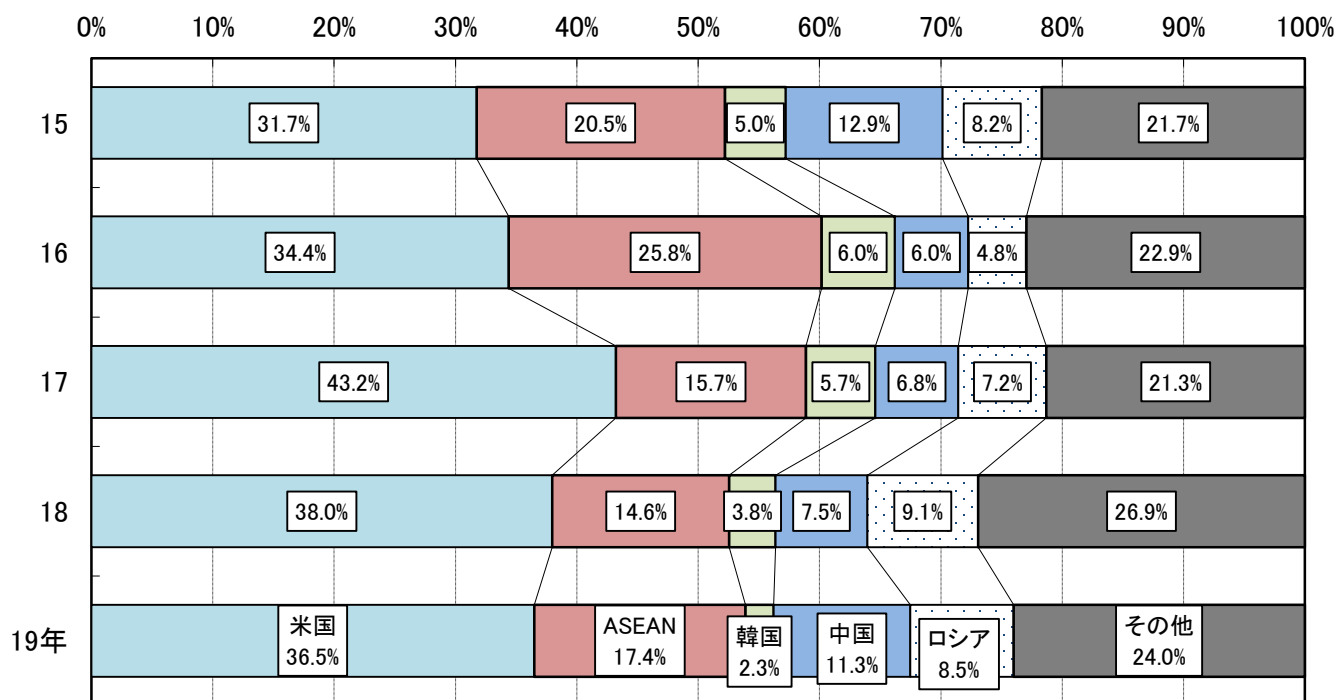
（単位：億円、％）

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	8,346	23.2%	中国	3,287	36.9%
中国	6,853	19.0%	タイ	1,033	11.6%
タイ	2,981	8.3%	ドイツ	709	8.0%
ベルギー	2,036	5.7%	韓国	684	7.7%
メキシコ	1,857	5.2%	ベトナム	528	5.9%
その他	13,943	38.7%	その他	2,665	29.9%
計	36,017	100.0%	計	8,906	100.0%
九州			九州		
米国	172	36.5%	中国	588	38.6%
中国	53	11.3%	タイ	211	13.9%
カナダ	48	10.1%	韓国	187	12.3%
ロシア	40	8.5%	メキシコ	179	11.8%
マレーシア	28	5.9%	インドネシア	85	5.6%
その他	131	27.8%	その他	272	17.9%
計	472	100.0%	計	1,523	100.0%

図表3-1-5～6出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

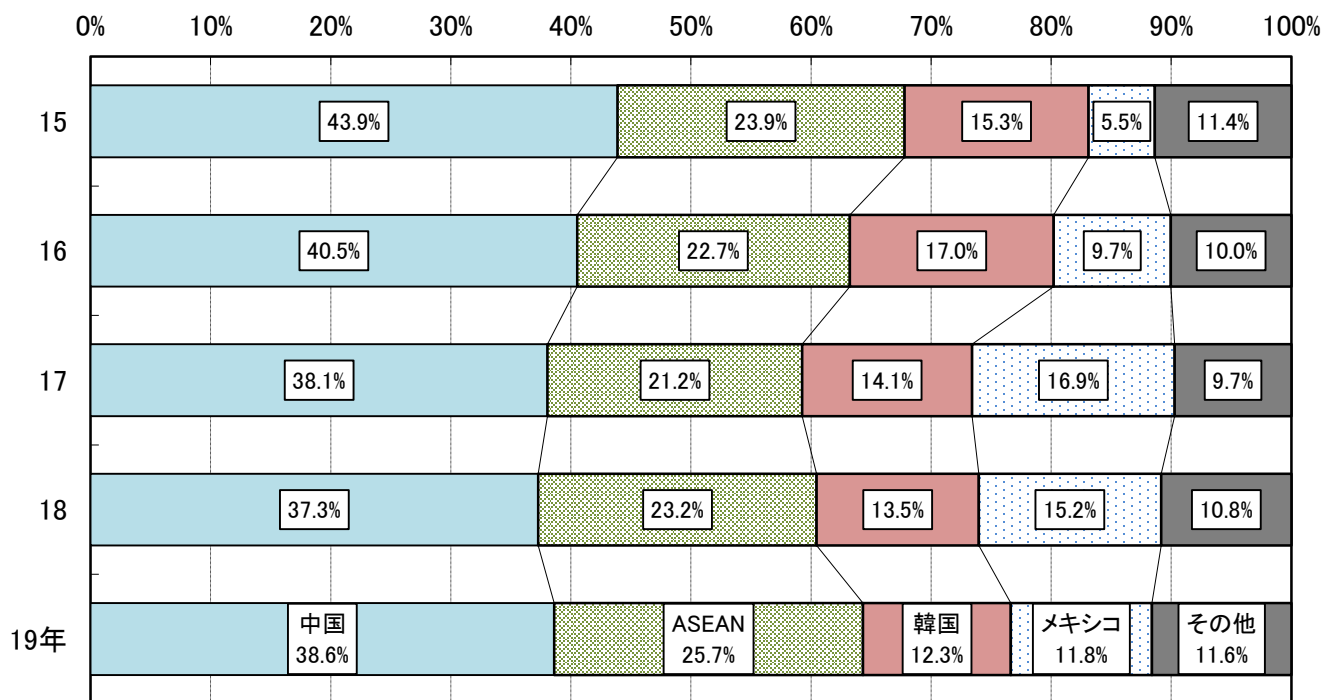
図表3-1-7 九州の自動車の部分品 輸出相手国・地域の推移

(単位：%)



図表3-1-8 九州の自動車の部分品 輸入相手国・地域の推移

(単位：%)

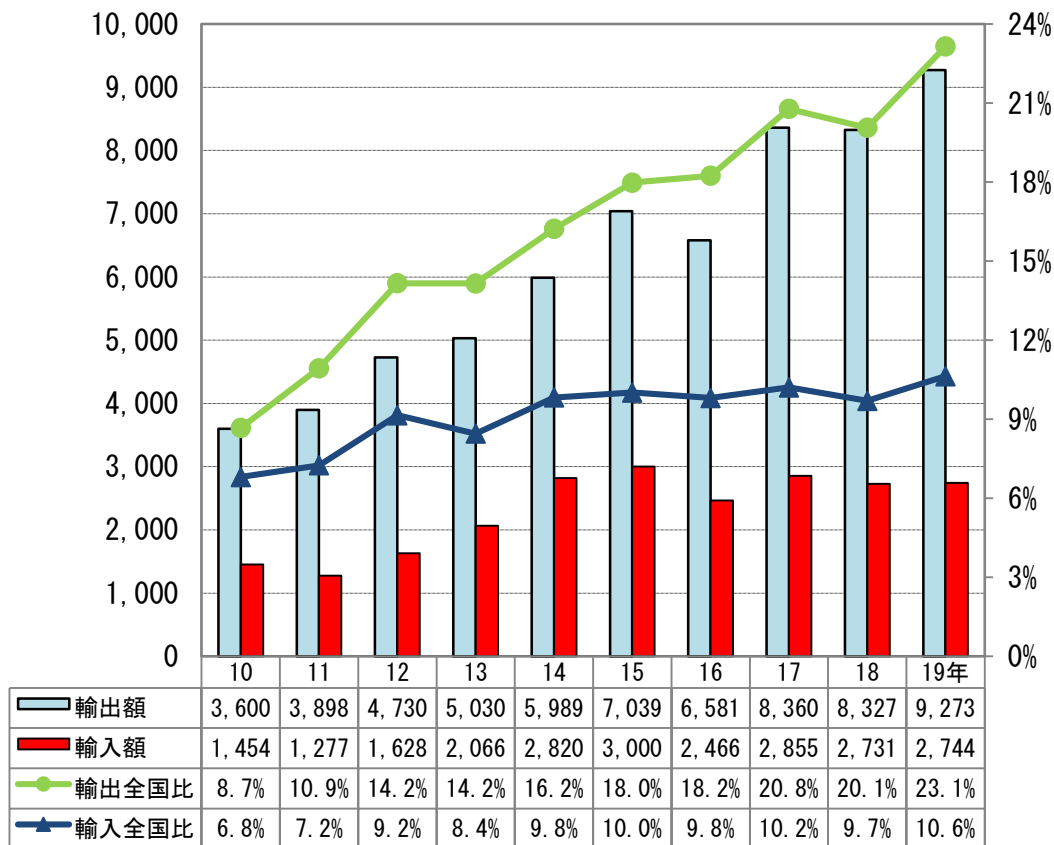


図表3-1-7～8 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

2. 半導体等電子部品

- 2019年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が9,273億円（対前年11.4%増）で過去最高。輸入は2,744億円（対前年0.5%増）で前年より増加。
- 九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、ベトナム
- 九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国

図表3-2-1 九州の半導体等電子部品貿易額の推移
(億円) 全国比(%)



図表3-2-2 半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域(2019年)

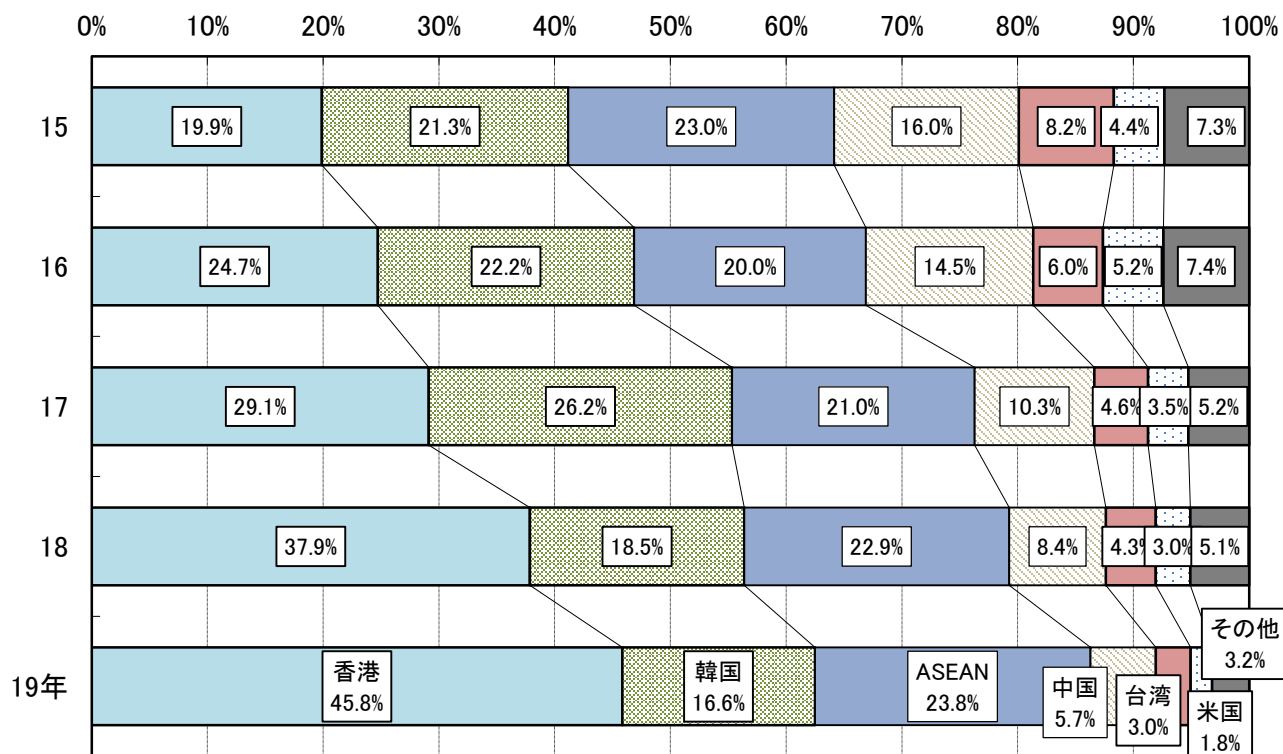
(単位：億円、%)

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	9,806	24.5%	台湾	11,066	42.9%
香港	7,411	18.5%	中国	4,897	19.0%
台湾	7,136	17.8%	米国	2,771	10.7%
韓国	2,475	6.2%	韓国	1,544	6.0%
タイ	2,174	5.4%	マレーシア	1,430	5.5%
その他	11,057	27.6%	その他	4,106	15.9%
計	40,060	100.0%	計	25,814	100.0%
九州			九州		
香港	4,251	45.8%	台湾	1,732	63.1%
韓国	1,543	16.6%	中国	781	28.5%
ベトナム	1,365	14.7%	韓国	72	2.6%
中国	525	5.7%	フィリピン	41	1.5%
タイ	439	4.7%	マレーシア	36	1.3%
その他	1,150	12.4%	その他	82	3.0%
計	9,273	100.0%	計	2,744	100.0%

図表3-2-1～2 出所：財務省貿易統計を基に九州経済産業局作成

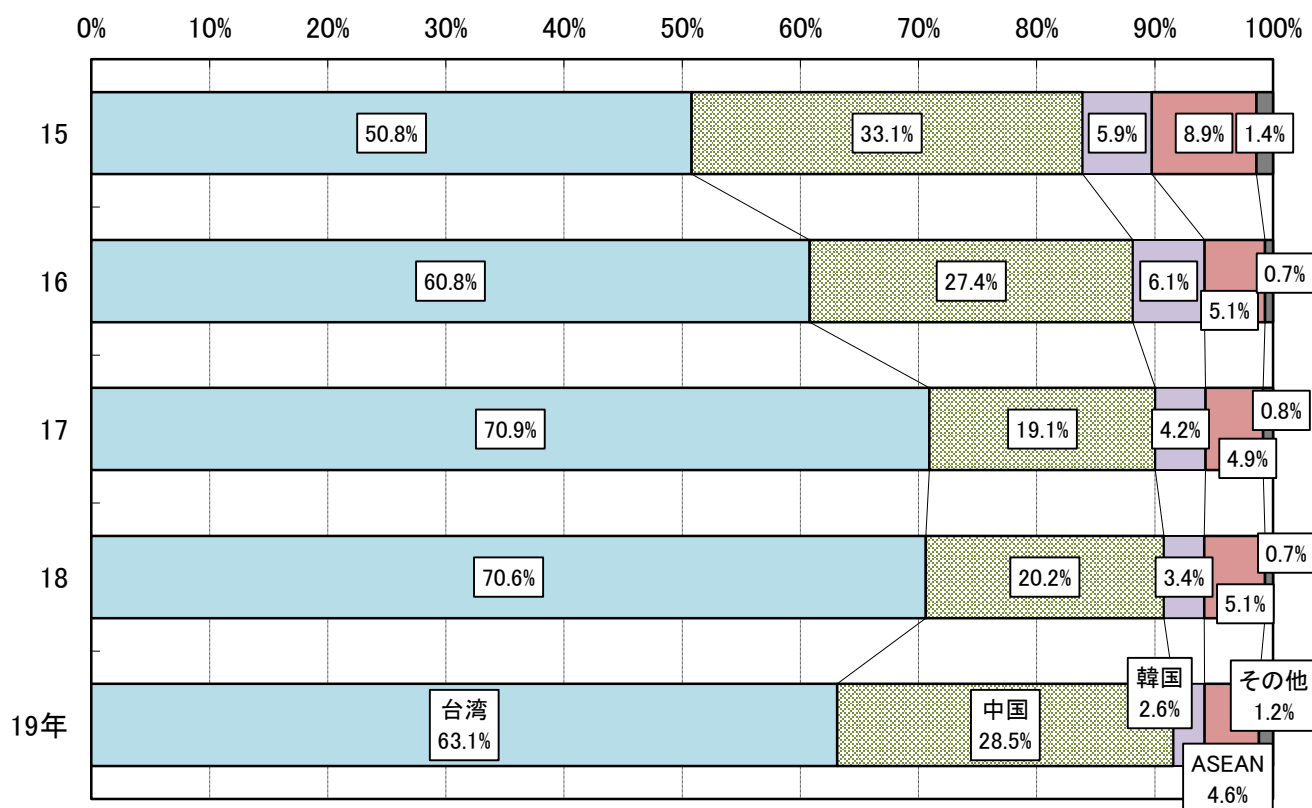
図表3-2-3 九州の半導体等電子部品 輸出相手国地域の推移

(単位：％)



図表3-2-4 九州の半導体等電子部品 輸入相手国地域の推移

(単位：％)

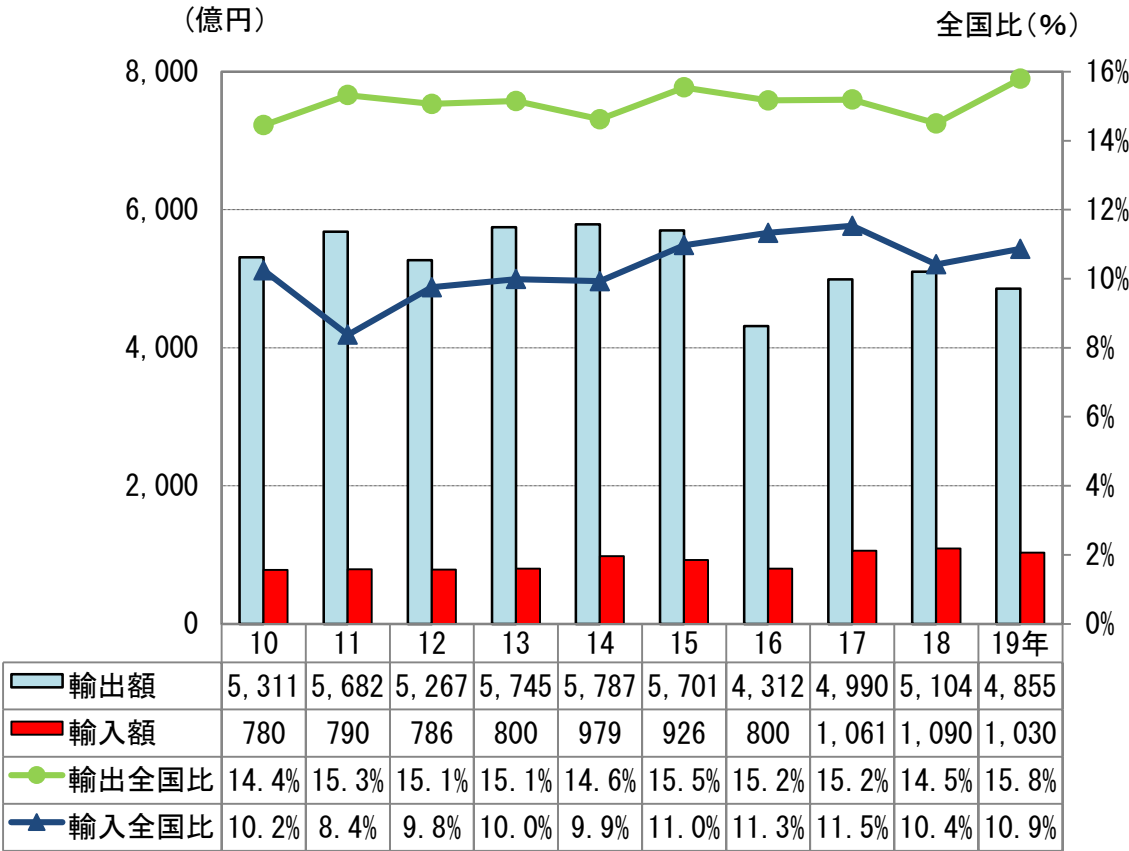


図表3-2-3～4出所：国際自動車工業連合会HP、九州経済産業局資料より九州経済産業局作成

3. 鉄鋼

- 2019年の九州の鉄鋼貿易額は、輸出額4,855億円（対前年4.9%減）、輸入額1,030億円（対前年5.5%減）であり、いずれも3年ぶりの減少
- 輸出先はタイが最も多く、次いで韓国、中国
輸入元は韓国が最も多く、次いで中国、カザフスタン

図表3-3-1 九州の鉄鋼貿易額の推移



図表3-3-2 鉄鋼の主な輸出入相手国・地域（2019年）

（単位：億円、%）

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	4,945	16.1%	韓国	3,392	35.8%
タイ	4,319	14.1%	中国	1,833	19.3%
韓国	4,245	13.8%	台湾	890	9.4%
米国	1,889	6.1%	カザフスタン	533	5.6%
インドネシア	1,855	6.0%	ブラジル	356	3.8%
その他	13,486	43.9%	その他	2,476	26.1%
計	30,740	100.0%	計	9,480	100.0%
九州			九州		
タイ	758	15.6%	韓国	432	41.9%
韓国	589	12.1%	中国	112	10.8%
中国	556	11.5%	カザフスタン	99	9.6%
インド	315	6.5%	ブラジル	94	9.1%
メキシコ	273	5.6%	南アフリカ共和国	90	8.7%
その他	2,365	48.7%	その他	203	19.7%
計	4,855	100.0%	計	1,030	100.0%

図表3-3-1～2 出所：財務省貿易統計を基に九州経済産業局作成

●2019年の九州の粗鋼生産量は15百万トン
→ 日本全体の生産量（99百万トン）の15.1%

図表3-3-3 主要国の粗鋼生産量

（単位：百万トン、%）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	対世界構成比
中国	804	808	831	928	996	51.3%
EU	166	162	168	168	159	9.3%
日本	105	105	105	104	99	5.8%
うち九州	16	16	15	15	15	0.8%
インド	89	95	101	109	111	6.0%
米国	79	78	82	87	88	4.8%
ロシア	91	71	71	72	72	4.0%
韓国	70	69	71	72	72	4.0%
トルコ	32	33	38	37	34	2.1%
ブラジル	33	31	34	35	35	1.9%
その他	152	176	228	196	203	10.8%
世界計	1,620	1,628	1,730	1,808	1,870	100.0%

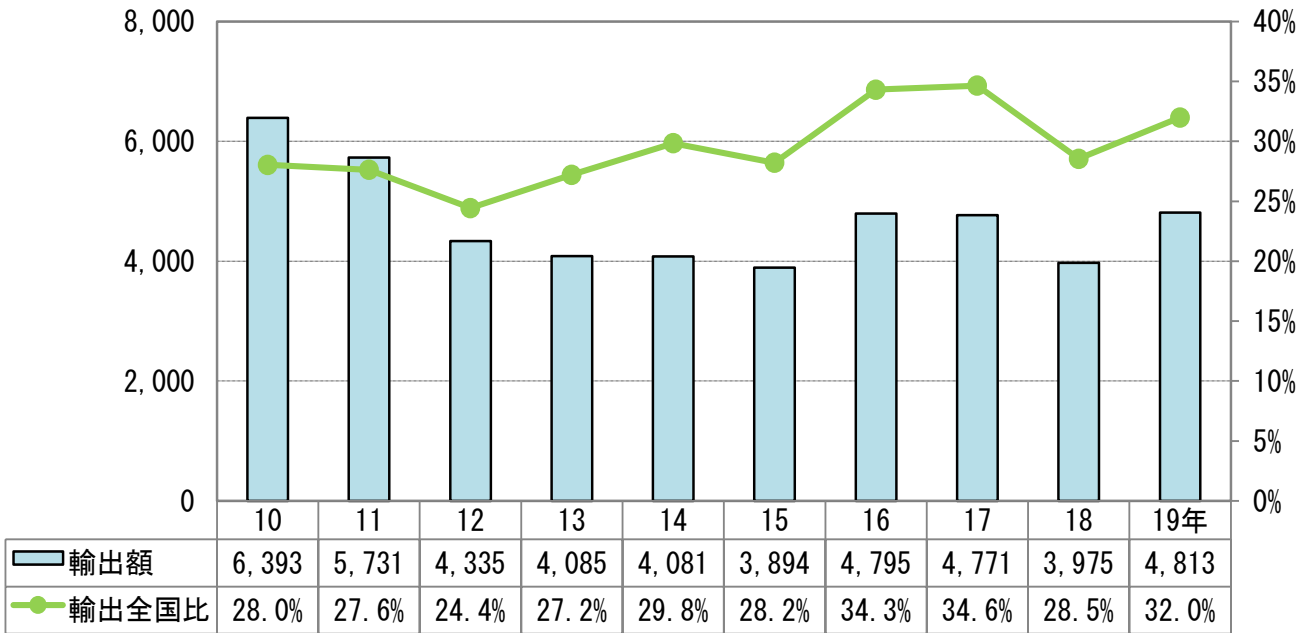
備考：EU（2015～2017）はクロアチアを除く27カ国の計

出所：（一社）日本鉄鋼連盟資料より九州経済産業局作成

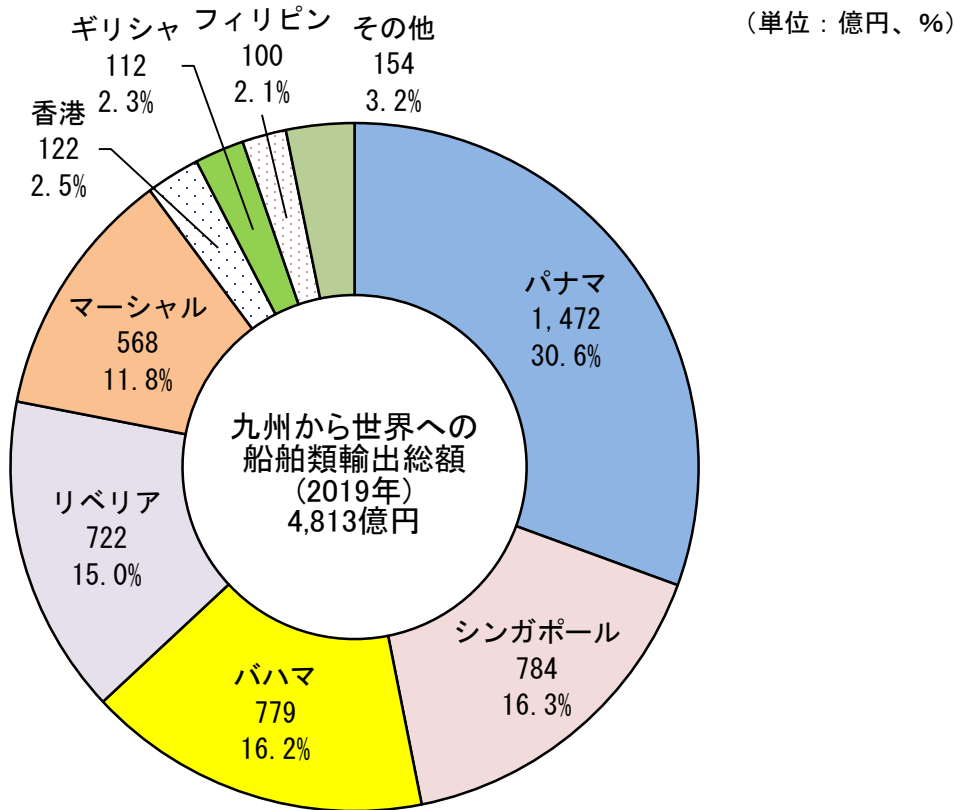
4. 船舶類

- 2019年の九州の船舶類輸出額は4,813億円（対前年21.1%増）で前年より増加。
輸出先はパナマが最も多く、次いでシンガポール、バハマ、リベリア
- 九州の船舶類輸出額は4,813億円
→全国（15,044億円）の32.0%であり、九州の主力輸出品目の一つ

図表3-4-1 九州の船舶類の輸出額推移



図表3-4-2 九州の船舶類の主な輸出相手国・地域（2019年）

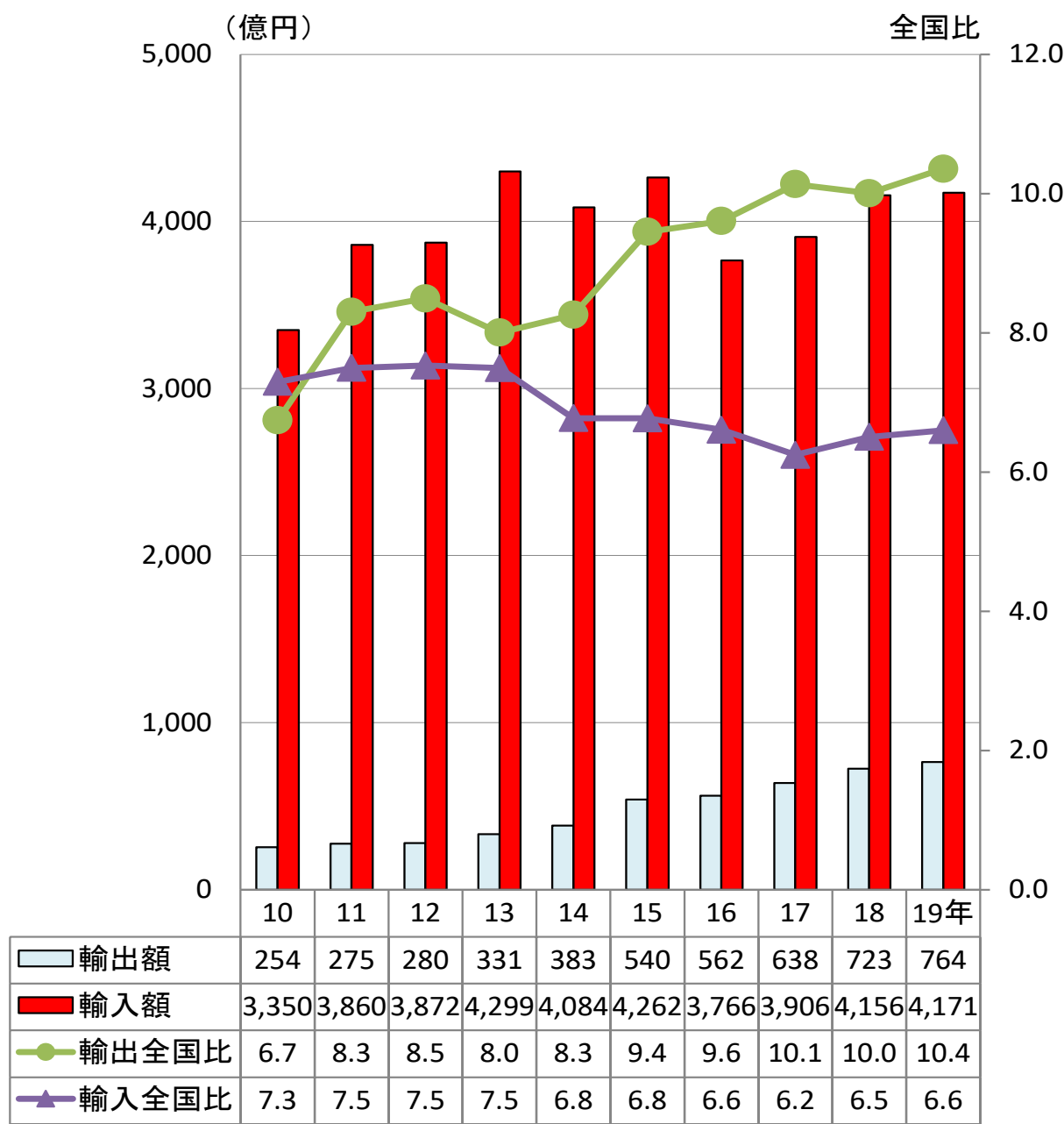


図表3-4-1～2 出所：財務省貿易統計を基に九州経済産業局作成

5. 食料品

●2019年の九州の食料品貿易額は、輸出額 7 6 4 億円（前年比5.7%増）、輸入額 4,171 億円（前年比0.4%増）
→ 輸出は毎年増加を続けている。輸入は増減を繰り返しつつ、大幅な輸入超過が続く。

図表3-5-1 九州の食料品貿易額の推移



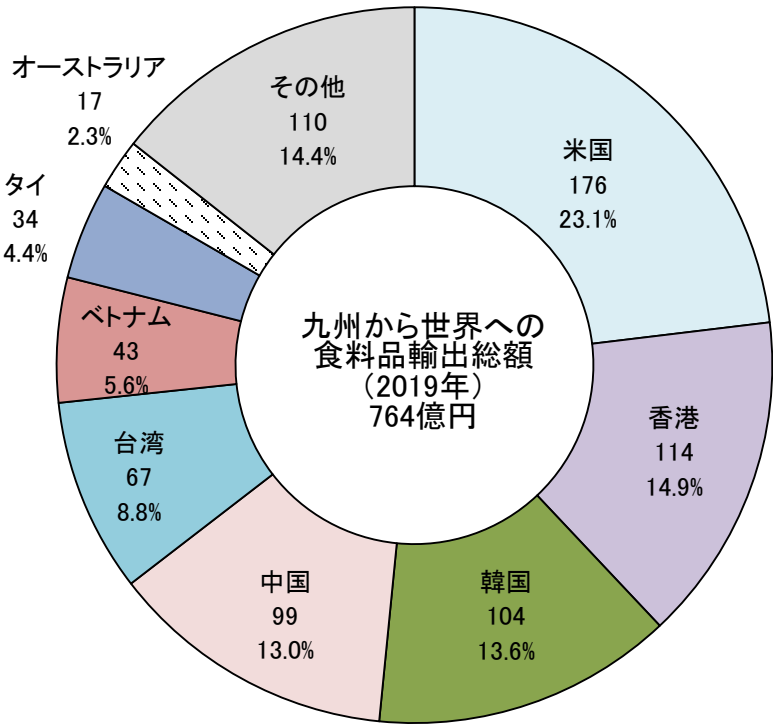
備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したものから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータを基に九州経済産業局作成

- 輸出はアジアや米国向けが多く、品目としては魚介類及び同調製品が5割近くを占めた。
- 輸入は北米やアジアのほか、中南米や大洋州など、より多様な国々との取引となっており、品目としては穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品で5割を超えた。

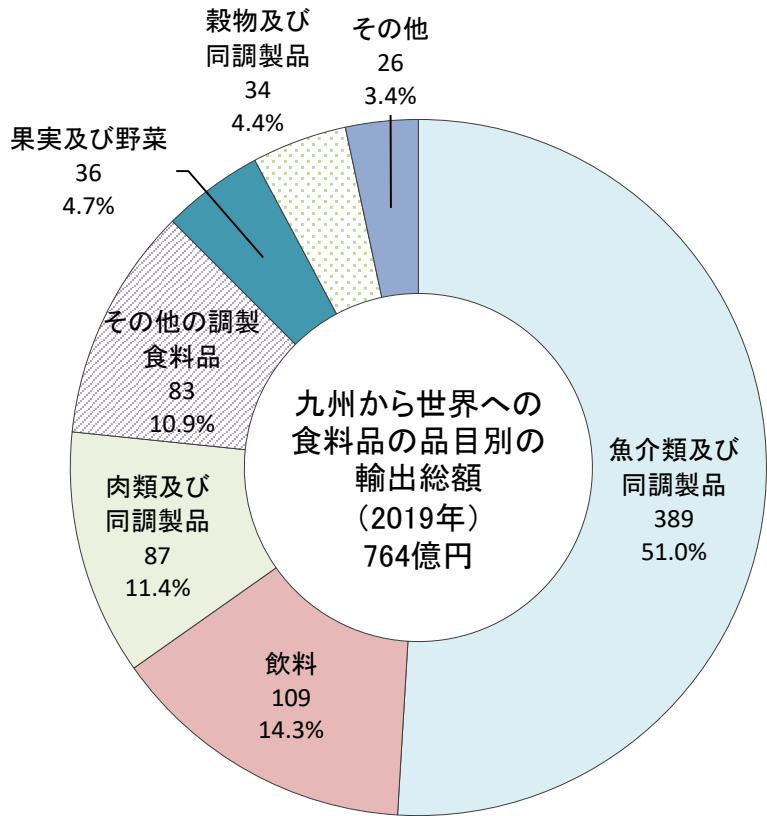
図表3-5-2 九州の食料品の国・地域別輸出額

(単位：億円、%)

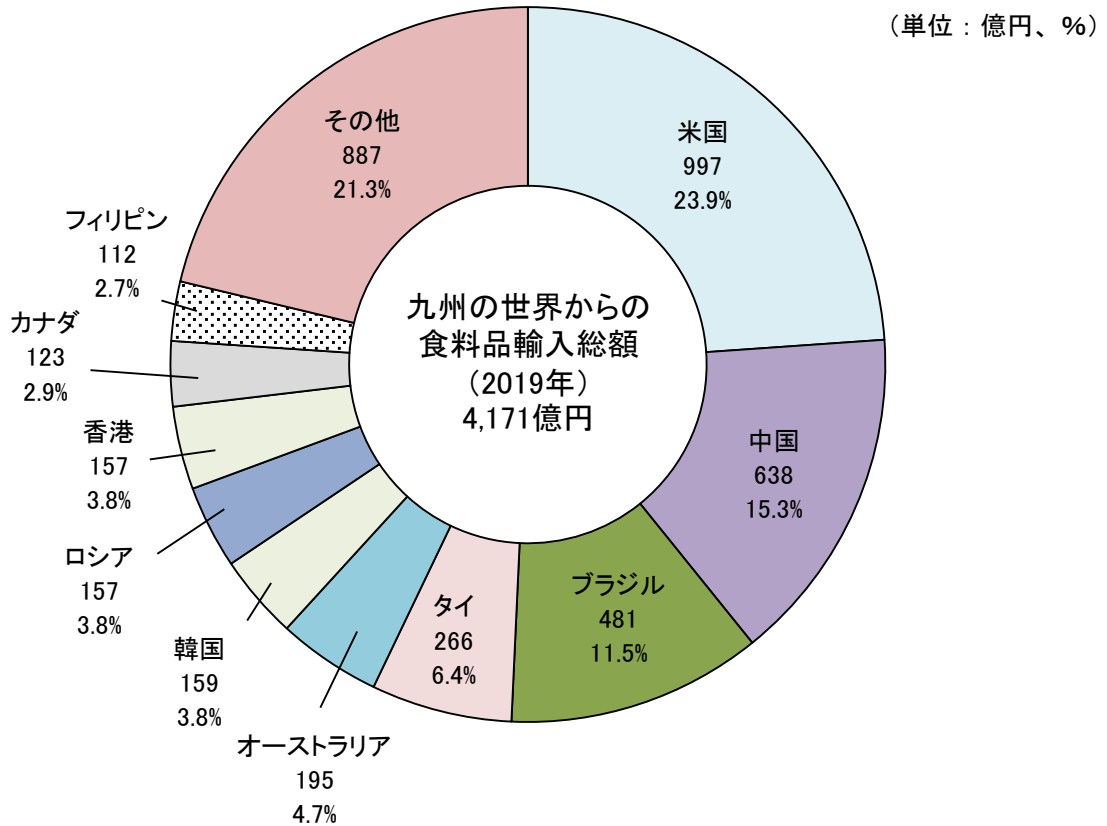


図表3-5-3 九州の食料品の品目別輸出額

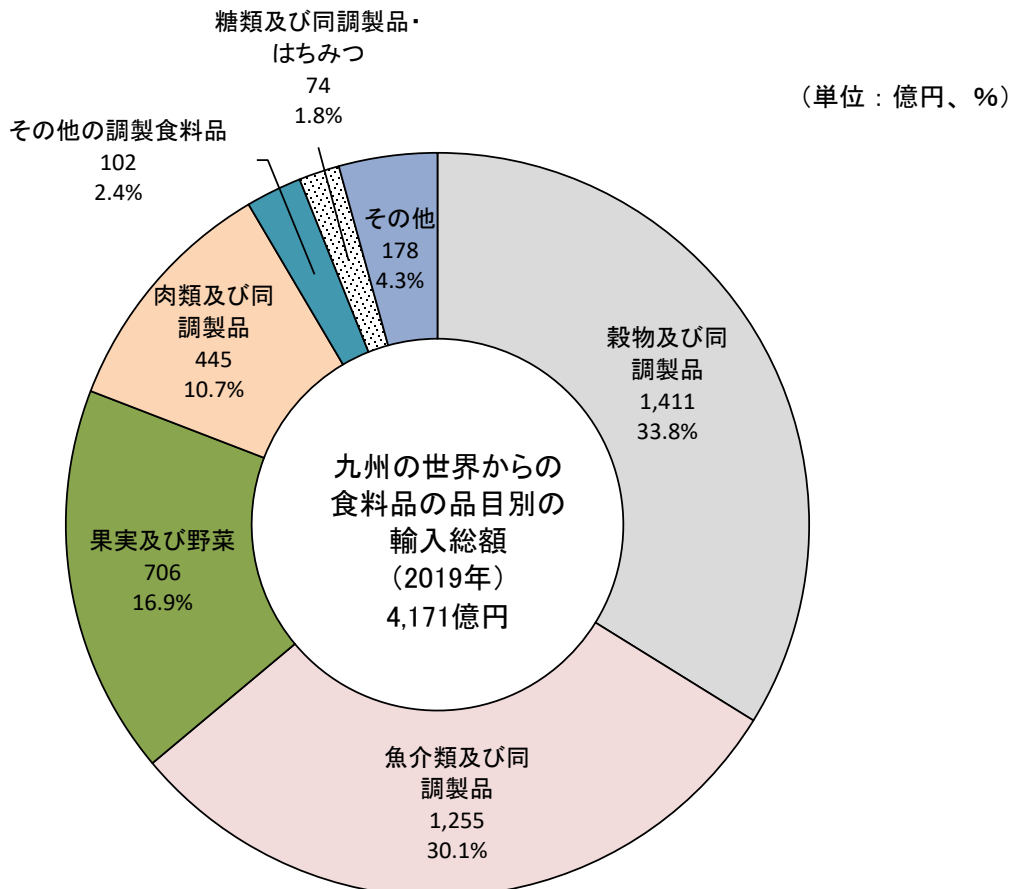
(単位：億円、%)



図表3-5-4 九州の食料品の国・地域別輸入額



図表3-5-5 九州の食料品の品目別輸入額



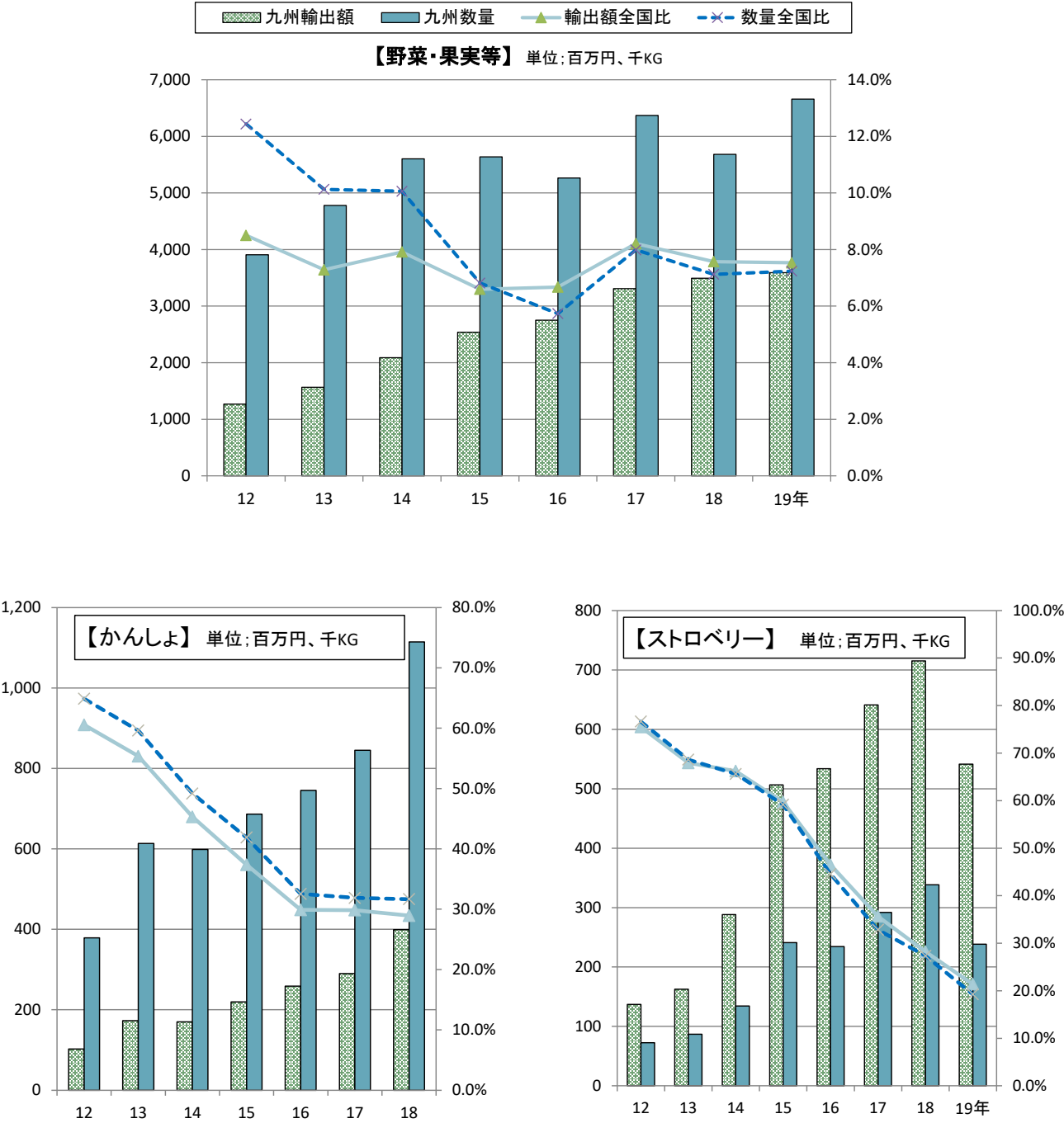
6. 農林水産物及び加工品

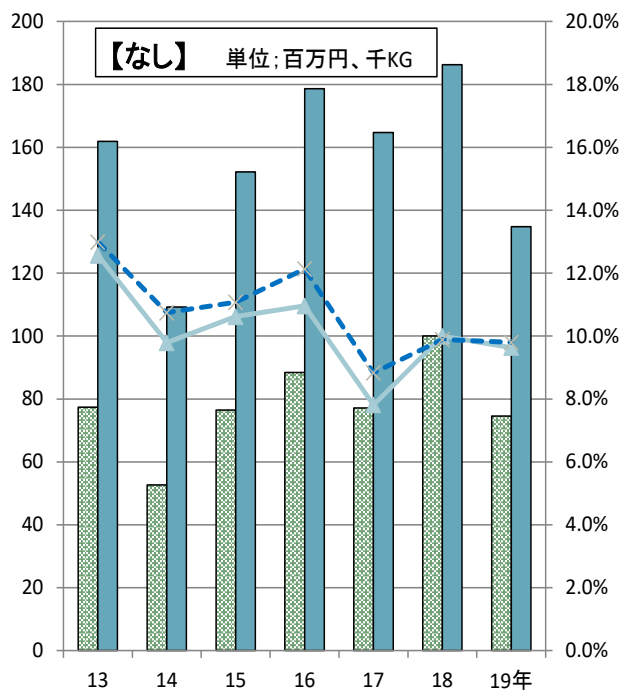
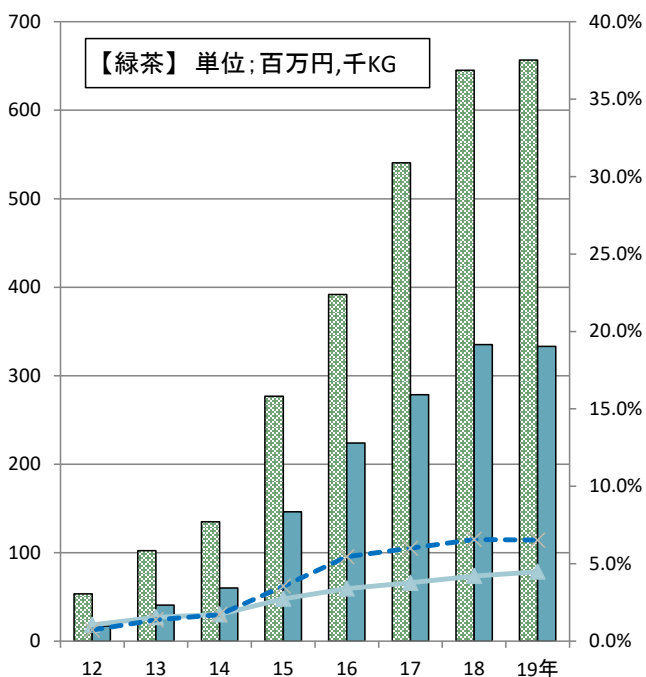
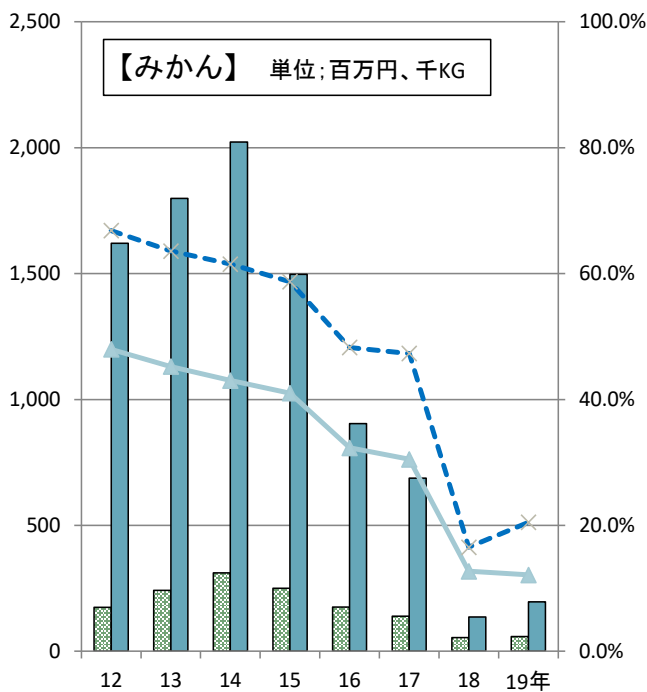
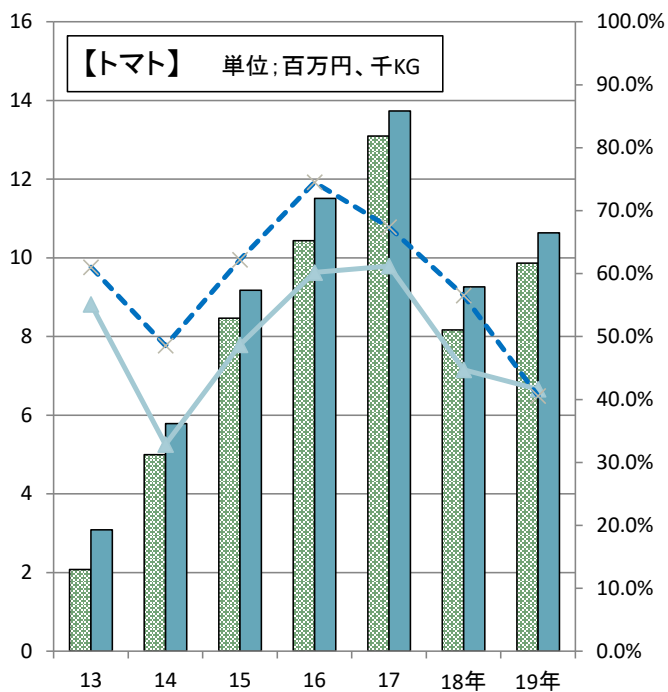
●九州の主要な農林水産物は、輸出額・輸出数量ともに概ね増加傾向が続いており、全国比としては横ばい傾向にある。

図表3-6-1 九州の主要な農林水産物の輸出額・数量推移

①野菜・果物等

○輸出額・数量について、かんしょ、緑茶は近年一貫して増加傾向。
○輸出額・数量の全国比について、トマト、かんしょ、ストロベリーは20%以上と比較的高いものの、傾向としては総じて横ばいもしくは減少。





備考：備考：HSコードは次のとおり

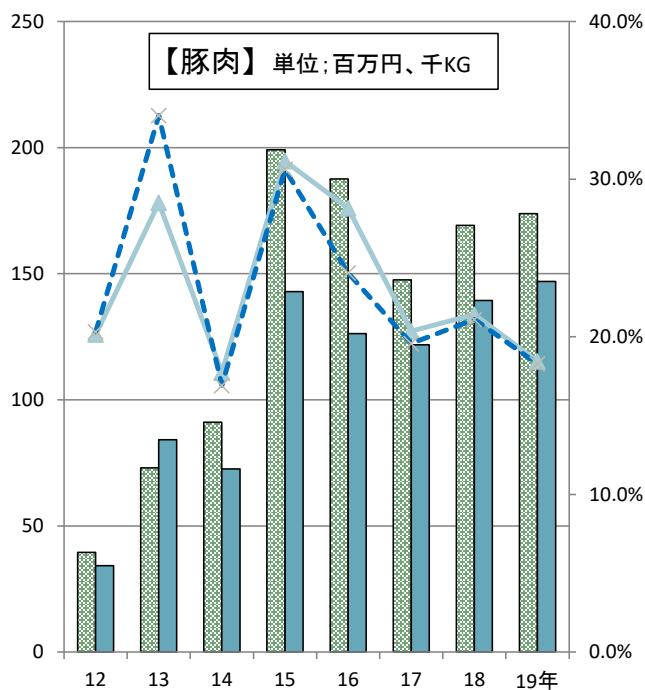
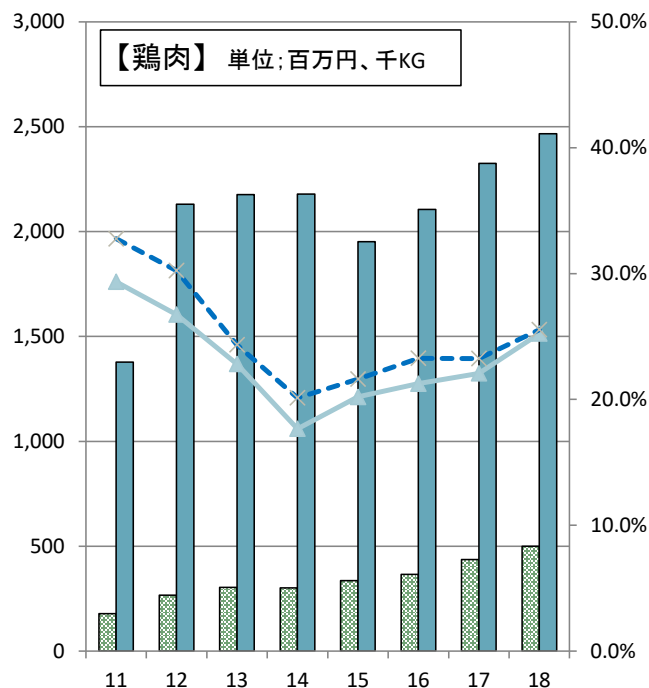
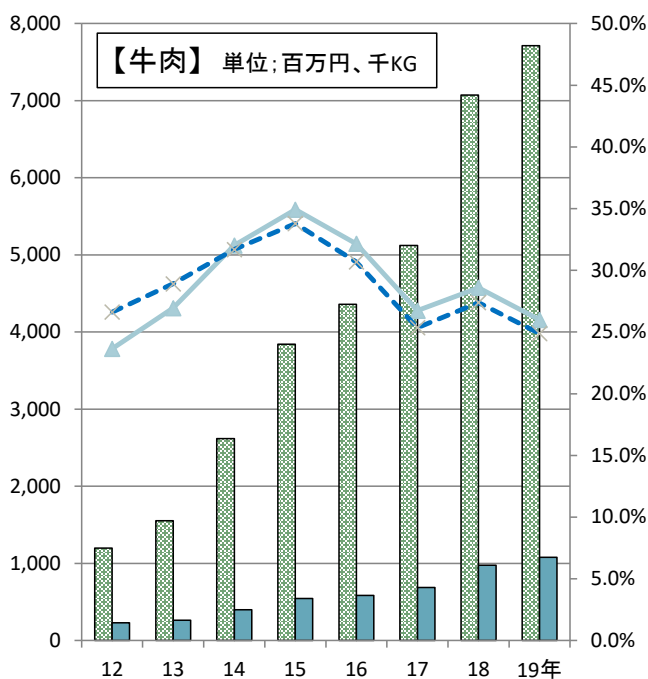
【かんしょ】 071420、【ストロベリー】 081010、【トマト】 070200、【みかん】 080521、
【緑茶】 090210、090220、【なし】 080830

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

②肉類

○九州産肉類の輸出額・数量は概ね増加傾向。特に牛肉の輸出額は、2012年から6倍以上増加。
○全国比も牛肉・鶏肉は約25%、豚肉は約18%と総じて高い。

九州輸出額 九州数量 輸出額全国比 数量全国比



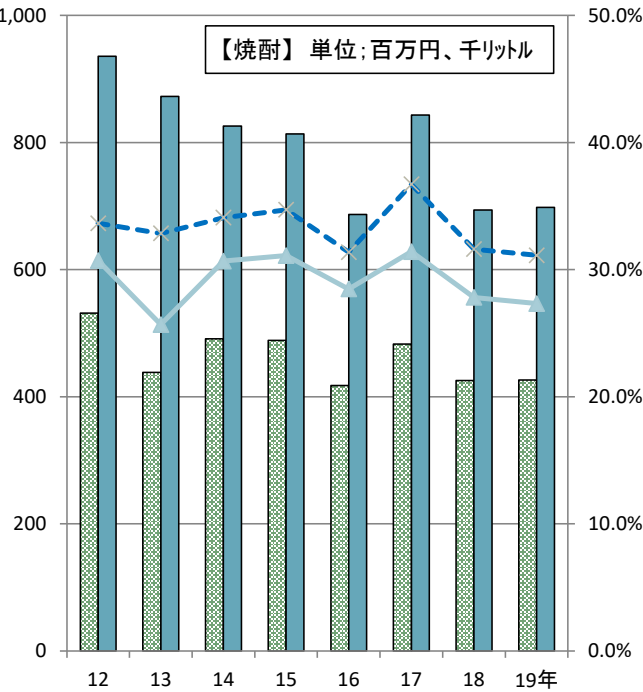
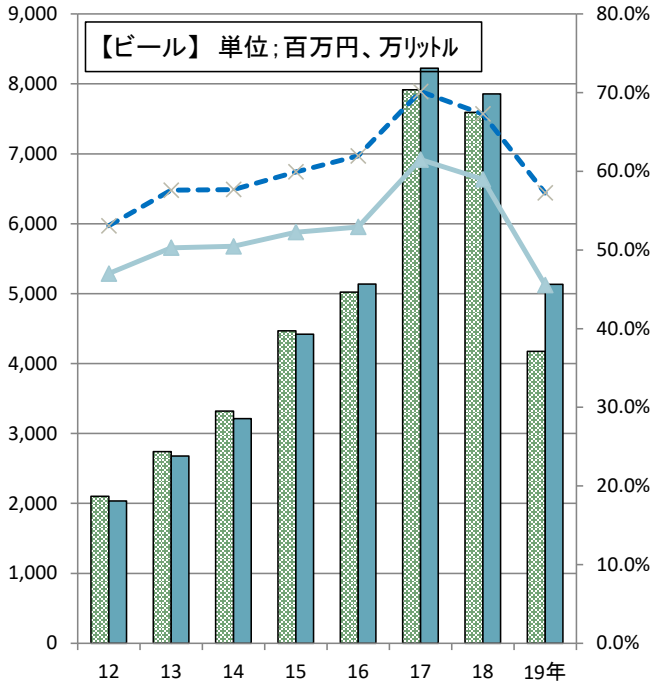
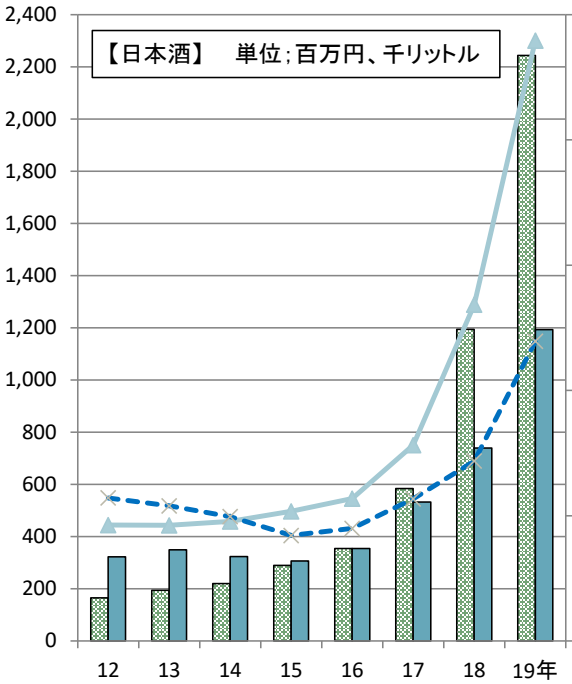
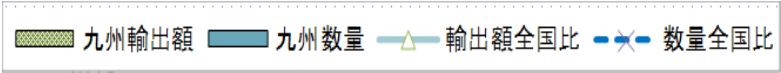
備考：HSコードは次のとおり

【豚肉】 0203、【鶏肉】 020711、020712、020713、020714、【牛肉】 0201、0202、020610、020629

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

③酒類

○日本酒の輸出額・数量は大幅増加。特に輸出額は2018年の1.8倍以上、2012年の13倍以上、輸出額の全国比も9.6%と伸びた。



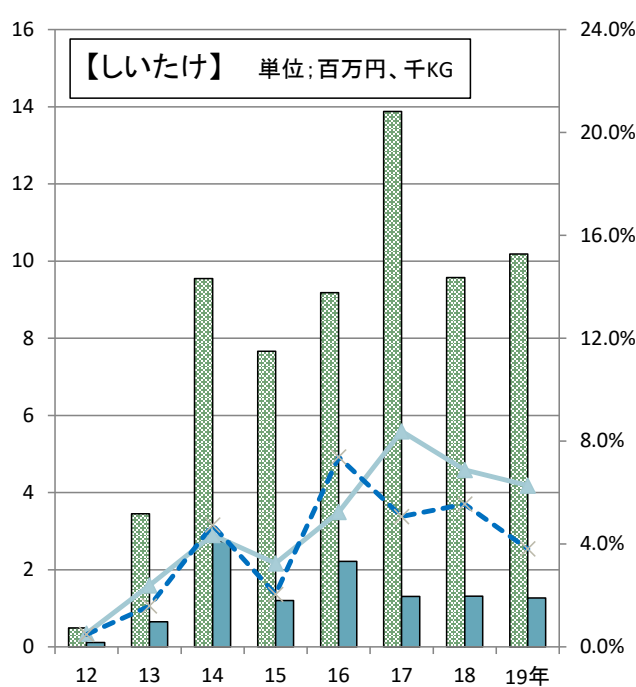
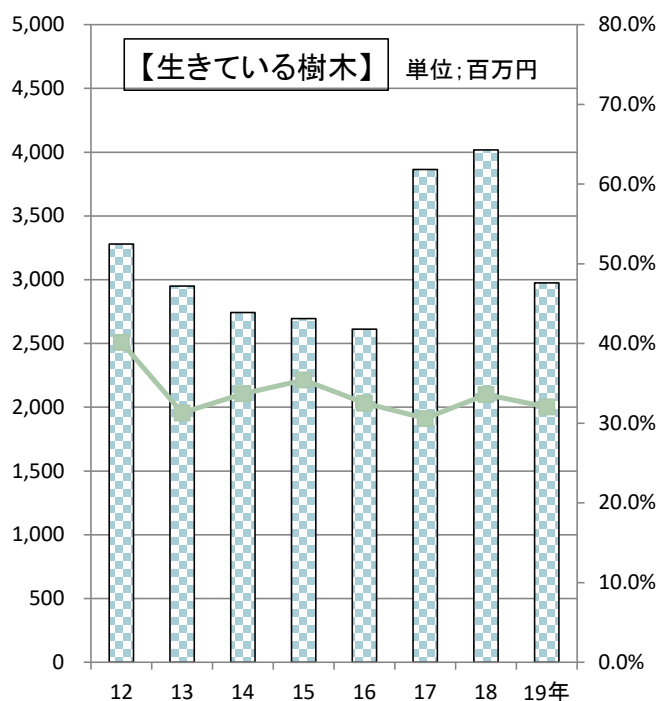
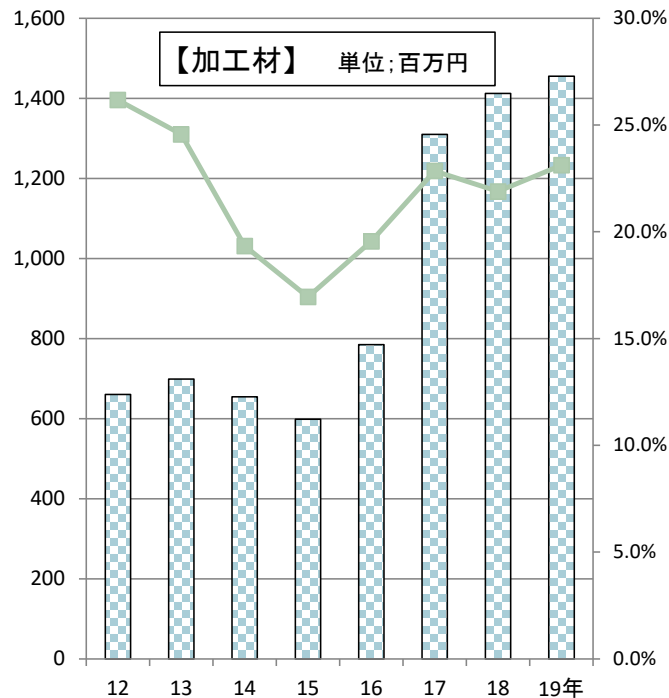
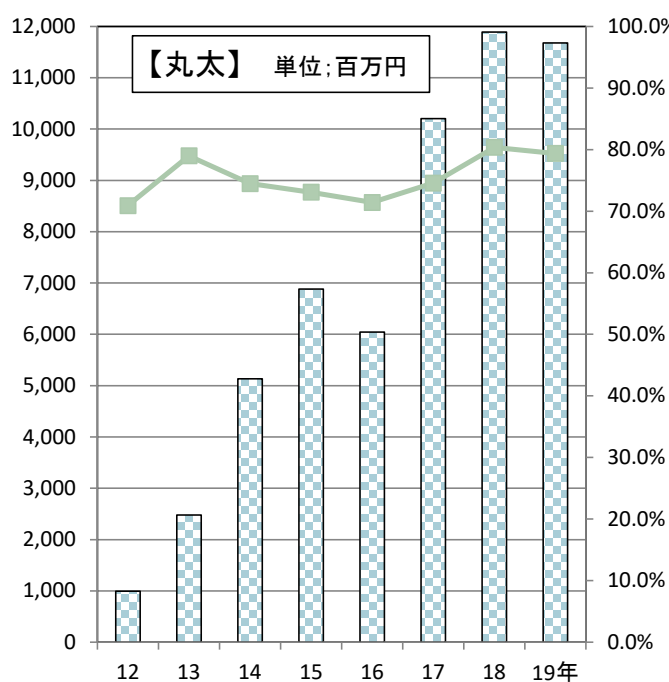
備考：HSコードは次のとおり
【ビール】 2203、【焼酎】 220890100、【日本酒】 220600200
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

④林産物

○丸太の輸出額・数量は2018年に比べ微減となったが、全国比79.4%と依然として高い水準を維持。

○加工材の輸出額、全国比はともに近年増加傾向。

九州輸出額 輸出額全国比



備考：HSコードは次のとおり

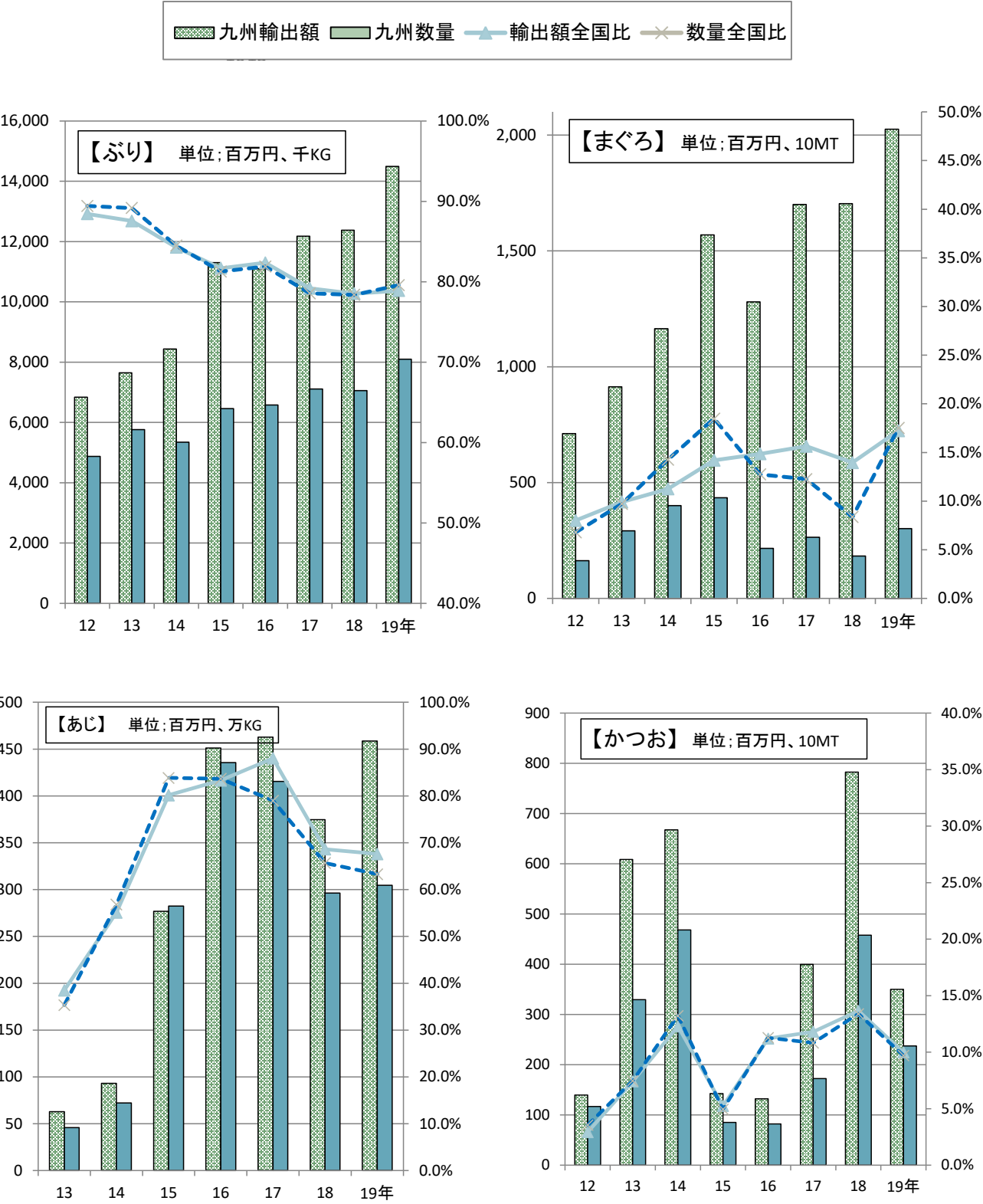
【植木】 060230、060240、060290110、060290190、060290900、【丸太】 4403、

【加工材】 4407、4409、【しいたけ】 071239100

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

⑤魚介類

○ぶりの輸出額がもっとも大きく、全国に占める割合も高い。



備考：HSコードは次のとおり
【ぶり】 030449200、030459200、030489200 【まぐろ】 概況品00701012
【かつお】 概況品00701011 【あじ】 030245、030355

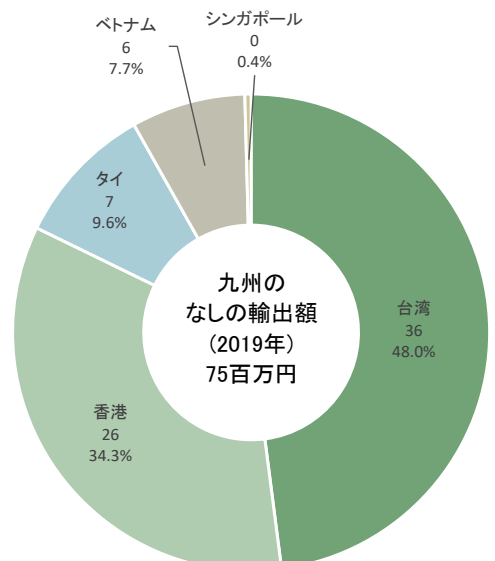
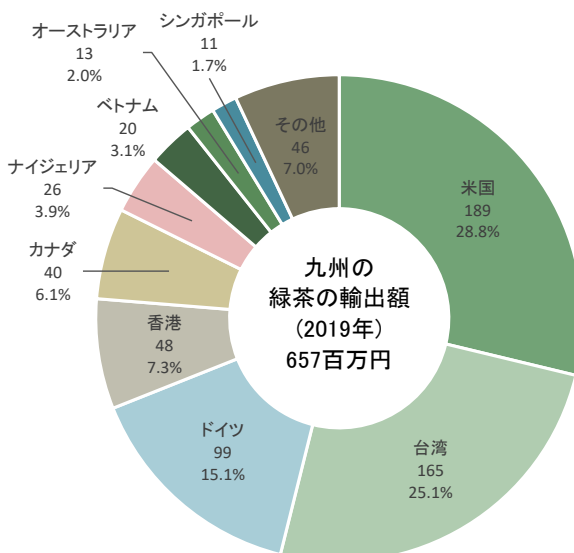
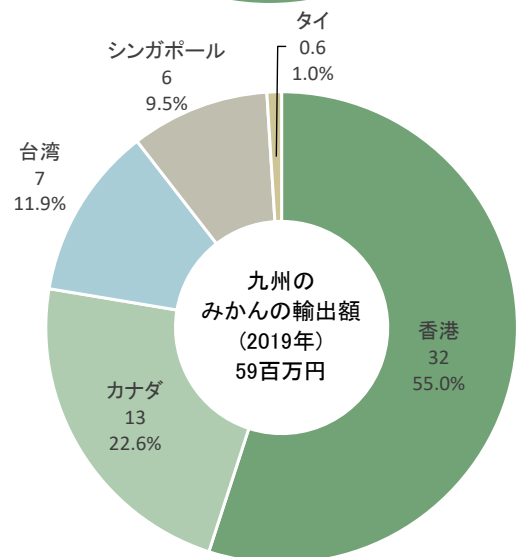
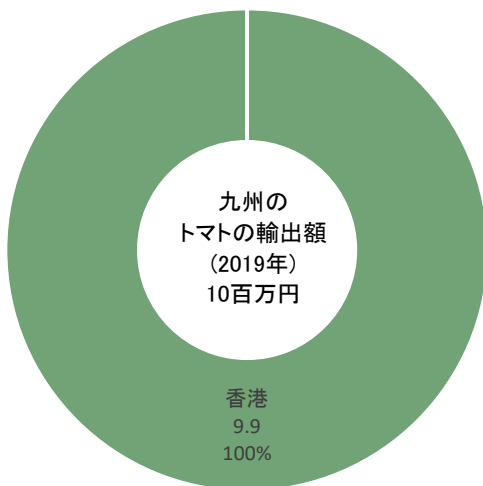
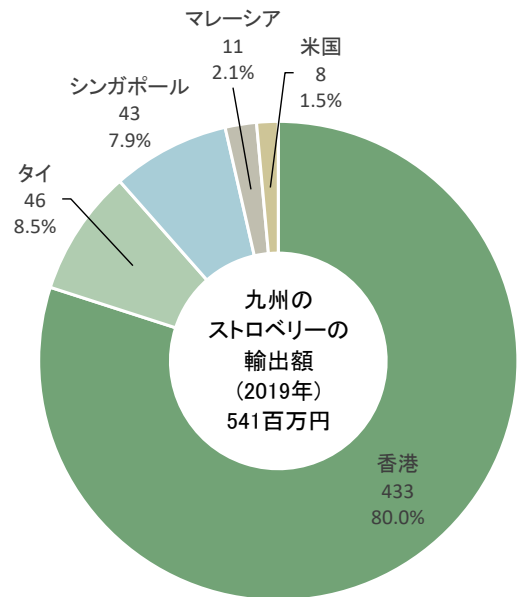
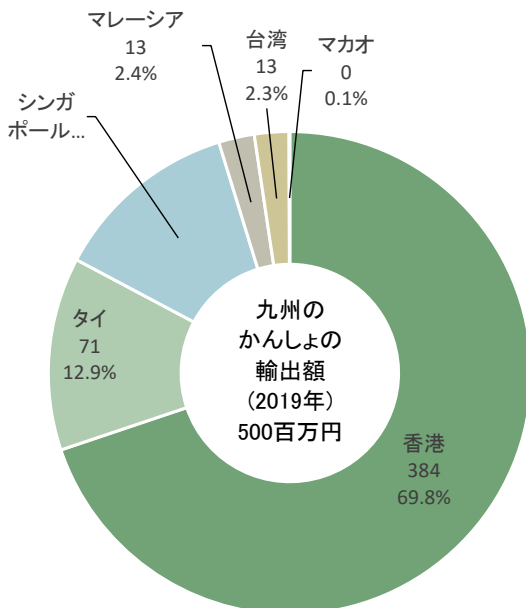
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

図表3-6-1 九州の主要な農林水産物の輸出先

①野菜・果物等

○香港向けの輸出が多く、特にかんしょ、ストロベリー、トマト、みかん等は第一位の輸出先。
○緑茶はアジアのみならず、米国やドイツなど欧米等にも輸出されている。

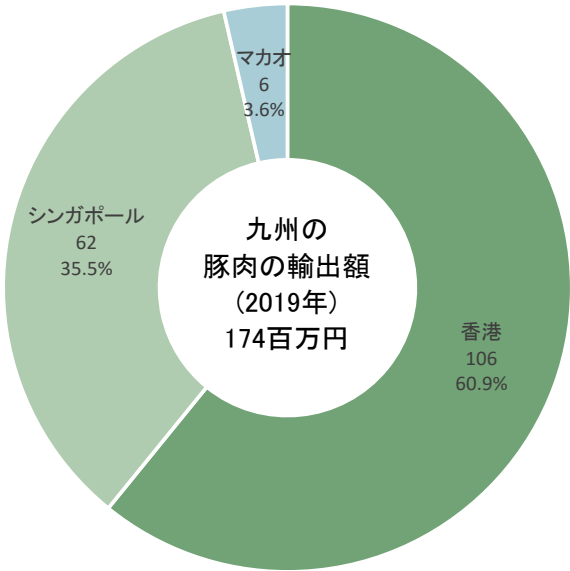
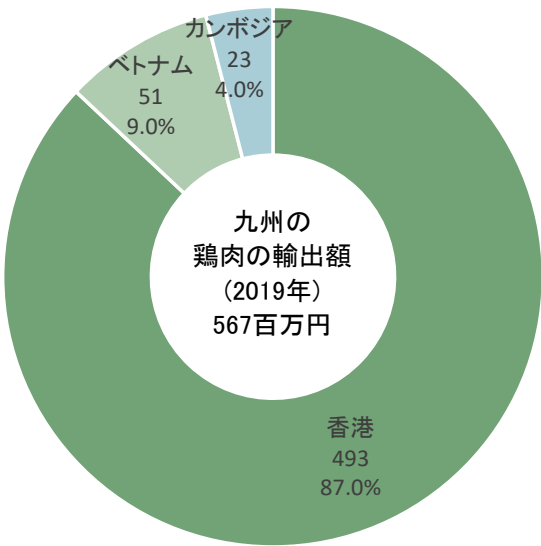
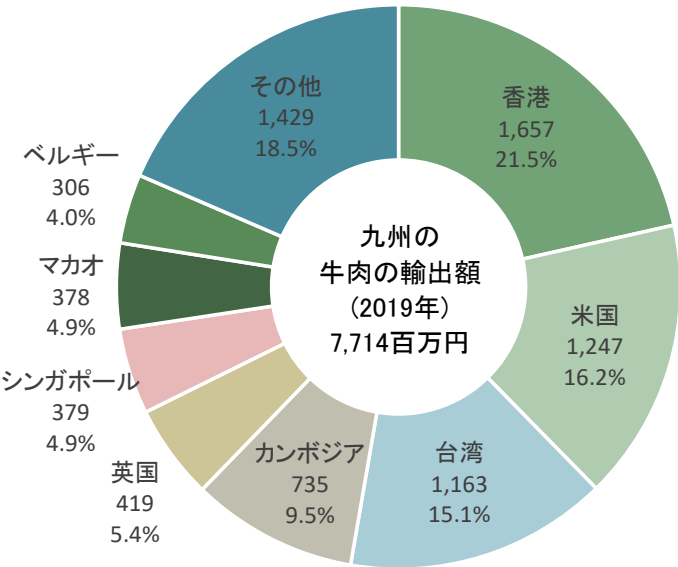
(単位：百万円、%)



②肉類

○豚肉、鶏肉、牛肉ともに輸出先は香港が第1位。
○牛肉については、米国や英国、ベルギーなど欧米への輸出も増加。

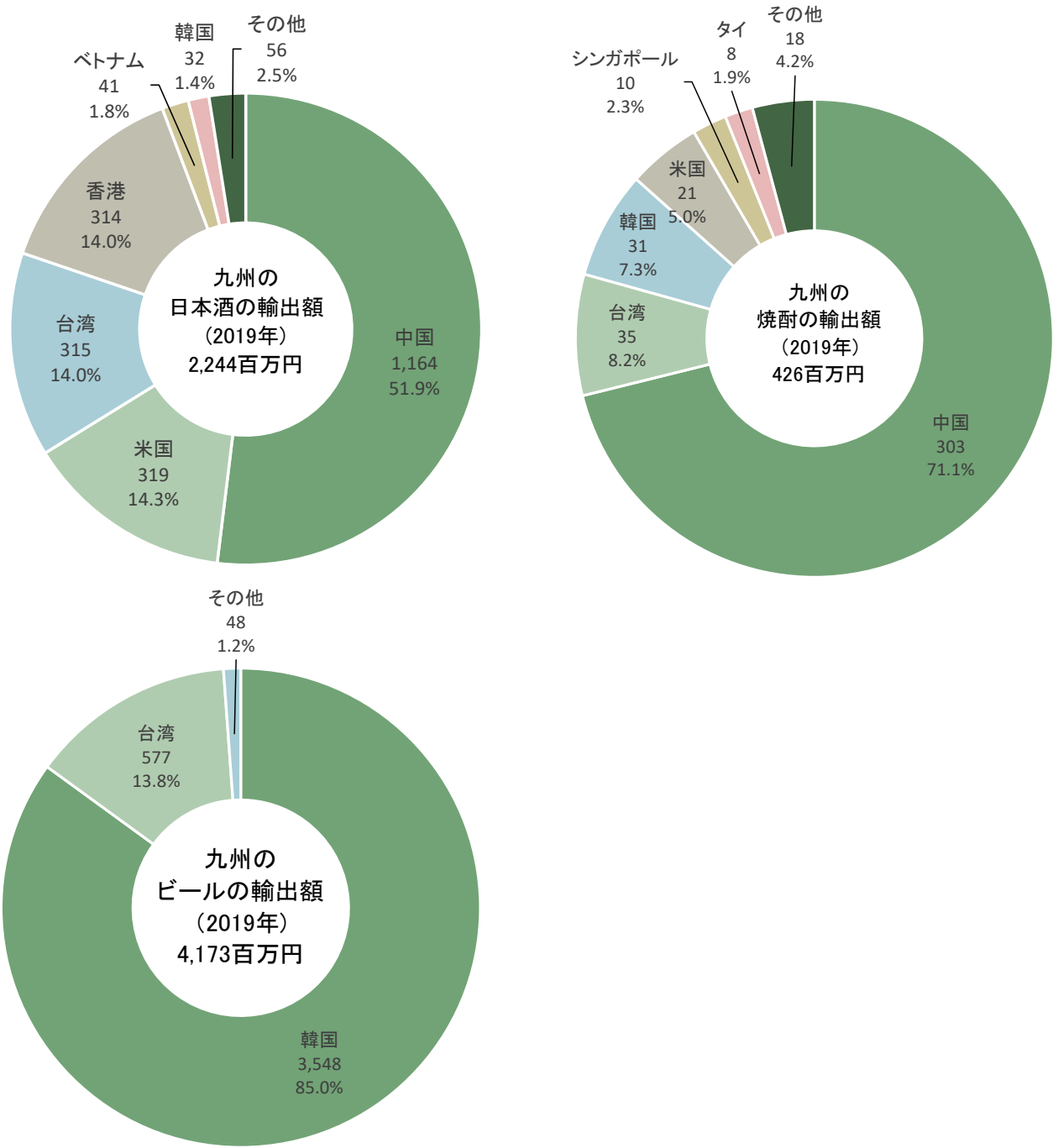
(単位：百万円、%)



③酒類

○日本酒と焼酎は中国、ビールは韓国が最大の輸出先。米国以外は総じてアジア向けの輸出となっている。

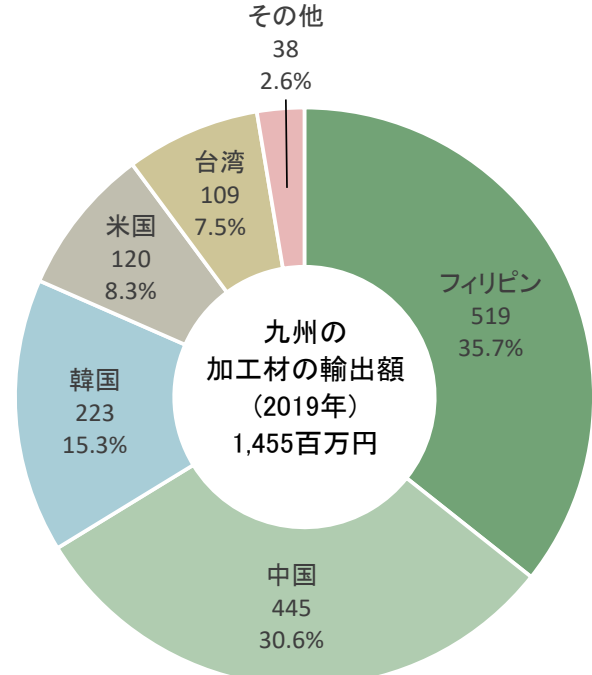
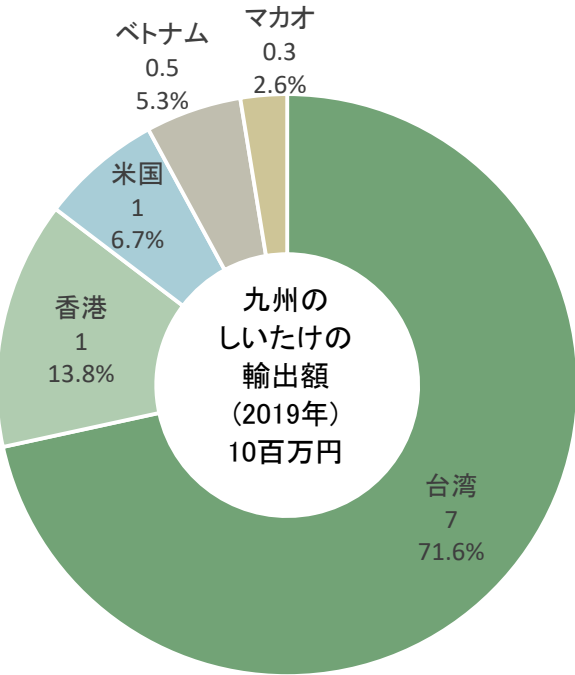
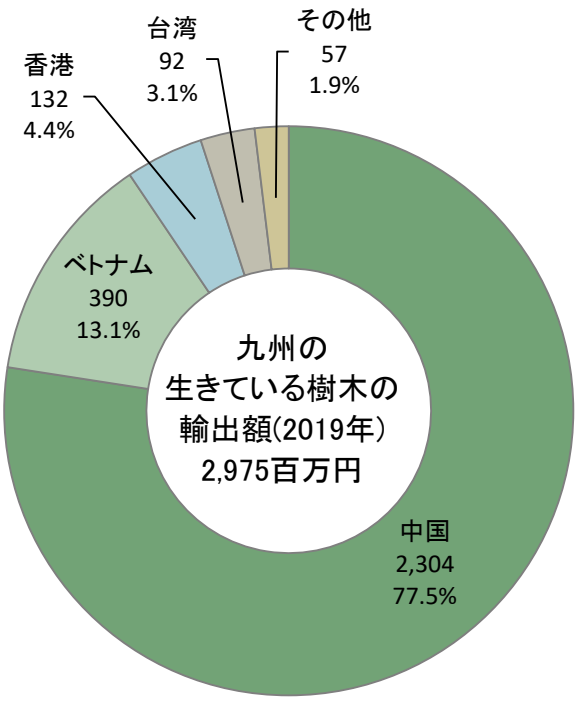
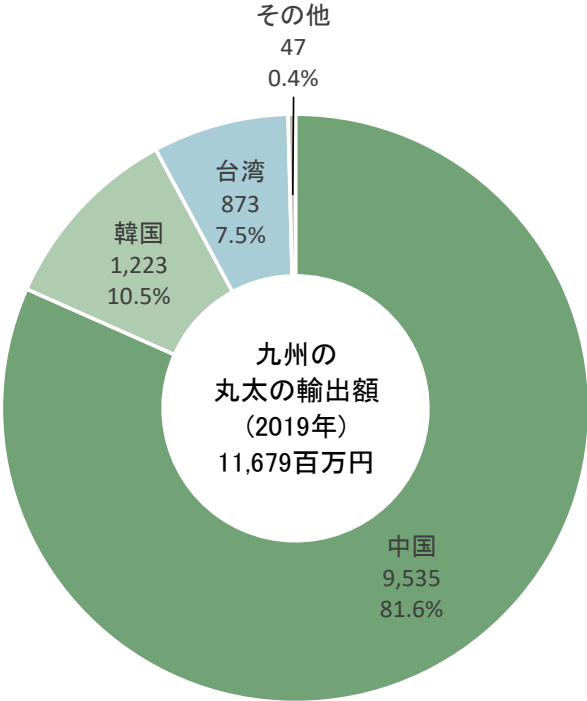
(単位：百万円、%)



④林産物

○林産物の輸出はアジア向けが大半を占めている。
丸太及び植木は中国、加工材はフィリピン、しいたけは台湾が最大の輸出先となっている。

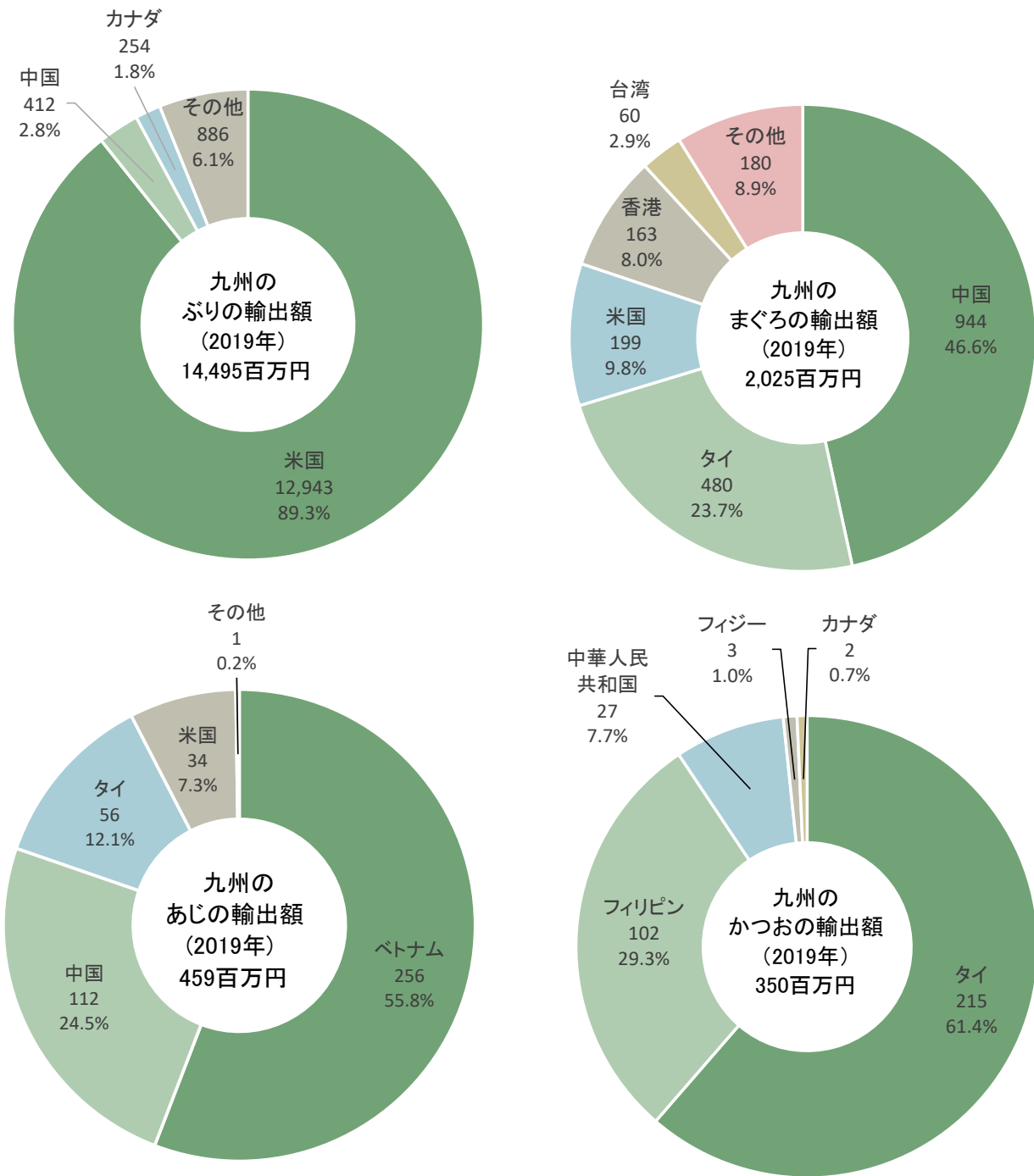
(単位：百万円、%)



⑤魚介類

○魚介類の輸出先については、米国向けが多く、特に、ぶり1位、まぐろ3位、あじ4位。

(単位：百万円、%)



図表3-6-1～2出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

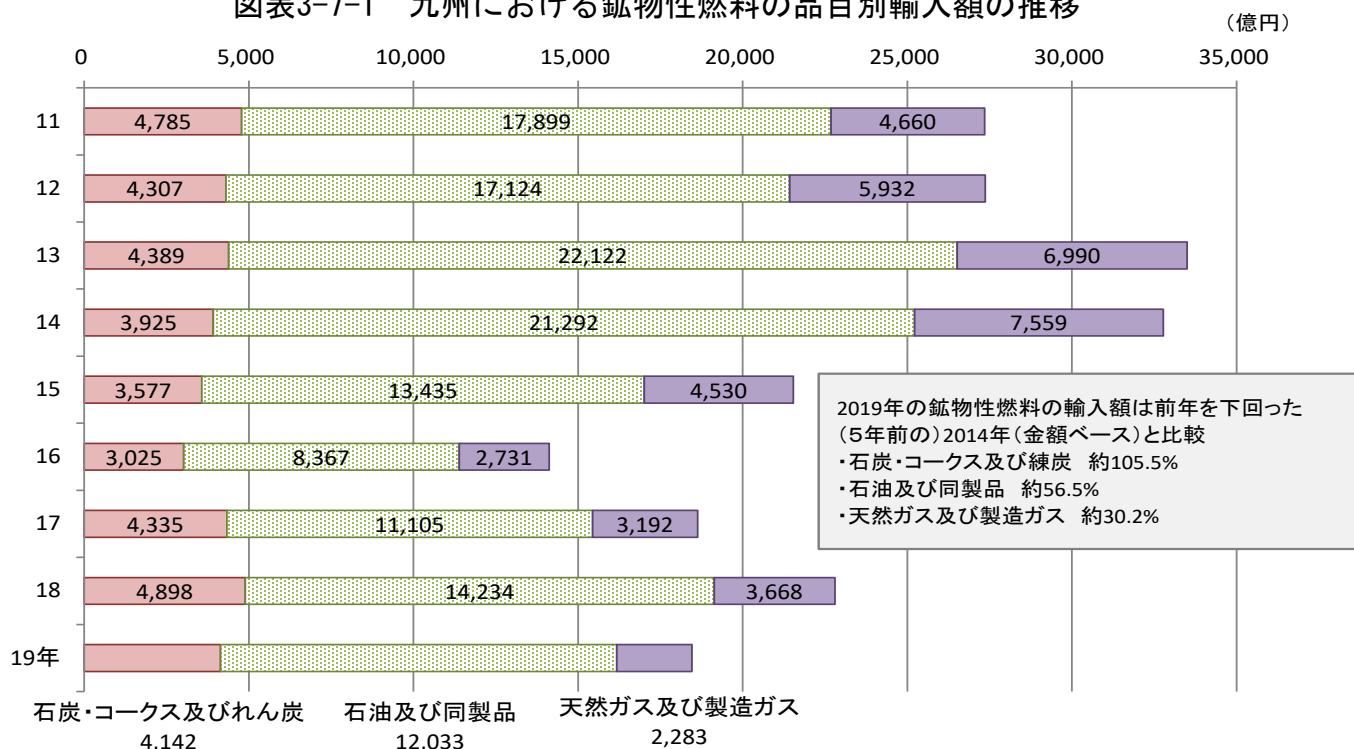
7. 鉱物性燃料

●2019年の九州の鉱物性燃料の輸入額は、1兆8,458億円（対前年▲19.0%）

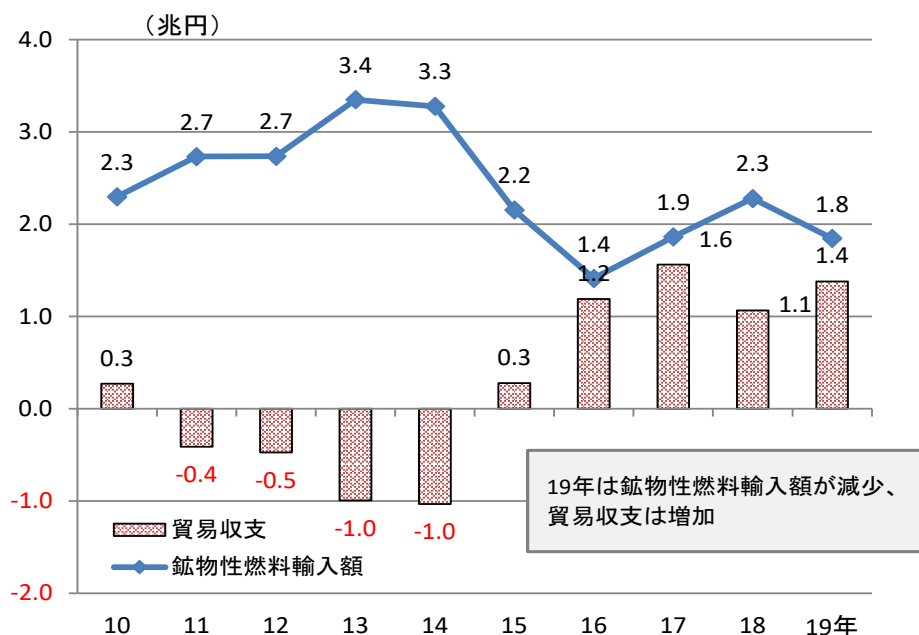
→ 3年ぶりの減少。品目別でも、石炭・コークス及びびれん炭、石油及び同製品、天然ガス及び製造ガスのいずれも輸入額が前年より減少。

※本章については、2011年の東日本大震災以降、鉱物性燃料の需要増により、九州においても輸入額が増加し、域内の貿易収支が赤字になるなどの影響があったため、その経過について分析を行ってきたもの。2014年までは輸入額の増加や高止まりの傾向があったものの、2015年からは大幅な減少に転じた。以降、増減はあるものの、震災直後のような増加は見られず、貿易収支も黒字の状態が続いている。

図表3-7-1 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移



図表3-7-2 九州における鉱物性燃料の輸入額と貿易収支の推移

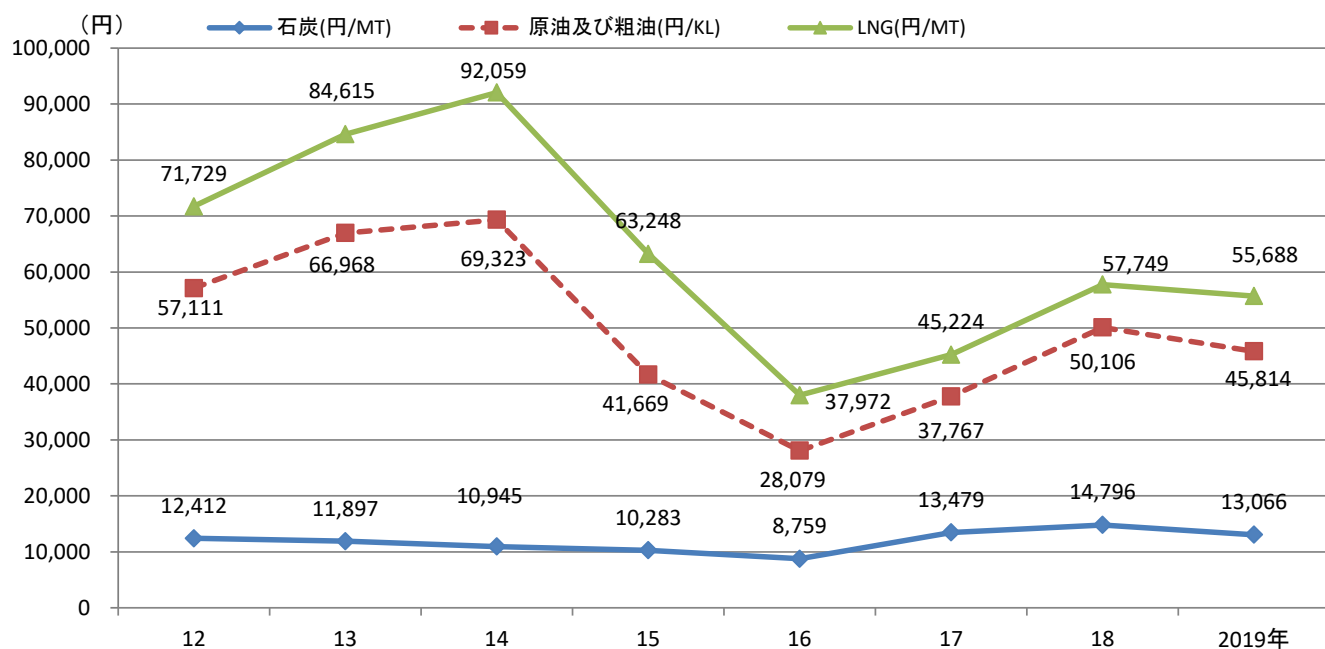


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータを基に九州経済産業局作成。

●2019年の主な鉱物性燃料の輸入数量は、石炭、原油及び粗油、LNGのいずれも前年に比べて減少。

図表3-7-3 九州の主な鉱物性燃料の輸入単価

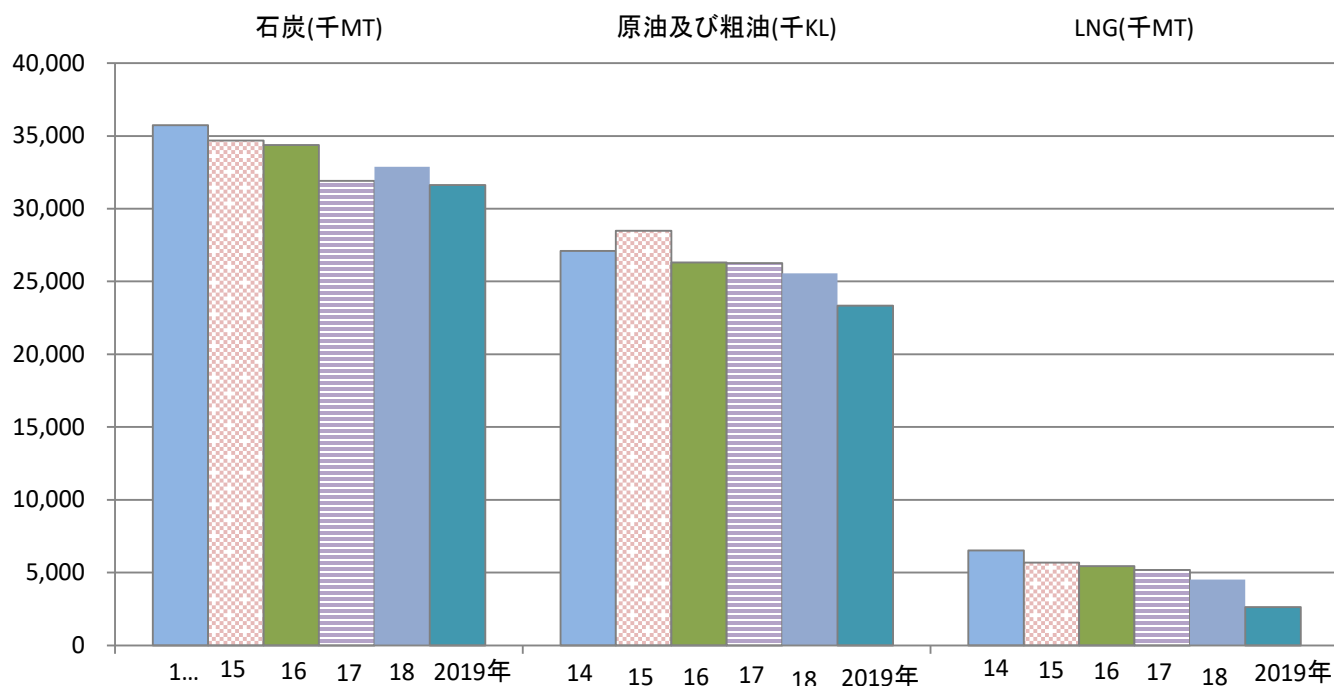
(単位：円／MTメトリックトン、円／KLキロリットル)



備考：それぞれの輸入単価は隔年の輸入金額を輸入数量で割った値

図表3-7-4 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移

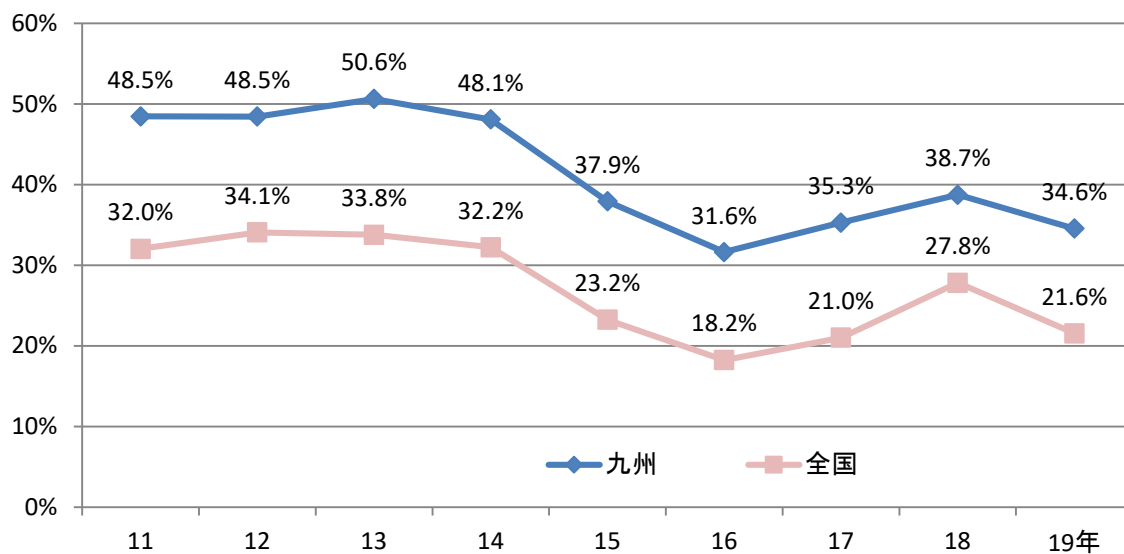
(単位：億円、%)



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表3-7-5 九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合

(単位：億円、%)



図表3-5-4～5出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

巻末資料1 九州及び日本の貿易の推移

	九 州						全 国				対米ドル 為替レート (円)
	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	
1979 (昭和54)	11,983	7.5	5.3	23,484	55.1	9.7	225,315	9.6	242,454	44.9	219.14
1980 (昭和55)	15,387	28.4	5.2	34,234	45.8	10.7	293,825	30.4	319,953	32.0	226.74
1981 (昭和56)	17,511	13.8	5.2	34,457	0.7	11.0	334,690	13.9	314,641	-1.7	220.54
1982 (昭和57)	18,539	5.9	5.4	34,233	-0.7	10.5	344,325	2.9	326,563	3.8	249.08
1983 (昭和58)	17,642	-4.8	5.1	30,689	-10.4	10.2	349,093	1.4	300,148	-8.1	237.51
1984 (昭和59)	22,150	25.6	5.5	30,978	0.9	9.6	403,253	15.5	323,211	7.7	237.52
1985 (昭和60)	21,362	-3.6	5.1	30,176	-2.6	9.7	419,557	4.0	310,849	-3.8	238.54
1986 (昭和61)	16,002	-25.1	4.5	16,769	-44.4	7.8	352,897	-15.9	215,507	-30.7	168.52
1987 (昭和62)	14,003	-12.5	4.2	16,503	-1.6	7.6	333,152	-5.6	217,369	0.9	144.64
1988 (昭和63)	13,171	-5.9	3.9	13,422	-18.7	5.6	339,392	1.9	240,063	10.4	128.15
1989 (平成元)	15,595	18.4	4.1	15,891	18.4	5.5	378,225	11.4	289,786	20.7	137.96
1990 (平成2)	16,742	7.4	4.0	19,917	25.3	5.9	414,569	9.6	338,552	16.8	144.79
1991 (平成3)	18,069	7.9	4.3	19,593	-1.6	6.1	423,599	2.2	319,002	-5.8	134.71
1992 (平成4)	19,425	7.5	4.5	18,539	-5.4	6.3	430,123	1.5	295,274	-7.4	126.65
1993 (平成5)	19,190	-1.2	4.8	17,127	-7.6	6.4	402,024	-6.5	268,264	-9.1	111.20
1994 (平成6)	21,115	10.0	5.2	17,992	5.0	6.4	404,976	0.7	281,043	4.8	102.21
1995 (平成7)	23,526	11.4	5.7	19,860	10.4	6.3	415,309	2.6	315,488	12.3	94.06
1996 (平成8)	25,409	8.0	5.7	22,513	13.4	5.9	447,313	7.7	379,934	20.4	108.78
1997 (平成9)	29,217	15.0	5.7	25,524	13.4	6.2	509,380	13.9	409,562	7.8	120.99
1998 (平成10)	29,388	0.6	5.8	21,805	-14.6	5.9	506,450	-0.6	366,536	-10.5	130.91
1999 (平成11)	27,621	-6.0	5.8	21,678	-0.6	6.1	475,476	-6.1	352,680	-3.8	113.91
2000 (平成12)	30,164	9.2	5.8	25,463	17.5	6.2	516,542	8.6	409,384	16.1	107.77
2001 (平成13)	28,374	-5.9	5.8	26,803	5.3	6.3	489,792	-5.2	424,155	3.6	121.53
2002 (平成14)	32,543	14.7	6.2	27,289	1.8	6.5	521,090	6.4	422,275	-0.4	125.39
2003 (平成15)	33,914	4.2	6.2	28,382	4.0	6.4	545,484	4.7	443,620	5.1	115.93
2004 (平成16)	40,008	18.0	6.5	33,786	19.0	6.9	611,700	12.1	492,166	10.9	108.19
2005 (平成17)	43,629	9.1	6.6	42,756	26.5	7.5	656,565	7.3	569,494	15.7	110.22
2006 (平成18)	50,595	16.0	6.7	54,294	27.0	8.1	752,462	14.6	673,443	18.3	116.30
2007 (平成19)	59,095	16.8	7.7	61,089	12.5	8.4	839,314	11.5	731,359	8.6	117.75
2008 (平成20)	59,260	0.3	7.3	71,647	17.3	9.1	810,181	-3.5	789,547	8.0	103.36
2009 (平成21)	40,984	-30.8	7.6	40,850	-43.0	7.9	541,706	-33.1	514,994	-34.8	93.57
2010 (平成22)	51,941	26.7	7.7	49,243	20.5	8.1	673,996	24.4	607,650	18.0	87.78
2011 (平成23)	52,281	0.7	8.0	56,415	14.6	8.3	655,465	-2.7	681,112	12.1	79.81
2012 (平成24)	51,726	-1.1	8.1	56,460	0.1	8.0	637,476	-2.7	706,886	3.8	79.79
2013 (平成25)	56,203	8.7	8.1	66,154	17.2	8.1	697,742	9.5	812,425	14.9	97.60
2014 (平成26)	57,719	2.7	7.9	68,131	3.0	7.9	730,930	4.8	859,091	5.7	105.94
2015 (平成27)	59,566	3.2	7.9	56,788	-16.6	7.2	756,139	3.4	784,055	-8.7	121.04
2016 (平成28)	56,548	-5.1	8.1	44,643	-21.4	6.8	700,358	-7.4	660,420	-15.8	108.79
2017 (平成29)	68,410	21.0	8.7	52,788	18.2	7.0	782,865	11.8	753,792	14.1	112.17
2018 (平成30)	69,506	1.6	8.5	58,854	11.5	7.1	814,788	4.1	827,033	9.7	110.42
2019 (令和元)	67,189	-3.3	8.7	53,401	-9.3	6.8	769,317	-5.6	785,995	-5.0	109.01

備考：九州の1970～1987年は下関港を含んだ金額。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供資料、内閣府「海外経済データ」から局作成。

巻末資料 2

貿易統計における地理圏・経済圏の分類表

地理圏 (国・地域数)	該 当 国 ・ 地 域
アジア (26)	韓国、北朝鮮、中国、台湾、モンゴル、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、モルディブ、バングラデシュ、東ティモール、マカオ、アフガニスタン、ネパール、ブータン
中東 (14)	イラン、イラク、バーレーン、サウジアラビア、クウェート、カタール、オマーン、イスラエル、ヨルダン、シリア、レバノン、アラブ首長国連邦、イエメン、ヨルダン川西岸及びガザ
西欧 (34)	アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、モナコ、アンドラ、ドイツ、スイス、アゾレス(葡)、ポルトガル、スペイン、ジブラルタル(英)、イタリア、マルタ、フィンランド、オーストリア、セルビア、ギリシャ、キプロス、トルコ、クロアチア、スロベニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア、モンテネグロ、コソボ、フェロー諸島(デンマーク)、バチカン
中東欧・ロシア等 (22)	アゼルバイジャン、アルメニア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ジョージア、ポーランド、ロシア、ハンガリー、アルバニア、ルーマニア、ブルガリア、エストニア、ラトビア、リトアニア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ、チェコ、スロバキア
北米 (4)	グリーンランド(デンマーク)、カナダ、サンピエール及びミクロン(仏)、米国
中南米 (47)	メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ベリーズ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、バーミューダ(英)、バハマ、ジャマイカ、タークス及びカイコス諸島(英)、バルバドス、トリニダード・トバゴ、キューバ、ハイチ、ドミニカ共和国、プエルトリコ(米)、米領バージン諸島、蘭領アンティール、仏領西インド諸島、ケイマン諸島(英)、グレナダ、セントルシア、アンティグア・バーブーダ、英領ヴァージン諸島、ドミニカ、モントセラト(英)、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、英領アンギラ、サン・バルテルミー島(仏)、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、仏領ギアナ、エクアドル、ペルー、ボリビア、チリ、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、フォークランド諸島及びその附属諸島(英)、英領南極地域
アフリカ (60)	モロッコ、セウタ及びメリリア(西)、アルジェリア、チュニジア、リビア、エジプト、スーダン、西サハラ、モーリタニア、セネガル、ガンビア、ギニア・ビザウ、ギニア、シエラレオネ、リベリア、コートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナン、マリ、ブルキナファソ、カーボヴェルデ、カナリー諸島、ナイジェリア、ニジェール、ルワンダ、カメルーン、チャド、中央アフリカ、赤道ギニア、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ブルンジ、アンゴラ、サントメ・プリンシペ、セントヘレナ及びその附属諸島(英)、エチオピア、ジブチ、ソマリア、ケニア、ウガンダ、タンザニア、セーシェル、モザンビーク、マダガスカル、モーリシャス、レユニオン(仏)、ジンバブエ、ナミビア、南アフリカ共和国、レソト、マラウイ、ザンビア、ボツワナ、エスワティニ、英領インド洋地域、コモロ、エリトリア、南スーダン

大洋州 (25)	オーストラリア、パプアニューギニア、その他のオーストラリア領、 ニュージーランド、クック、トケラウ諸島（ニュージーランド）、 ニウエ、サモア、バヌアツ、フィジー、ソロモン、トンガ、キリバス、 ピットケルン（英）、ナウル、ニューカレドニア（仏）、仏領ポリネシア、 グアム（米）、米領サモア、米領オセアニア、ツバル、マーシャル、 ミクロネシア、北マリアナ諸島（米）、パラオ
特殊地域 (3)	指図式、不明、保税工場・総合保税地域

経済圏 (国数)	該 当 国
A S E A N (10)	ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、 インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー
E U (28)	スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、 ルクセンブルク、フランス、ドイツ、ポルトガル、スペイン、イタリア、 マルタ、フィンランド、ポーランド、オーストリア、ハンガリー、ギリシャ、 ルーマニア、ブルガリア、キプロス、エストニア、ラトビア、リトアニア、 クロアチア、スロベニア、チェコ、スロバキア

財務省貿易統計HP 外国貿易等に関する統計基本通達 別表1 統計国名符号表 等

巻末資料3 品目分類表(2019年輸出)

大	中	小	大	中	小	大	中	小
食料品及び動物			肥料			建設用・鉱山用機械		
生きた動物			窒素肥料			加熱用・冷却用機器		
肉類及び同調製品			火薬類			ポンプ及び遠心分離機		
酪農品及び鳥卵			プラスチック			荷役機械		
ミルク、クリーム及びバター			メラミン樹脂			ベアリング及び同部分品		
魚介類及び同調製品			塩化ビニール樹脂			半導体等製造装置		
魚介類			ポリエチレン			電気機器		
魚介類の調製品			ポリスチレン			重電機器		
穀物及び同調製品			その他の化学製品			電気回路等の機器		
小麦粉			原料別製品			絶縁電線及び絶縁ケーブル		
米			革及び同製品・毛皮			がい子		
果実及び野菜			ゴム製品			映像機器		
果実			ゴム加工材料			音響機器		
野菜			ゴムタイヤ及びチューブ			音響・映像機器の部分品		
糖類及び同調製品・はちみつ			ベルト及びベルチング			通信機		
コーヒー・茶・ココア・香辛料類			木製品及びコルク製品(除家具)			家庭用電気機器		
茶			合板			電池		
飼料			木製品(合板を除く)			電球類		
魚介類の粉、ミール及びペレット			紙類及び同製品			半導体等電子部品		
配合飼料(ペットフードを含む)			紙及び板紙			自動車用等の電気機器		
その他の調製食料品			封筒及び雑記帳等の紙製品			電気計測機器		
飲料及びたばこ			紙袋・紙テープ及び紙タオル			コンデンサー		
飲料			織物用糸及び繊維製品			電気用炭素及び黒鉛製品		
たばこ			織物用糸			輸送用機器		
葉たばこ			織物			鉄道用車両		
原材料			繊維二次製品(除衣類)			自動車		
原皮及び毛皮(未仕上)			非金属鉱物製品			自動車の部分品		
採油用の種・ナット及び核			セメント			二輪自動車類		
生ゴム			タイル			自転車及び同部分品		
合成ゴム			ガラス及び同製品			航空機類		
木材及びコルク			陶磁器			船舶類		
木材			真珠			雑製品		
パルプ及び古紙			鉄鋼			照明器具		
織物用繊維及びくず			銑鉄			家具		
人造繊維			ビレット及びシートバー等			家具(除医療用)		
粗鉱物			鉄鋼の棒・形鋼及び線			バッグ類		
耐火性材料			鉄鋼のフラットロール製品			衣類及び同附属品		
金属鉱及びくず			軌条及びその他の鉄道線路建設材			外衣類		
(鉄鋼くず)			管及び管用継手			下着類		
その他の動植物性原材料			非鉄金属			ハンカチ		
寒天			銅及び同合金			ショール及びマフラー類		
鉱物性燃料			アルミニウム及び同合金			メリヤス編み及びクロセ編み衣類		
石炭・コークス及び練炭			亜鉛及び同合金			帽子及び同部分品		
(コークス)			チタン及び同合金			はき物		
石油及び同製品			白金族の金属			精密機器類		
石油製品			金属製品			科学光学機器		
天然ガス及び製造ガス			構造物及び同建設材			時計及び部分品		
動植物性油脂			貯蔵用及び輸送用の金属製容器			その他の雑製品		
動物性油脂			より線・綱及び網類			写真用・映画用材料		
植物性油脂			くぎ・ねじ・ボルト及びナット類			記録媒体(含記録済)		
加工油脂及びろう			手道具類及び機械用工具			楽器		
化学製品			刃物			書籍・新聞・雑誌		
元素及び化合物			卑金属製の家庭用品			クリスマス用品類		
有機化合物			錠・かぎ及び取付具			プラスチック製品		
無機化合物			鉄鋼製くさり及び同部分品			がん具		
鉱物性タール及び粗製薬品			手針・ピン及び留金類			遊戯用具		
染料・なめし剤及び着色剤			機械類及び輸送用機器			運動用具		
有機合成染料及びレーキ顔料			一般機械			事務用品		
塗料類			原動機			貴石等の製品類		
医薬品			農業用機械			喫煙用具		
プロビタミン及びビタミン			事務用機器			かさ及びつえ類		
ビタミン製剤			金属加工機械			ボタン及びスライドファスナー類		
抗生物質			繊維機械			くし・かんざし及び化粧用具		
抗生物質製剤			ミンシ			特殊取扱品		
精油・香料及び化粧品類			パルプ製造・製紙及び紙加工機械			再輸出品		
化粧品			印刷機械及び製本機械			金(マネタリーゴールドを除く)		
くつずみ及びクレンザー類			食料品加工機械					

出所：財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成
備考：概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている

品目分類表(2019年輸入)

大 中 小	大 中 小	大 中 小
食料品及び動物	その他の動植物性原材料	鉄鋼
生きた動物	動物性原材料	鉄鉄
鶏	植物性原材料	合金鉄
馬	鉱物性燃料	鉄鋼の棒・形鋼及び線
肉類及び同調製品	石炭・コークス及び練炭	鉄鋼のフラットロール製品
牛肉	石炭	管及び管用継手
羊・やぎ肉	石油及び同製品	非鉄金属
豚・いのししの肉	原油及び粗油	銀及び白金族
鶏肉	石油製品	銅及び同合金
馬肉	天然ガス及び製造ガス	ニッケル及び同合金
酪農品及び鳥卵	石油ガス類	アルミニウム及び同合金
ミルク及びクリーム	動植物性油脂	鉛及び同合金
バター	動物性油脂	亜鉛及び同合金
チーズ及びカード	牛脂	すず及び同合金
魚介類及び同調製品	植物性油脂	コバルト及び同合金
魚介類	綿実油	金属製品
魚介類の調製品	パーム油	鉄鋼製構造物及び同建設機材
穀物及び同調製品	桐油	くぎ・ねじ・ナット・ボルト類
小麦及びメスリン	加工油脂及びろう	手道具類及び機械用工具
米	ろう	刃物
大麦及びはだか麦	化学製品	卑金属製の家庭用品
とうもろこし	元素及び化合物	機械類及び輸送用機器
あわ・きび及びひえ	有機化合物	一般機械
こうりゃん(飼料用)	無機化合物	原動機
麦芽	放射性元素	農業用機械
果実及び野菜	鉱物性タール及び粗製薬品	事務用機器
果実	ベンゼン(粗製のもの)	金属加工機械
野菜	キシレン(粗製のもの)	繊維機械
糖類及び同調製品・はちみつ	染料・なめし剤及び着色剤	パルプ製造・製紙及び紙加工機械
砂糖	有機合成染料及びレーキ顔料	印刷機械及び製本機械
糖みつ	植物性のなめしエキス	食料品加工機械
乳糖	塗料類	建設用・鉱山用機械
コーヒー・茶・ココア・香辛料類	医薬品	加熱用・冷却用機器
コーヒー	プロビタミン及びビタミン	ポンプ及び遠心分離機
ココア	抗生物質	荷役機械
お茶	ホルモン	鉱物・木材等の材料加工機械
飼料	抗生物質製剤	コック・弁類
ふすま	精油・香料及び化粧品類	半導体等製造装置
植物性油かす	精油及びレジンノイド	電気機器
魚介類の粉、ミール及びペレット	人造香料類	重電機器
その他の調製食料品	肥料	電気回路等の機器
飲料及びたばこ	カリ肥料	絶縁電線及び絶縁ケーブル
飲料	火薬類	音響・映像機器(含部品)
アルコール飲料	プラスチック	通信機
たばこ	シリコン	家庭用電気機器
葉たばこ	塩化ビニール樹脂	半導体等電子部品
製造たばこ	ポリエチレン	電気計測機器
原材料	ポリスチレン	電気溶接器
原皮及び毛皮(未仕上)	合成樹脂	輸送用機器
原皮	その他の化学製品	自動車
毛皮	消毒剤・殺虫剤及び殺菌剤類	自動車の部分品
採油用の種・ナット及び核	でん粉	二輪自動車類
落花生	カゼイン	航空機類
ゴブラ	ロジン	船舶類
大豆	調製石油添加剤	自転車
その他の採油用種子	触媒	雑製品
生ゴム	原料別製品	照明器具
天然ゴム	革及び同製品・毛皮	家具
天然ゴムラテックス	羊革	バッグ類
合成ゴム	ゴム製品	衣類及び同附属品
木材及びコルク	ゴム加工材料	衣類
木材	木製品及びコルク製品(除家具)	衣類附属品
パルプ及び古紙	合板・ウッドパネル	メリヤス編み及びクロセ編み衣類
パルプ	パルプウッド等	はき物
織物用繊維及びくず	木製建具及び建築用木工品	精密機器類
絹	紙類及び同製品	科学光学機器
羊毛	紙及び板紙	時計及び部分品
織獣毛	織物用糸及び繊維製品	その他の雑製品
獣毛(カード、コームしたもの)	織物用繊維系	写真用・映画用材料
綿花	綿織物	記録媒体(含記録済)
麻類(含くず)	毛織物	書籍・新聞・雑誌
粗鉱物	絹織物	プラスチック製品
りん鉱石	合成繊維織物	がん具及び遊戯用具
粗鉱物(除りん鉱石)	チュール及びししゅう布類	運動用具
金属鉱及びくず	敷物類	事務用品
鉄鉱石	メリヤス編物及びクロセ編物	美術品・収集品及びきことう
鉄鋼くず	非金属鉱物製品	成形品及び彫刻品
非鉄金属鉱	ガラス及び同製品	特殊取扱品
非鉄卑金属くず	ダイヤモンド	再輸入品
	貴石及び半貴石	金(マネタリーゴールドを除く)

出所:財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成

備考:概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている